

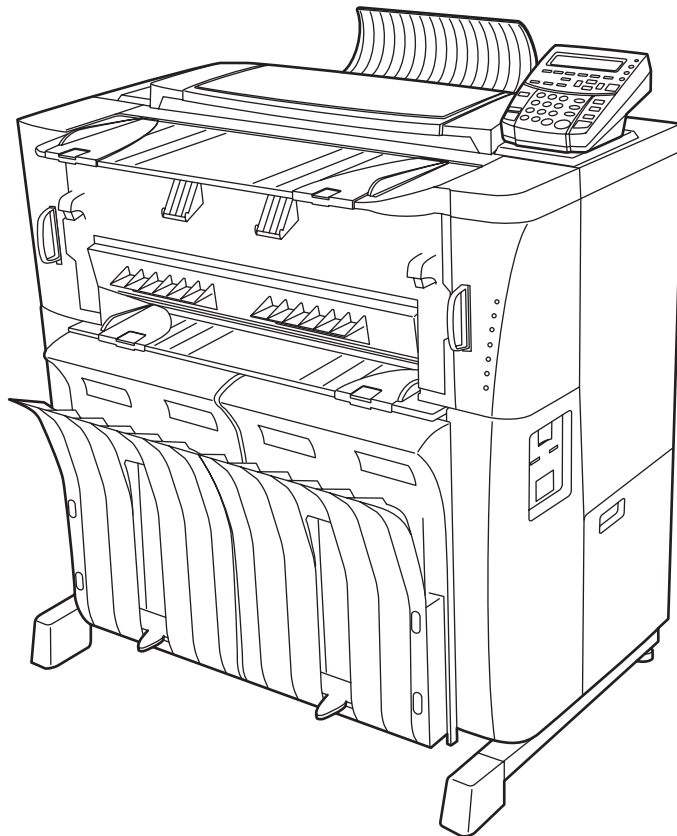


KM-4830w

静電複写機

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後も、前カバー内側ポケットに大
切に保管し、必要に応じて内容を確認の上、ご使
用ください。



京セラ ミタ株式会社

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、
本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると
判断します。
※ ENERGY STAR と ENERGY STAR のロゴは米国の登録商標です。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。
オプション品の正式な商品名は下表のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
ロールユニット RU-3	ロールユニットまたは給紙段 2
ブックキャリア タイプ B	ブックキャリア
原稿トレイ A1T	原稿トレイ
プリンタ / スキャナ コントローラ	プリンタ / スキャナ コントローラ
スプール	ロール軸またはスプール
キーカード MK-1	キーカード
キーカウンター	キーカウンター
キャリアシート (A1, A2)	キャリアシート

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、
禁じられています。



KM-4830Wをご購入 いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、所定の保管場所に大切に保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

-  **危険**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」



「感電注意」



「高温注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」



「電源プラグをコンセントから抜け」



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

目次

1 章 重要です！はじめにお読みください

 注意ラベルについて.....	1-1
 機械を設置する時のご注意.....	1-2
 取り扱い上のご注意.....	1-3
コピー禁止事項.....	1-4

2 章 本機の紹介

本機の高機能をご活用ください.....	2-1
各部の名称.....	2-4
本体各部.....	2-4
操作パネル.....	2-6
メッセージ表示.....	2-8

3 章 ご使用の準備

原稿について.....	3-1
原稿の種類.....	3-1
原稿セット時の注意事項.....	3-2
原稿反転ガイド.....	3-2
原稿ホルダー.....	3-2
キャリアシート（オプション）.....	3-3
原稿トレイ（オプション）.....	3-3
用紙について.....	3-4
用紙の種類.....	3-4
ロール紙のセット方法.....	3-5
保温ヒーターについて.....	3-7
コピー受け補助板.....	3-7
電源を入れる.....	3-8

4 章 コピーをとる

コピーをとる前に.....	4-1
初期状態について.....	4-1
予熱表示が点灯している場合.....	4-1
キーカウンター（オプション）を使用しているとき.....	4-1
キーカード（オプション）を使用しているとき.....	4-1
基本的なコピーのしかた.....	4-2
コピーモードについて.....	4-4
自動用紙選択モードについて.....	4-4
自動倍率選択モードについて.....	4-4
手動モードについて.....	4-4
正確に原稿をセットするとき.....	4-5
用紙種類の選択.....	4-6
カット寸法の選択.....	4-6
シンクロカット.....	4-6
定寸カット.....	4-7
テンキー入力.....	4-7

原稿種類とコピー濃度の選択	4-8
原稿種類とコピー濃度の設定のしかた	4-8
コピーをキャンセルする	4-9
ブックキャリア（オプション）	4-10
ブックキャリアについて	4-10
ブックキャリアのセット	4-11
原稿のセット	4-11

5 章 機能的なコピーをとる

ソートコピー	5-1
変倍モード	5-2
固定変倍	5-2
ユーザー設定変倍	5-3
独立変倍	5-3
テンキー / ズームキー入力	5-4
編集機能	5-5
画像移動 上下移動	5-6
画像移動 左右移動	5-7
余白 先端・後端	5-8
余白 全面出力	5-9
枠消し	5-10
鏡像	5-10

6 章 便利な機能

調整機能	6-1
傾き補正	6-1
等倍度微調整	6-2
定着温度微調整	6-2
再コピー機能	6-3
再コピーのしかた	6-3
再コピー設定中にリセットキーを押すと	6-3
サンプルコピー	6-4
サンプルコピーのしかた	6-4
ジョブ予約機能	6-5
ジョブの予約	6-5
ジョブ予約の削除	6-5
プログラム機能	6-6
プログラムの登録	6-6
プログラムを使ったコピー	6-6
割り込みコピー	6-7
オートクリア機能	6-7
予熱機能	6-8
オートシャットオフ機能	6-8

7 章 管理と設定（初期設定）

初期設定の変更のしかた	7-1
「一般ユーザー」による初期設定の変更のしかた	7-1
「管理者」による初期設定の変更のしかた	7-2
初期設定一覧	7-3

8 章 こんなときには

こんなメッセージがでたとき	8-1
エラーメッセージ一覧	8-1
トナーの補給のしかた	8-3
トナー回収タンクの交換のしかた	8-4
メモリーオーバーフロー時の処置	8-5
サービスコールが表示されたら	8-6
紙詰まりが発生したとき	8-7
メッセージの表示と紙詰まりの位置	8-7
処理方法	8-7
原稿詰まりが発生したとき	8-12
トラブルが発生したとき	8-13
機械本体が動かない	8-13
意図したコピーがとれない	8-13

9 章 保守・運用のために

機械の清掃のしかた	9-1
消耗品	9-2
製品の保守サービスについて	9-3
保守サービス契約書について	9-3
補修用性能部品について	9-4

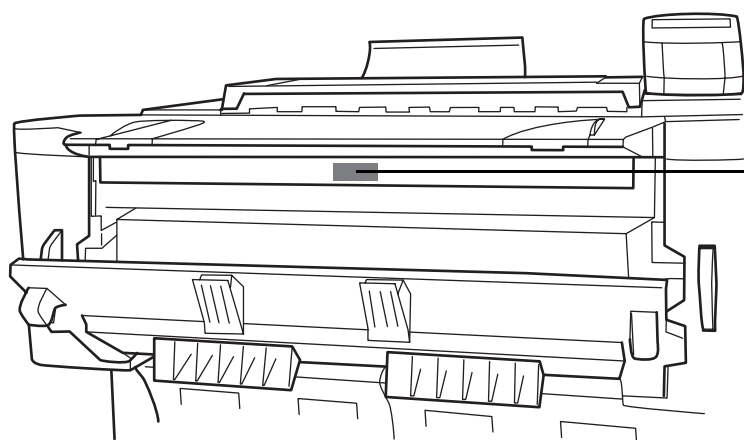
10 章 付録

仕様	10-1
機能設定一覧	10-2
索引	10-3

1 章 重要です！はじめにお読みください

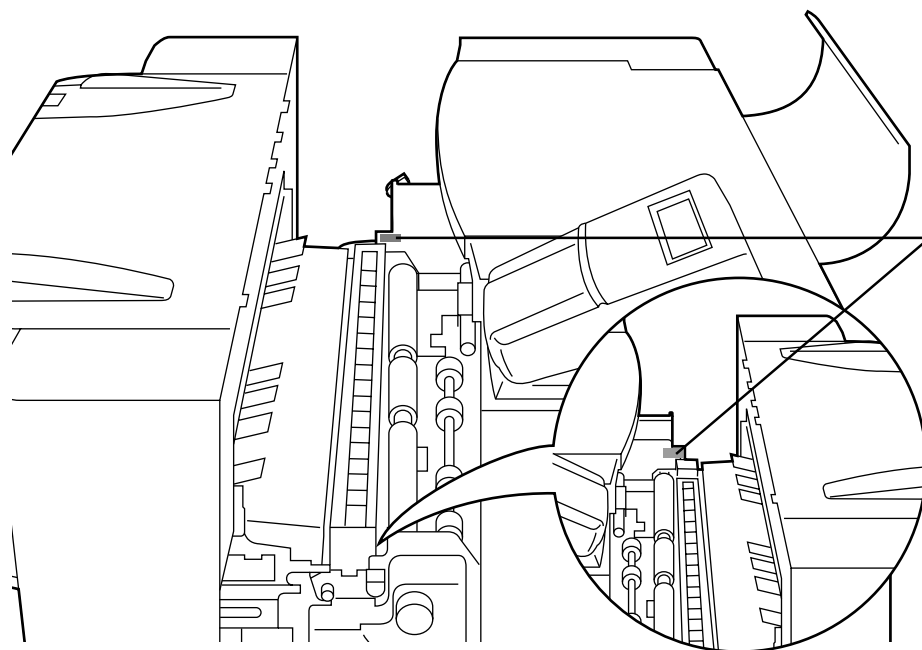
⚠ 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。



ラベル3

この部分の内側は高温になっています。
火傷などのおそれがあります
ので、触れないようにしてください。.....



ラベル1、2

この部分には高電圧が発生しています。
感電事故を防ぐため、絶対に
触れないようにしてください。



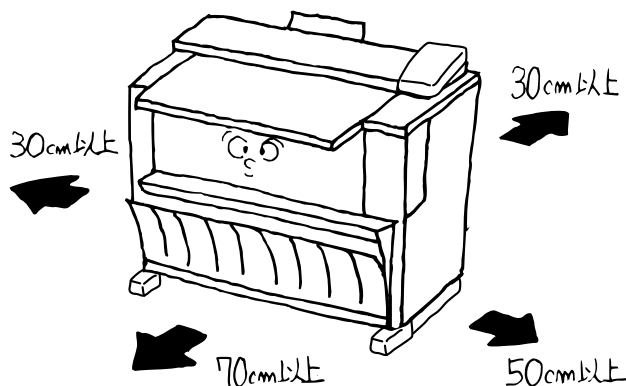
〈お願い〉 これらのラベルははがさないようにしてください。

⚠ 機械を設置するときのご注意

■設置環境について

⚠ 注意

- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。.....
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。.....
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。.....
- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に機械左側には通気口があり、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。.....



- 本製品を設置したら4個のアジャスターで止めてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。.....



その他の注意事項

- 本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温20℃、湿度65%RHが適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。
 - ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
 - ・振動の多い場所
 - ・急激に温度や湿度が変化する場所
 - ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
 - ・通気性、換気性の悪い場所

■設置電源・アースについて

⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。.....
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。.....
- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

- 電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

■ビニールの取り扱いについて

⚠ 警告

- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。.....

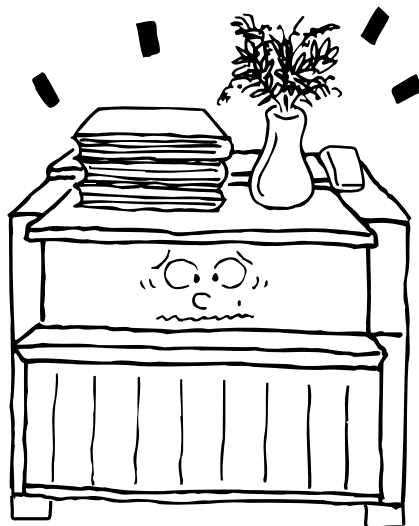


⚠ 取り扱い上のご注意

■機械の取り扱いについて

⚠ 警告

- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。.....



- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。.....
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。.....
- 本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。.....
- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。.....
- 万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。.....
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。.....
- 内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。.....



⚠ 注意

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）.....
- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。.....
- 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....
- 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....
- 本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

- 本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えないでください。
- コピー中には次のことをしないでください。
 - ・前カバーを開ける。
 - ・メインスイッチを切る。
 - ・電源コードを抜く。
- 複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をお勧めいたします。
- 転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。
- コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。
- この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

■消耗品の取り扱いについて

⚠ 注意

- トナーは吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。万一食べた場合は水で胃を薄め、医師の診断を受けてください。皮膚に触れた場合は、石鹸と水で洗ってください。眼に入った場合は、水で洗い流し、医師の診断を受けてください。……………
- トナーの長期にわたる過剰な吸入は、普通の塵埃と同じく肺への害がありますが、通常の使用では影響ありません。……………
- 子供の手に触れさせないでください。……………
- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。……………



その他の注意事項

- 消耗品をご使用になる前には、必ず消耗品の箱や容器の注意文をよくお読みください。
- トナーやトナーの入った容器の廃棄については国や地方自治体の規制に従ってください。
- 消耗品は冷暗所に保管してください。
- 本製品を長時間使わない場合は、ロール紙をロールユニットから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

1. 法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。
例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

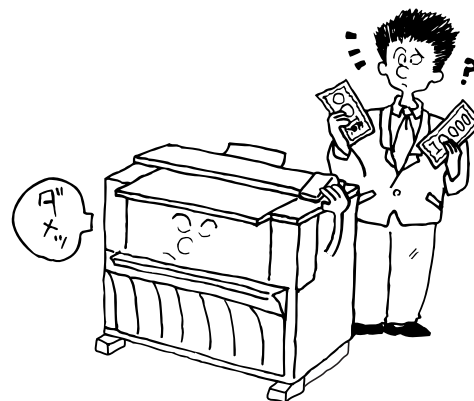
- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

2. 注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

3. 著作権にもご注意ください

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。



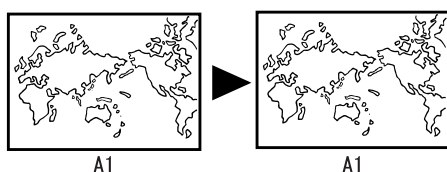
2章 本機を紹介

本機の高機能をご活用ください

●コピー機能

1 <自動用紙選択モード> (P. 4-4 参照)

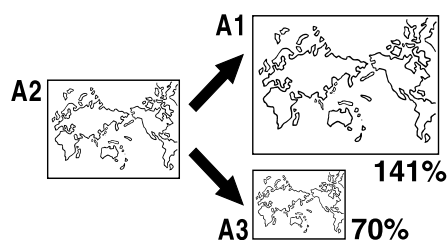
機械が自動的に用紙を選択します。



2 多彩な変倍モード

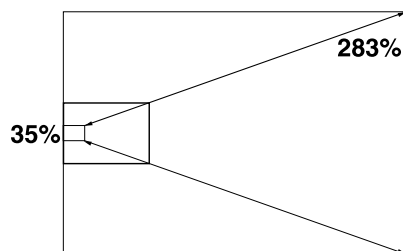
<自動倍率選択モード> (P. 4-4 参照)

選択した用紙にあわせて自動的に拡大／縮小コピーします。



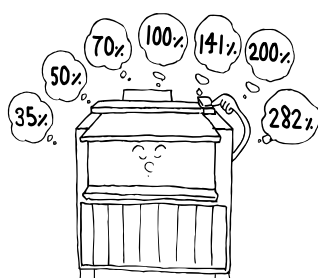
<テンキー / ズームキー入力> (P. 5-4 参照)

1% または 0.1% きざみで拡大／縮小コピーできます。



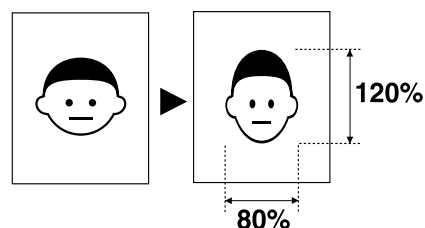
<固定変倍> (P. 5-2 参照)

標準で登録されているコピー倍率で拡大／縮小コピーできます。



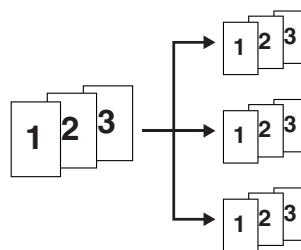
<独立変倍モード> (P. 5-3 参照)

縦、横別々に変倍コピーできます。



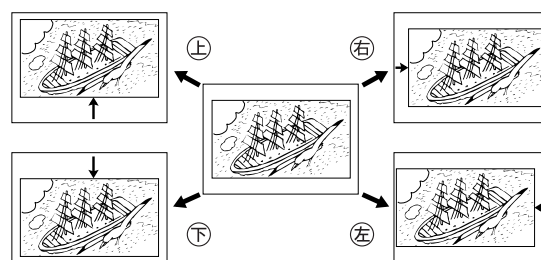
3 <ソートコピー> (P. 5-1 参照)

複数の原稿を 1 部ごとに仕分けてコピーできます。



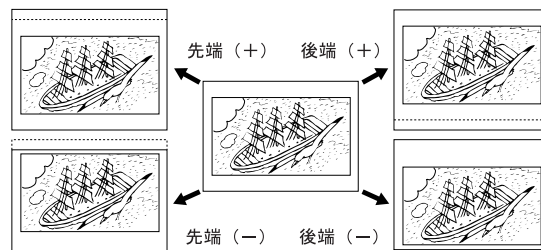
4 <画像移動設定> (P. 5-6 ~ P. 5-8 参照)

上下左右に画像を移動することができます。



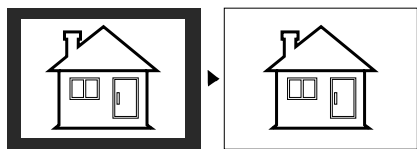
5 <余白設定> (P. 5-8 ~ P. 5-9 参照)

コピーの先端や後端に余白をつくることができます。反対に余白をカットすることもできます。

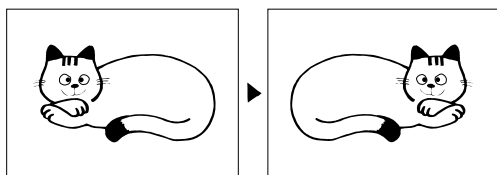


2 章 本機を紹介

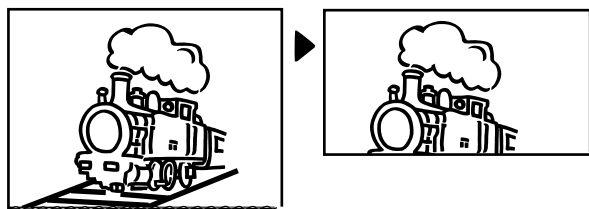
- 6** <枠消し設定> (P. 5-10 参照)
画像の回りをきれいに消去できます。



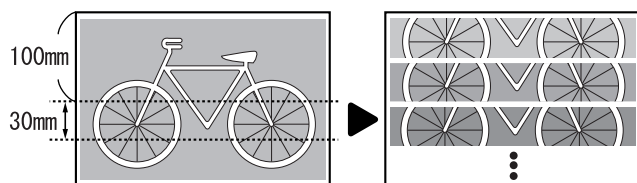
- 7** <鏡像設定> (P. 5-10 参照)
画像を左右反転させてコピーできます。



- 8** <サンプルコピー> (P. 6-4 参照)
サンプルコピーでコピーの仕上がりを確認することができます。
- 機能サンプル



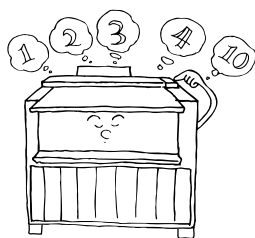
濃度サンプル



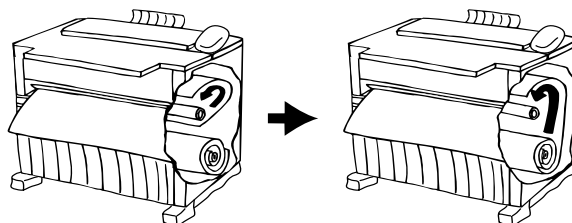
- 9** <再コピー機能> (P. 6-3 参照)
コピーが終わったあとに、再度出力できます。

- 10** <ジョブ予約機能> (P. 6-5 参照)
コピー待ちの間に次のコピーを予約できます。

- 11** <プログラム機能> (P. 6-6 参照)
よく使う設定を登録できます。



- 12** <オートロールチェンジ> (P. 7-5 参照)
オプションのロールユニットを給紙段 2 に装着している場合、給紙段 1 と給紙段 2 (オプション) に同じサイズ用の紙をセットしていれば、用紙切れになったとき、自動的に給紙段を切り替えてコピーを継続します。



- 13** <オートクリア機能> (P. 6-7 参照)
コピー終了後、1 分間を経過すると機械は自動的に初期状態になります。

●設定／調整機能

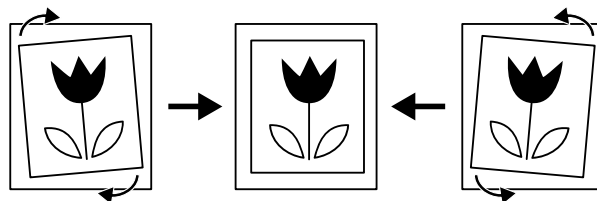
- 14** <定着温度調整> (P. 7-4 参照)
用紙の種類や、機械の設置環境に応じて定着温度が設定できます。

<定着温度微調整> (P. 6-2 参照)
一時的に定着温度が微調整できます。

- 15** <等倍度調整> (P. 7-4 参照)
用紙の種類や、機械の設置環境に応じて等倍度が設定できます。

<等倍度微調整> (P. 6-2 参照)
一時的に等倍度が微調整できます。

- 16** <傾き補正> (P. 6-1 参照)
左 1.5° ～ 右 1.5° の間で傾きを補正することができます。



- 17** <初期設定> (P. 7-1 ～ P. 7-8 参照)
メインスイッチを ON (I) にしたときの各種設定が自由に変更できます。

●節電機能

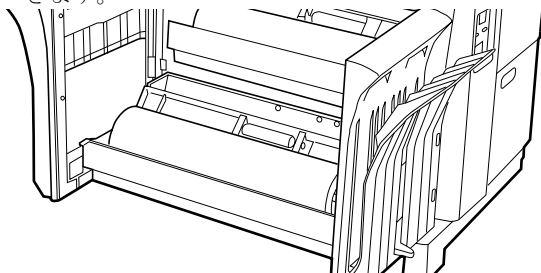
- 18** <予熱機能> (P. 6-8 参照)
待機中の消費電力を節約できます。

- 19** <オートシャットオフ機能> (P. 6-8 参照)
自動で電源を OFF (O) にできます。

●オプション

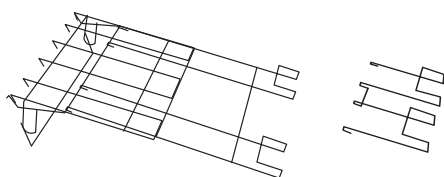
20 <ロールユニット>

標準の給紙段 1 に加え、給紙段 2 を増設することができます。



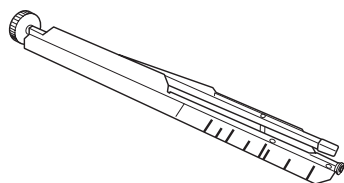
21 <原稿トレイ> (P. 3-3 参照)

機械後部から排出される原稿を収納します。



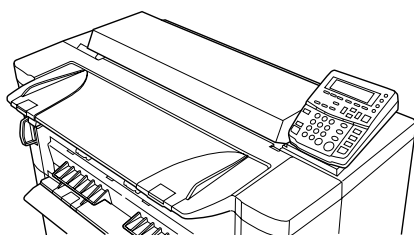
22 <スプール>

交換用のロール軸です。頻繁にロール紙を入れ替える場合などにロール軸を差し替える手間を省くことができます。



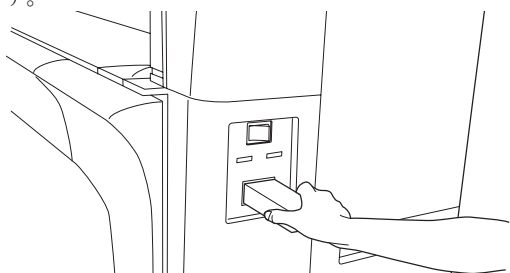
23 <ブックキャリア> (P. 4-10 ~ P. 4-12 参照)

ブックキャリアを装着すると、厚みのある冊子（厚み 1 ~ 8mm）の原稿をコピーする事ができます。



24 <キーカウンター> (P. 4-1 参照)

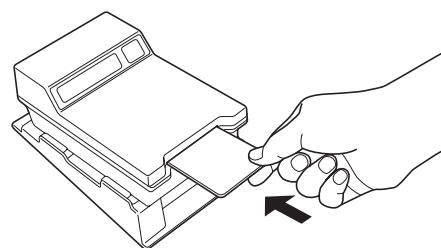
使用枚数をカウントすることができます。
本機右側に挿入するとコピーができるようになります。



25 <キーカード> (P. 4-1 参照)

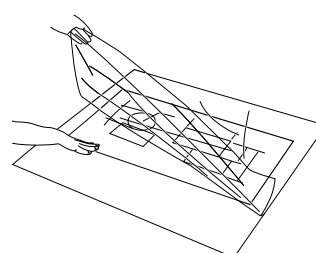
カードにより最大 1000 部門まで、部門ごとの使用枚数を管理できます。

専用の部門カードをキーカード本体のカード挿入口に挿入するとコピーができるようになります。



26 <キャリアシート> (P. 3-3 参照)

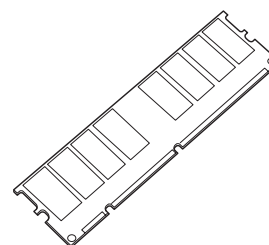
原稿読み込み時に、原稿を保護します。



27 <増設メモリ>

本機は標準で 64MB のメモリを搭載しています。

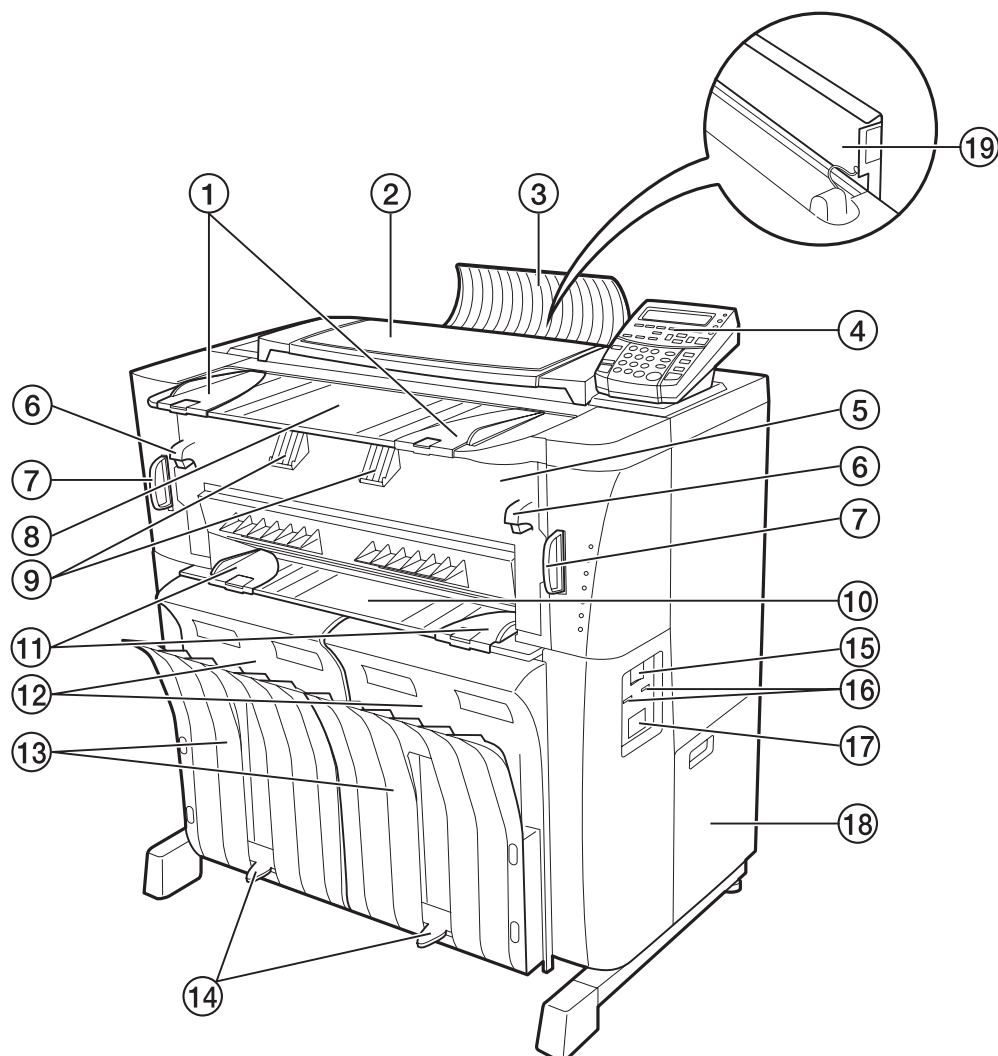
2 基のメモリスロット（うち 1 基は標準のメモリを搭載）を使用することによって、最大 512MB まで拡張することができます。これにより画像用のメモリー容量を増やすことができます。



28 <プリンタ / スキャナ コントローラ>

本機をプリンターまたはスキャナーとしてお使いいただくことができます。

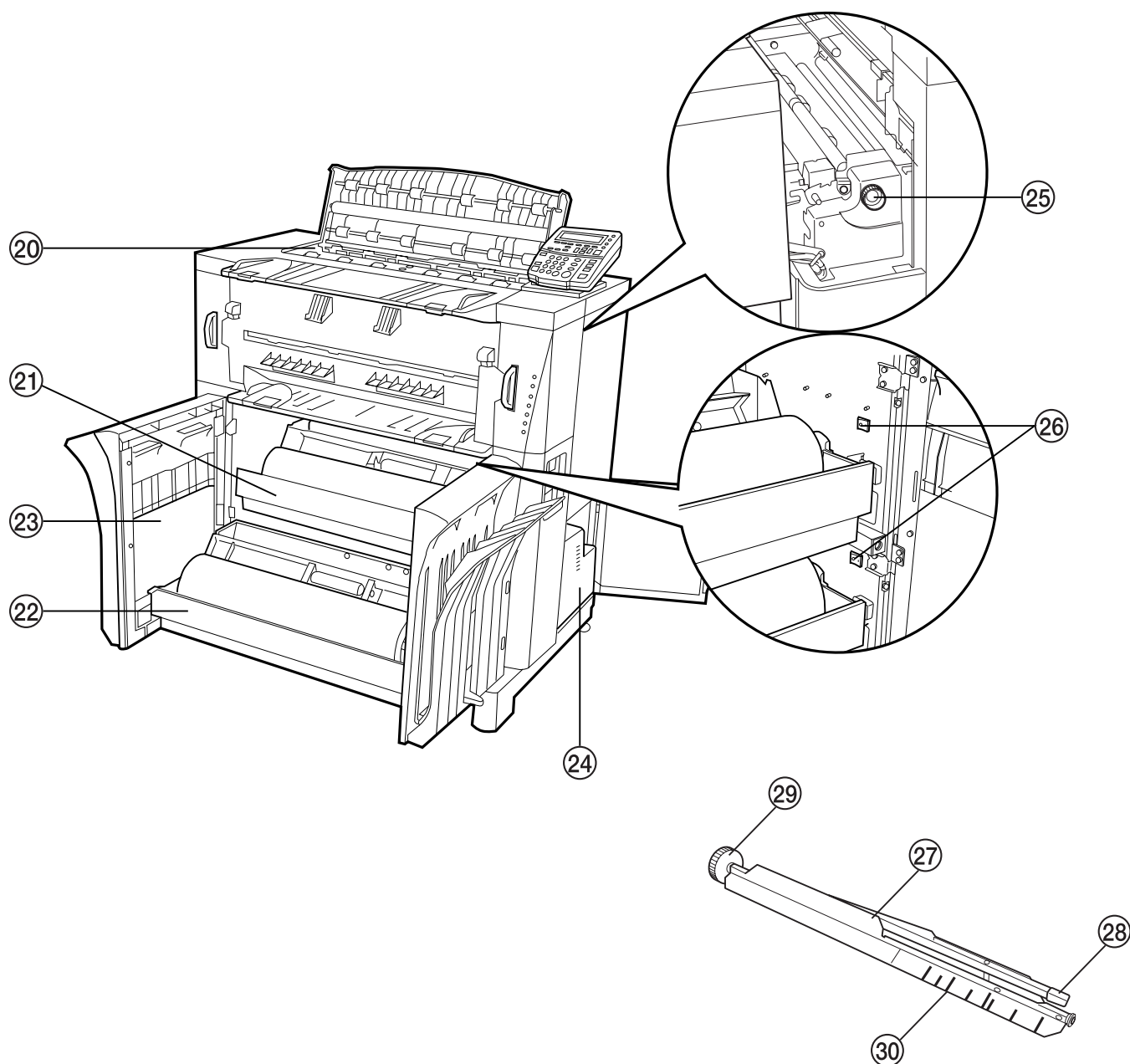
各部の名称



本体各部

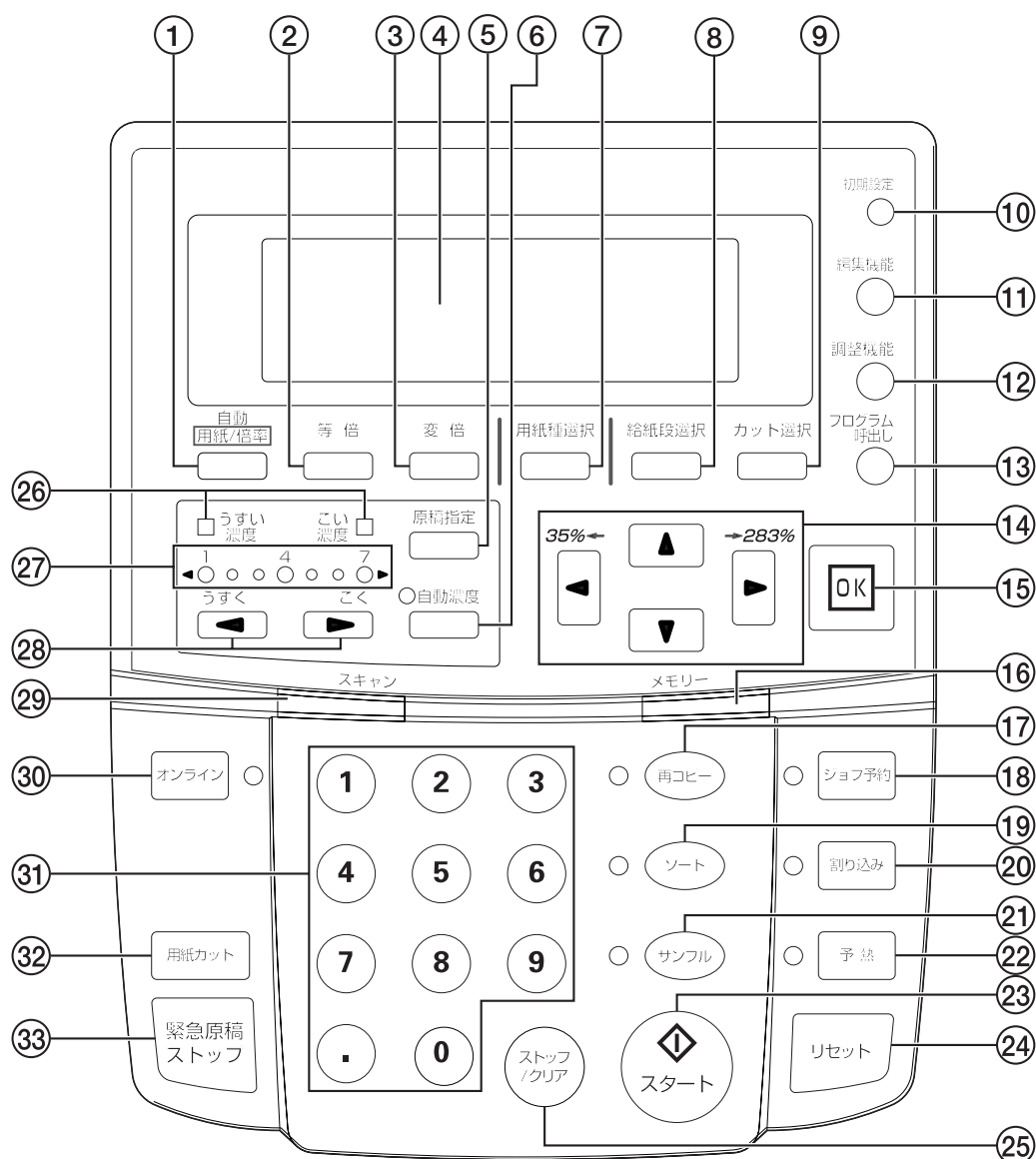
●外装部

- ① 原稿ガイド
- ② 原稿押さえ
- ③ 原稿反転ガイド
- ④ 操作パネル
- ⑤ 排出カバー
紙詰まりが発生したときに開けてください。
- ⑥ 排出解除レバー
紙詰まりが発生したときに操作してください。
- ⑦ 本体解除レバー
紙詰まりが発生したときに操作してください。
- ⑧ 原稿テーブル
- ⑨ 原稿ホルダー
長いロール原稿をセットできます。
- ⑩ 手差しテーブル
- ⑪ 手差しガイド
- ⑫ 前カバー
ロール紙をセットするときや、紙詰まりが発生したときなどに開けてください。
- ⑬ コピー受け
コピーされた用紙がここに収納されます。
- ⑭ コピー受け補助板
コピーする用紙サイズに合わせてセットしてください。
- ⑮ メインスイッチ
- ⑯ トータルカウンター
左側が用紙の出力回数を、右側が原稿の読み取り回数を表示します。
- ⑰ キーカウンター挿入口
オプションのキーカウンターを取り付けている場合、ここにキーカウンターをセットします。
- ⑱ 右カバー
トナー回収タンクを交換するときに開けてください。
- ⑲ トナー補給口
トナーを補給するときに開けてください。



●内装部

- ②① コンタクトガラス
- ②① ロールユニット（給紙段 1）
- ②② ロールユニット（給紙段 2：オプション）
- ②③ 使用説明書ポケット
- ②④ トナー回収タンク
- ②⑤ 搬送ノブ
- 紙詰まりが発生したときに操作してください。
- ②⑥ 保温ヒータースイッチ
- 上が給紙段 1、下が給紙段 2 用のスイッチです。
- ②⑦ ロール軸（スプール）
- ②⑧ ロール紙解除レバー
- ②⑨ ロール軸ギア
- ロール軸ギアを左側にして、ロールユニットにセットしてください。
- ③⑩ ロールサイズラベル



操作パネル

- ① 自動用紙／倍率キー
自動用紙選択モードまたは自動倍率選択モードに切り替えるときに押してください。(P. 4-4 参照)
- ② 等倍キー
コピー倍率を 100% でコピーしたいときに押してください。(P. 4-4 参照)
- ③ 変倍キー
コピー倍率を変更するときに押してください。(P. 5-2 ～ P. 5-4 参照)
- ④ メッセージ表示
コピーの状態や、紙詰まりなどのエラーを表示します。(P. 2-8 参照)
- ⑤ 原稿指定キー
標準原稿、写真、地図、切り貼りの 4 種類から原稿の種類を選択してください。原稿に合わせて適切な画像処理を行います。(P. 4-8 参照)
- ⑥ 自動濃度キー
自動でコピー濃度を設定するときに押してください。(P. 4-8 参照)
- ⑦ 用紙種選択キー
普通紙、第 2 原図、フィルム、カスタムの 4 種類からコピーする用紙の種類を選択できます。(P. 4-6 参照)
- ⑧ 給紙段選択キー
給紙段 1、給紙段 2 (オプション)、手差しより給紙段を選択できます。(P. 4-2 参照)
- ⑨ カット選択キー
シンクロカット、定寸カット、テンキー入力の 3 種類からロール紙のカット寸法を選択できます。(P. 4-6 参照)
- ⑩ 初期設定キー
初期設定やプログラム登録をするときに押してください。(P. 6-6, P. 7-1 ～ P. 7-8 参照)
- ⑪ 編集機能キー
画像移動、余白、枠消し、鏡像などの編集機能を使用するときに押してください。(P. 5-5 ～ P. 5-10 参照)

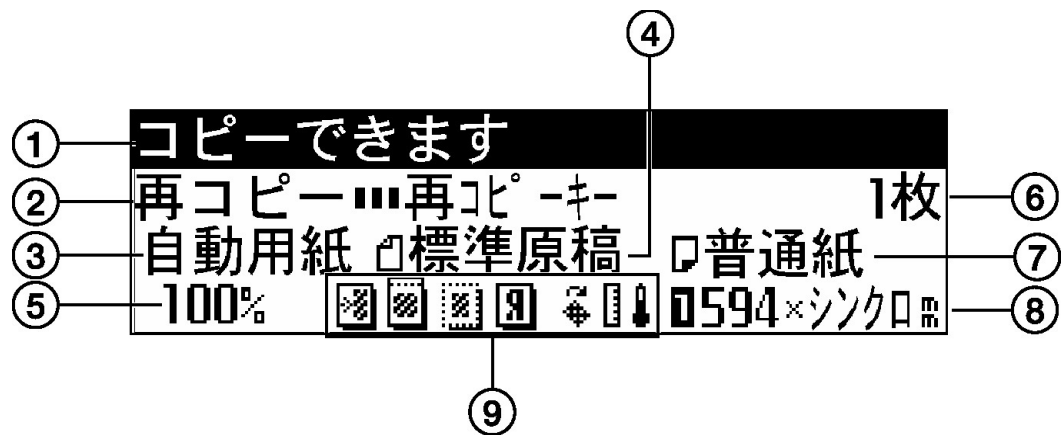
- ⑫ **調整機能キー**
傾き補正、等倍度微調整、定着温度微調整を行うときに押してください。(P. 6-1 ~ P. 6-2 参照)
- ⑬ **プログラム呼出しキー**
登録したプログラムを呼び出すときに押してください。
(P. 6-6 参照)
- ⑭ **▲▼◀▶ (カーソル) キー**
各種設定モードの選択時に使用します。また、コピー倍率の変更にも使用します。(P. 5-4 参照)
- ⑮ **OK キー**
各種設定モードの決定時に使用します。
- ⑯ **メモリー表示**
画像メモリの使用状態を表します。
点灯時：メモリ内に画像あり
消灯時：メモリ内に画像なし
点滅時：画像読み込み中
- ⑰ **再コピーキー**
再コピーを行うときに押してください。(P. 6-3 参照)
- ⑱ **ジョブ予約キー**
ジョブ予約機能を使用するときに押してください。
(P. 6-5 参照)
- ⑲ **ソートキー**
ソートコピーを行うときに押してください。(P. 5-1 参照)
- ⑳ **割り込みキー**
割り込みコピーを行うときに押してください。
(P. 6-7 参照)
- ㉑ **サンプルキー**
サンプルコピーを行うときに押してください。
(P. 6-4 参照)
- ㉒ **予熱キー**
本機を予熱状態にしたり、予熱状態から復帰させたいときに押してください。またオプションのプリンタ / スキャナコントローラ装着時にスリープモードから復帰したい場合もこのキーを押してください。(P. 6-8 参照)
- ㉓ **スタートキー**
読み込みや出力を開始するときに使用します。
- ㉔ **リセットキー**
設定を解除し、初期状態に戻ります。また、メモリ内の画像データを消去します。
- ㉕ **ストップ／クリアキー**
コピー枚数などを取り消すときや、コピーを途中で中止するときに押してください。
- ㉖ **うすい濃度／こい濃度表示**
各表示は以下のコピー濃度モードを表します。
(P. 4-8 参照)
うすい濃度表示が点灯：うすい濃度モード
こい濃度表示が点灯：こい濃度モード
- ㉗ **コピー濃度表示**
コピー濃度を点灯表示します。左側に移動させるとうすく、右側に移動させるとこくなります。(P. 4-8 参照)
- ㉘ **コピー濃度調整キー (◀) (▶)**
コピー濃度を調整するときに押してください。
(P. 4-8 参照)

- ㉙ **スキャン表示**
原稿の読み込み状態を表します。
点灯時：原稿読み込み可能
消灯時：原稿読み込み不可
点滅時：原稿読み込み中
- ㉚ **オンラインキー**
オプションのプリンタ / スキャナ コントローラを使用するときに押してください。オンライン表示が点灯します。
- ㉛ **テンキー**
コピー枚数やコピー倍率を入力するときに押してください。
- ㉜ **用紙カットキー**
新しいロール紙をセットしたときに押してください。カットされる用紙の長さは 297mm です。(機内温度が 15℃以下の場合、第 2 原図は 800mm の長さでカットされます。) また、コピー出力中のロール紙を強制カットし、コピーをストップするときに押してください。(P. 4-9 参照)
- ㉝ **緊急原稿ストップキー**
原稿搬送を即時停止させたいときに押してください。
(P. 4-9 参照)

重要

- ・操作パネルの各キーをボールペンなど先のとがったもので押したり、突いたりしないでください。キーが破損する場合があります。

メッセージ表示



- ① 本機の状態や必要な操作などのメッセージを表示します。
- ② 本機の状態を表示します。
使用できる機能やキーを表します。
「再コピー」が表示しているときは、再コピーを行えます。
- ③ コピーモードを表示します。
自動用紙：自動用紙選択モード
自動倍率：自動倍率選択モード
- ④ 原稿の種類を表示します。
「標準原稿」「写真」「地図」「切り貼り」
- ⑤ コピー倍率を表示します。
- ⑥ コピー枚数を表示します。
- ⑦ 用紙の種類を表示します。
「普通紙」「第2原図」「フィルム」「カスタム」
- ⑧ 用紙のサイズと給紙段を表示します。
- ⑨ 設定されている編集機能や調整機能を記号で表示します。

表示記号	設定されている機能	参照ページ
	画像移動設定	P. 5-6 ～ P. 5-8
	余白設定	P. 5-8 ～ P. 5-9
	枠消し設定	P. 5-10
	鏡像設定	P. 5-10
	傾き補正	P. 6-1
	等倍度微調整	P. 6-2
	定着温度微調整	P. 6-2

3章 ご使用の準備

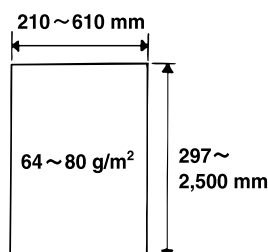
原稿について

原稿の種類

本機で利用できる原稿は以下のような制限がありますのでご注意ください。

●使用できる原稿

- ・シート原稿のみ使用できます。
- ・原稿サイズは規格紙の場合、A4 ㌥～ A1
- ・原稿の厚さは 64 ～ 80g/m²
- ・原稿長さは 297 ～ 2,500mm
- ・原稿幅は 210 ～ 610mm



補足

- ・ソートコピーで読み込みできる原稿枚数（参考値）

メモリー画像圧縮設定値	読み込み原稿枚数（A1）
高圧縮	約 20 枚
標準	約 5 枚

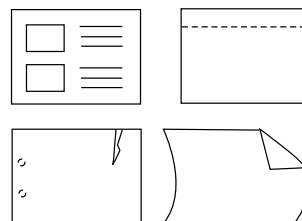
上記原稿枚数は、標準メモリ（64MB）での参考値です。原稿の挿入条件や原稿の種類によって変わります。

- ・初期設定の「メモリー画像圧縮」を“非圧縮”に設定している場合は、画像メモリの増設が必要になります。
- ・A1 原稿 1 枚（弊社黒率 6% 原稿）を読み込むには、標準メモリ（64MB）とは別に、増設メモリ 64MB（合計 128MB）以上の増設をお勧めします。
- ・初期設定の「メモリー画像圧縮」で、メモリに読み込んだ画像データの圧縮方法を変更できます。（P. 7-7 参照）
- ・ブックキャリア（オプション）を使用すると、冊子などの厚みのある原稿（厚み 1 ～ 8mm）を使用する事ができます。「ブックキャリア（オプション）」を参照してください。（P. 4-10 ～ P. 4-12 参照）

●キャリアシート〈オプション〉を使用していただきたい原稿

以下のような原稿はキャリアシートにはさんでご使用ください。また、その他の原稿でも特に大切な原稿や、繰り返し使用する原稿にも使用されることをお勧めします。キャリアシートの使い方は「キャリアシート（オプション）」を参照してください。（P. 3-3 参照）

- ・腰のない柔らかい原稿や薄手の原稿
- ・カーボン紙
- ・しわや折れがひどい原稿
- ・パンチ穴やミシン目のある原稿
- ・切り貼り原稿
- ・2 枚以上重ねた原稿

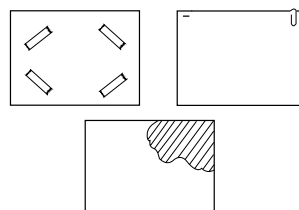


補足

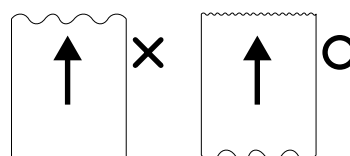
- ・フィルム原稿で繰り返しコピーをするときは、静電気による汚れを防ぐため必ずキャリアシートをご使用ください。
- ・濃い鉛筆原稿などの原稿を読み込む際、原稿が汚れるおそれがあるためキャリアシートのご使用をお勧めします。

●使用できない原稿

- ・「使用できる原稿」に記載されているサイズ以外の原稿
- ・ホッチキスやクリップで留めてある原稿
- ・濡れた原稿や粘着テープ、のりがついた原稿
- ・部分的に厚さが異なる原稿
- ・インクや修正液などが乾いていない原稿
- ・ドラガー、ブルーレーン原稿

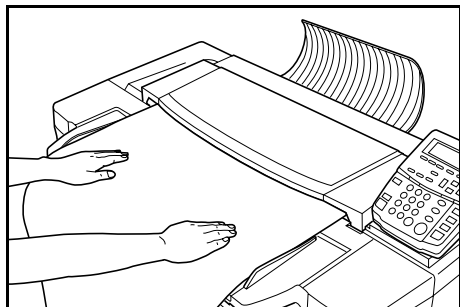


用紙の周囲に処理を行っている原稿は先端と後端が波うちしており、この部分にある画像が、文字浮き、白抜けする場合があります。このような時は波うちの少ない方を先端にして原稿をセットしてください。

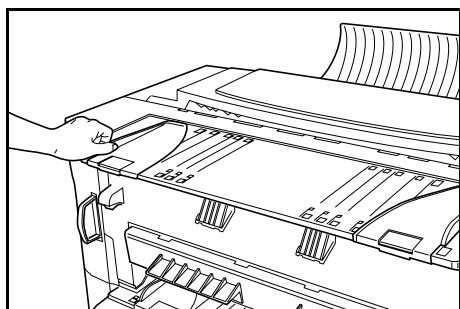


原稿セット時の注意事項

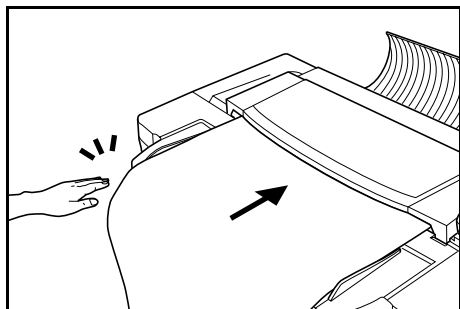
- ・ 原稿は下向きにセットしてください。



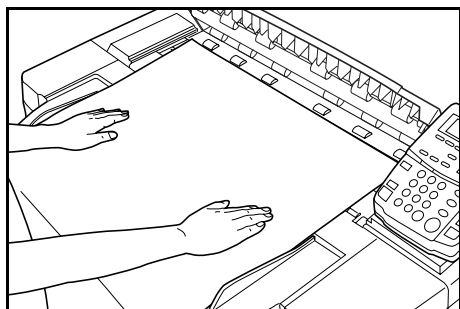
- ・ 原稿ガイドは左右あり、両方を原稿テーブル上の原稿サイズ指示に合わせてセットしてください。



- ・ 原稿をセットしたときや、**スタートキー**を押すと原稿の読み込みを開始しますので、読み込みを開始したときは手を離してください。



- ・ 原稿が上にカールしているときは、原稿押さえを開き、原稿サイズ指示の位置よりも奥（奥側のローラー位置）にセットしてください。

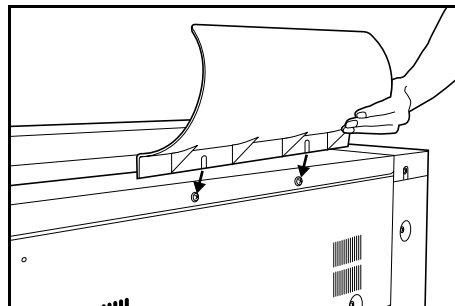


原稿反転ガイド

機械奥側に排出される原稿を手元に戻します。

●原稿反転ガイドのセット

本機の後ろ側にセットしてください。

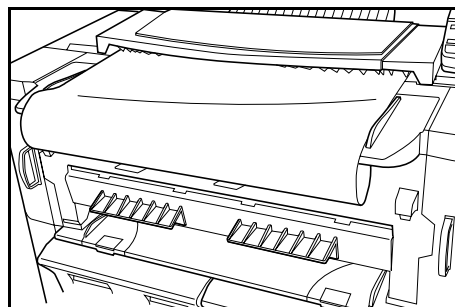


補足

- ・ 以下の時は、原稿反転ガイドを外してください。
ブックキャリア（オプション）を使用するとき
原稿トレイ（オプション）を使用するとき
キャリアシート（オプション）を使用するとき

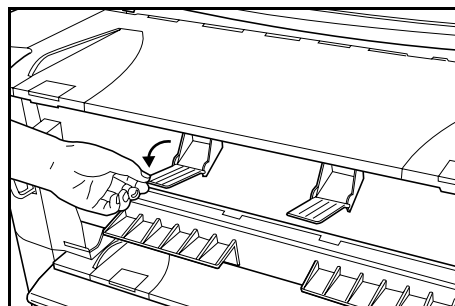
原稿ホルダー

長いロールの原稿をコピーするときに便利です。



●原稿ホルダーの使用方法

両側の原稿ホルダーを開き、原稿をセットしてください。

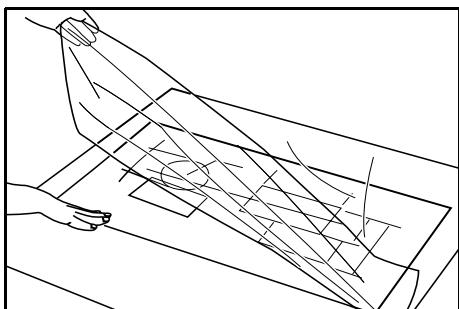


キャリアシート（オプション）

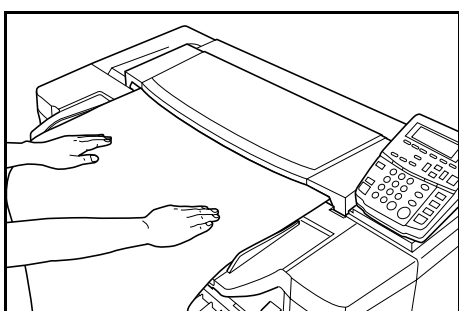
「キャリアシート＜オプション＞」を使用していただきたい原稿に記載されている原稿を使ってコピーするときには、このキャリアシートをお使いください。（P. 3-1 参照）

●キャリアシートの使用方法

- 1 キャリアシートの透明の方を上にして開け、原稿の表面が見えるようにはさんでください。原稿はキャリアシートの折り返しの部分に合わせてください。



- 2 折り返しの側から原稿をセットしてください。



重要

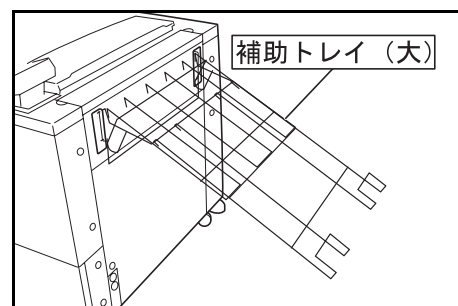
- キャリアシートをお使いの場合は、原稿排出方向を“奥”に設定してください。“手前”に原稿を排出すると原稿を傷める恐れがあります。
- 原稿の排出方向を変更する場合は、初期設定の「原稿排出方向」を参照してください。（P. 7-3 参照）

補足

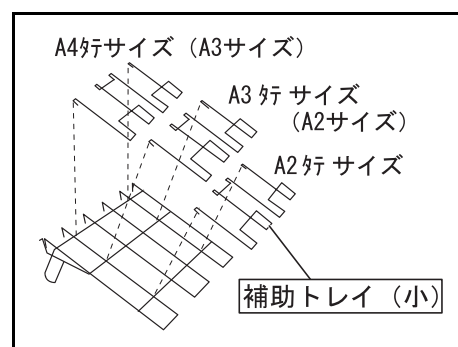
- 等倍コピー時に、シンクロカットでコピーすると用紙がキャリアシートの大きさにカットされます。

原稿トレイ（オプション）

補助トレイ（大）をセットすると A1 サイズの原稿を収納できます。収納枚数は 20 枚以下です。

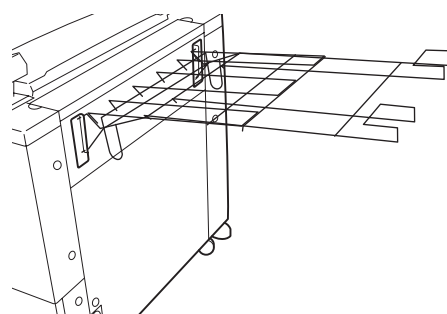


補助トレイ（小）をセットするとセットする位置により、A4 罫サイズ（または A3 サイズ）、A3 罫サイズ（または A2 サイズ）、A2 罫サイズの原稿を収納できます。補助トレイ（小）のセット位置は下図を参照してください。



補足

- キャリアシートやブックキャリアをご使用の場合には原稿トレイを水平にしてください。
- 水平にした場合の収納枚数は 1 枚ですのでご注意ください。



- 補助トレイ（大）または、補助トレイ（小）を使用しない場合は、大切に保管しておいてください。

用紙について

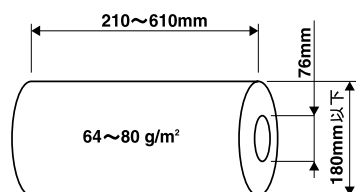
用紙の種類

本機で利用できる用紙は以下のような制限がありますのでご注意ください。

●利用できる用紙

給紙段 1 及び給紙段 2 (オプション)

- ・ ロール紙の幅：210 ～ 610mm
- ・ ロール紙の外径：180mm 以下
- ・ ロール紙の内径：76mm (75.2 ～ 77.2mm)



- ・ 利用できるロール紙の種類

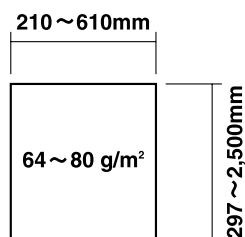
普通紙 (64 ～ 80g/m²)

第 2 原図

フィルム

手差し

- ・ 用紙サイズ (規格紙)：A4 タテ～ A1
- ・ 用紙の幅：210 ～ 610mm
- ・ 用紙の長さ：297 ～ 2,500mm



- ・ 利用できる用紙の種類

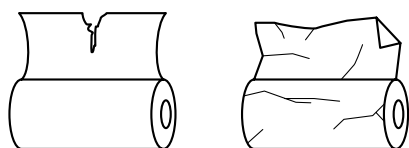
普通紙 (64 ～ 80g/m²)

第 2 原図

フィルム

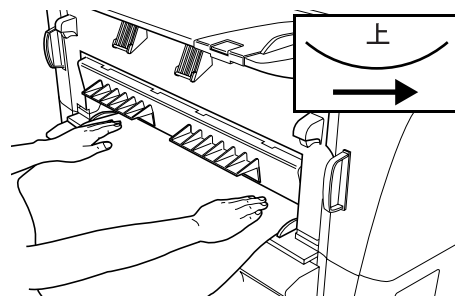
●使用できない用紙

- ・ 「利用できる用紙」に記載されている以外の用紙
- ・ ホッチキスなどが付いている用紙
- ・ しわや折れ、破れのある場合は、無くなるまでロール紙を引き出し、カットしてからご使用ください。



補足

- ・ 手差しでカールした用紙にコピーされる場合は、カールをのばしてご使用ください。それでもカールしている場合はカール面を上にしてご使用ください。



●用紙幅の自動検知について

セットされたロール紙が規格サイズであれば、用紙幅を自動検知します。検知される寸法は以下のとおりです。

< A 列 >

A1:594mm

A2:420mm

A3:297mm

A4:210mm

< B 列 >

B2:515mm

B3:364mm

B4:257mm

補足

- ・ 手差しは自動検知されません。
- ・ 規格サイズ以外の用紙幅を登録することができます。初期設定の「用紙幅設定」を参照してください。(P. 7-3 参照)
- ・ B 列のサイズは初期設定の「定形サイズ切替」で B 列を選択した場合に検知されます。(P. 7-5 参照)

●用紙の保管に付いて

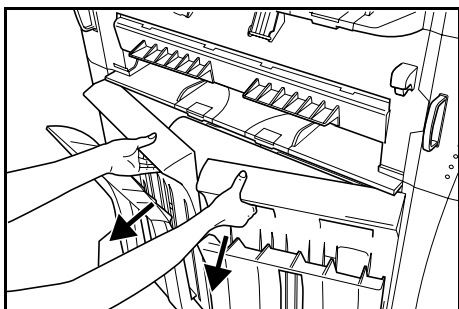
機械を長時間使わない場合は、ロール紙をもとの梱包紙に入れ、密封してください。

重要

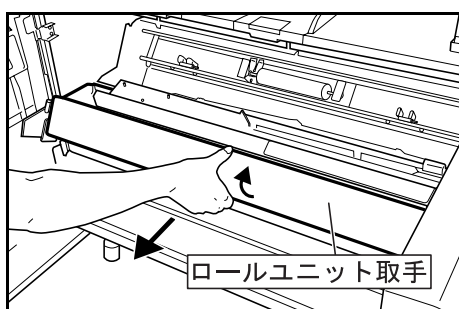
- ・ 第 2 原図について
第 2 原図は、環境状態に非常に影響を受けやすいため、ご使用されない場合は、ビニール袋に入れ密封してください。
- ・ 第 2 原図を高湿や低温環境下でご使用の場合は、環境の変化等により用紙に腰が無くなり、コピーにシワができたり、画像が白くぬけたりする場合があります。画像に異常が起こる場合は、以下の処理を行ってください。
◎第 2 原図カット紙をご使用の場合
用紙の**セット方向 (縦・横) を変えて**セットしてください。
◎第 2 原図ロール紙をご使用の場合
用紙**カットキーを 2 回押して**ロール紙の先端を長めにカットしてからお使いください。

ロール紙のセット方法

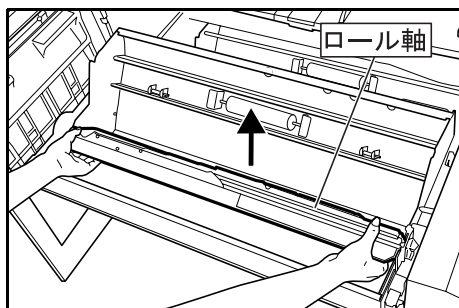
- 1 前カバーを開けてください。



- 2 ロールユニットの取手を持ってロックを解除し、ロールユニットを手前いっぱい引き出してください。

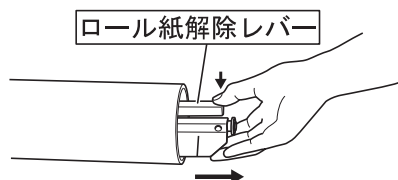


- 3 両手でロール軸を持ち、ロール軸を取り外してください。

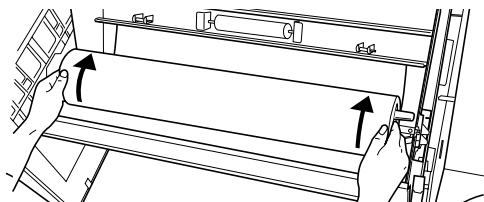


補足

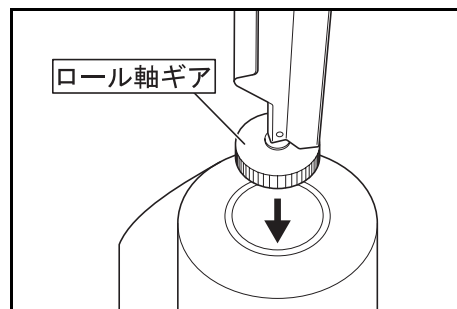
- ロール紙を交換する場合は、ロール紙解除レバーを握りながらロール軸を取りだしてください。



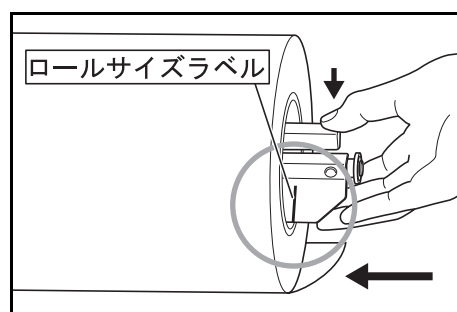
- メッセージ表示に“用紙を巻き取って下さい”と表示された場合は、ロール紙を巻き取り、新しいロール紙に交換してください。



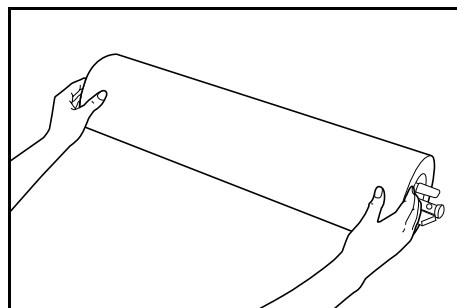
- 4 新しいロール紙をたて、ロール軸ギアが下になるようにロール軸を挿入してください。この際、図のようにロール紙が左巻きになるようにしてください。



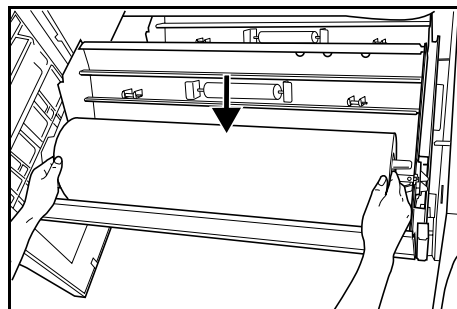
- 5 ロール紙を安定したところに置き、ロール紙解除レバーを握りながらロール紙をロールサイズラベルに合わせてください。



- 6 ロール紙を持ち上げるときは、ロールサイズラベルを手前にして、両手でロール紙の芯を持ってください。



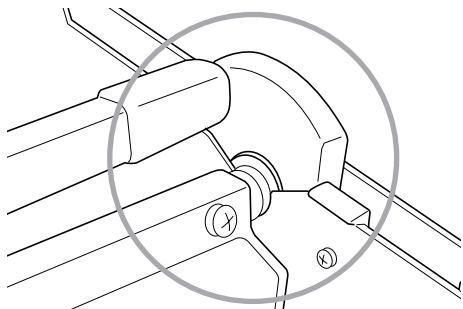
- 7 ロール軸ギアを左にして、ロール軸の両側にある軸受けをロールユニットのガイド溝に入れてください。



3章 ご使用の準備

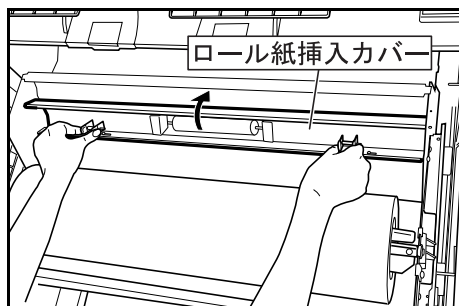
重要

- ・下図のように、ロール軸の右側の軸受けをガイド溝に入れてください。

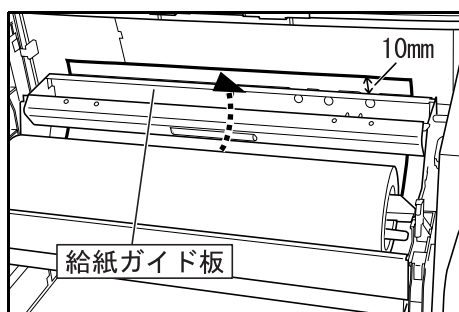


- ・ロール紙をロールユニットにセットするときは、手をロール紙とセットするガイド溝にはさまないように注意してください。

- 8** 両側のロール紙挿入つまみをつまんでロール紙挿入カバーを開いてください。

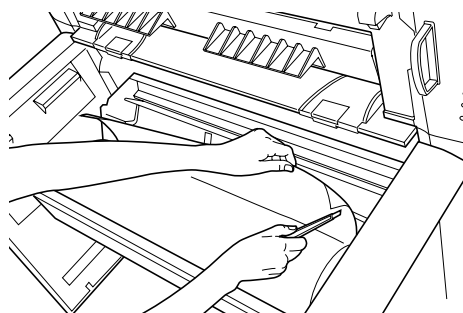


- 9** 図のように給紙ガイド板の下に、ロール紙先端を挿入して、そのガイド板から10mm程度出してください。

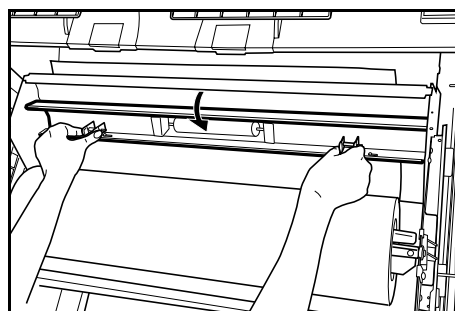


補足

- ・ロール紙の先端が折れている、または、破れている場合は、カッター等で先端をカットしてください。

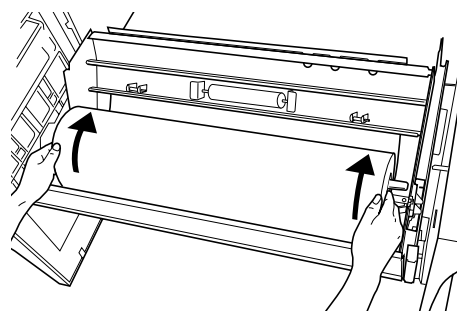


- 10** ロール紙挿入つまみをつまんでロール紙挿入カバーを確実に閉じてください。

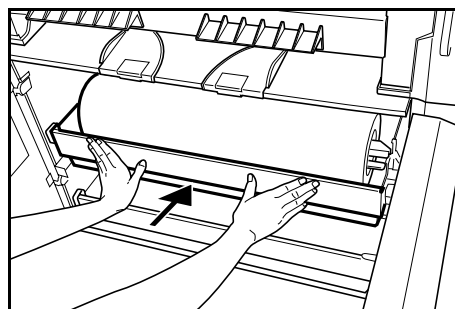


重要

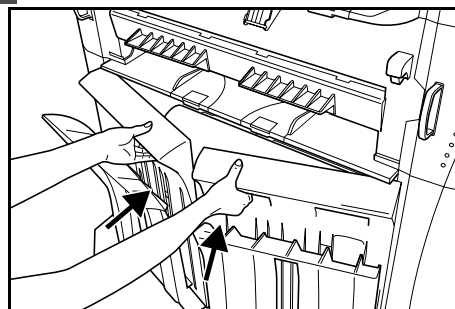
- ・セットしたロール紙にたるみがある場合は、ロール紙を戻してたるまないようにしてください。用紙が斜めに給紙されるおそれがあります。



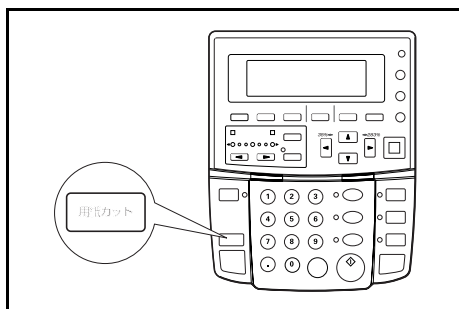
- 11** ロールユニットを機械本体にしっかりと押し込んでください。



- 12** 前カバーを閉めてください。



- 13** ロール紙の先端を揃えるため、用紙カットキーを押してください。ロール紙の先端がコピー排出口から排出されます。

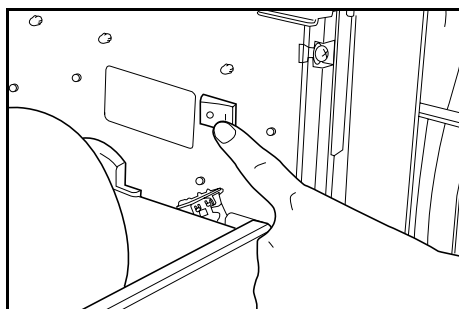


補足

- 機内温度が 15℃以下の場合、第2原図は 800mm の長さでカットされます。

保温ヒーターについて

高湿（70%RH 以上）や急激な温度変化があるときは保温ヒーターのスイッチを **ON**（**|**）にしてご使用ください。メインスイッチが **OFF**（**O**）の状態でも保温ヒーターを **ON**（**|**）にすることができます。



重要

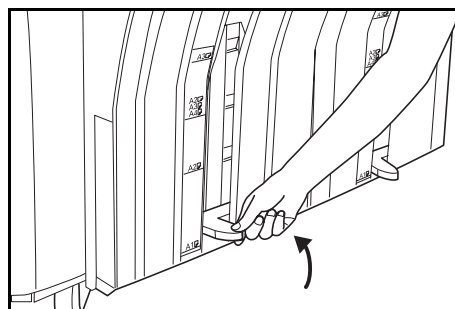
- 第2原図、フィルムを使用される場合は必ず保温ヒータースイッチを **OFF**（**O**）でご使用ください。用紙にしわが発生したり、波をうつ恐れがあります。

コピー受け補助板

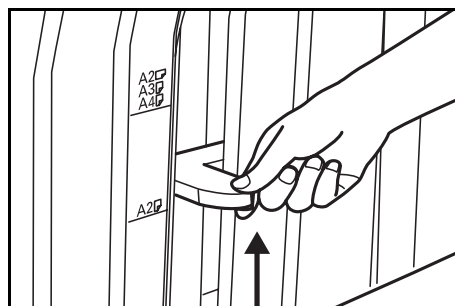
コピーする用紙に合わせてコピー受け補助板をセットしてください。

●コピー受け補助板のセット方法

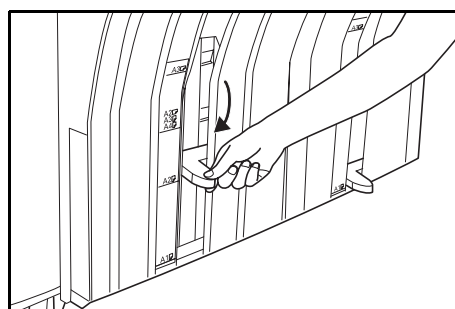
- 1** コピー受け補助板を上に向けて傾けます。



- 2** コピー受けのサイズラベルに合わせて、セットしたいサイズにスライドさせます。



- 3** セットしたいサイズで、コピー受け補助板を水平に戻します。



- 4** もう一方のコピー受け補助板も同じ手順でセットしてください。

電源を入れる

本体右側にあるメインスイッチを **ON**（**|**）にしてください。ウォームアップを開始します。



補足

- ・ウォームアップに必要な時間は約 300 秒です。
- ・ウォームアップ中でも、メッセージ表示に“**原稿読み込み可能です**”と表示が出ているときは、原稿の読み込みやコピー機能の設定を行うことができます。設定されたコピーは、ウォームアップ終了後、出力されます。

しばらくお待ちください	
原稿読み込み可能です	1枚
100%	□普通紙
	□594×396□

ウォームアップが終了すると下のようなメッセージ表示が表示され、コピーできるようになります。

コピーできます	
	1枚
100%	□普通紙
	□594×396□

4章 コピーをとる

コピーをとる前に

初期状態について

本機のメインスイッチを ON (|) にし、ウォームアップが終了してコピー可能になった状態を初期状態といいます。オートクリア機能が働いた場合や、リセットキーを押した場合も初期状態になります。コピーをとる前に、本機が初期状態になっているか必ず確認してください。

コピーできます

100%

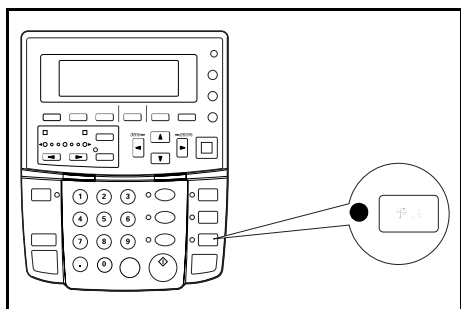
1枚
普通紙
594×396mm

補足

- ・オートクリア機能が働いた場合には、濃度表示は初期状態の設定値には戻りません。

予熱表示が点灯している場合

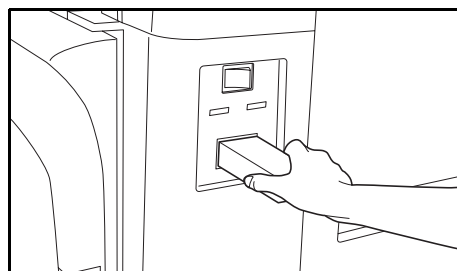
操作パネルで予熱表示が点灯し、その他の表示が消灯しているときは、本機は予熱状態になっています。予熱キーを押すとウォームアップを開始します。



キーカウンター（オプション）を使用しているとき

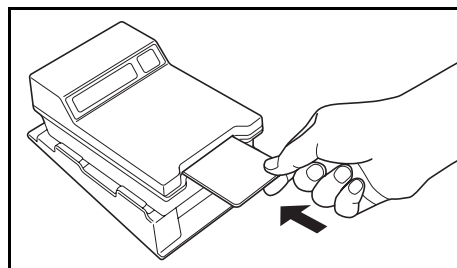
“キーカウンタをセットして下さい”とメッセージが表示されているときは、本機にキーカウンターをセットする必要があります。

本体右側のキーカウンター挿入口にキーカウンターを奥まで差し込んでください。



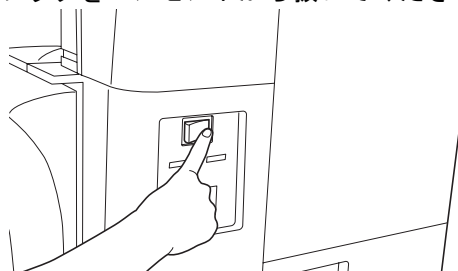
キーカード（オプション）を使用しているとき

“キーカードをセットして下さい”とメッセージが表示されているときは、キーカード本体に専用の部門カードをセットする必要があります。キーカード本体のカード挿入口に専用の部門カードを奥まで差し込んでください。



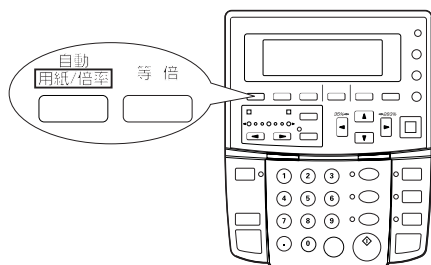
▲ 注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



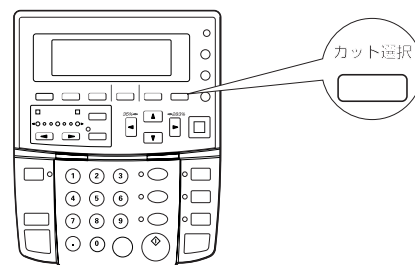
基本的なコピーのしかた

① コピーモードの選択



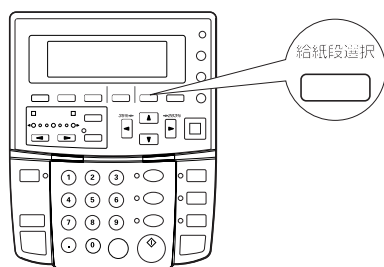
「コピーモードについて」(P. 4-4 参照)

④ カット寸法の選択



「カット寸法の選択」(P. 4-6 参照)

② 給紙段の選択



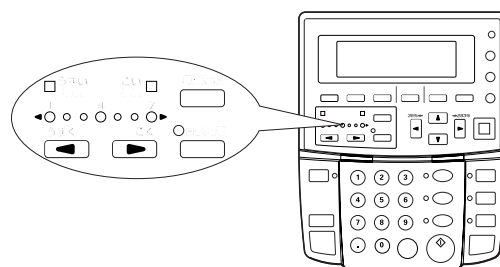
給紙段選択キーを押してください。
メッセージ表示の給紙段が変わります。



補足

- ・“給紙段 1”、“給紙段 2” (オプション)、“手差し” から選択してください。
- ・手差しを選択したときは、余白設定、枠消し設定、自動用紙選択モード、自動倍率選択モードを使用できません。

⑤ 原稿種類とコピー濃度の選択

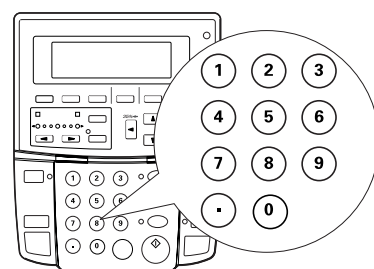


「原稿種類とコピー濃度の選択」(P. 4-8 参照)

⑥ 機能の設定

各機能を参照し設定を行ってください。

⑦ コピー枚数の選択

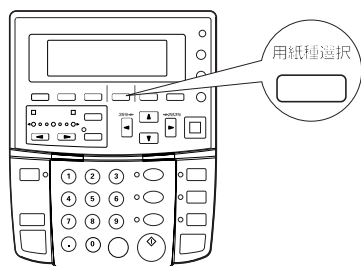


テンキーを使ってコピーする枚数を入力してください。
入力した枚数はメッセージ表示に表示されます。

補足

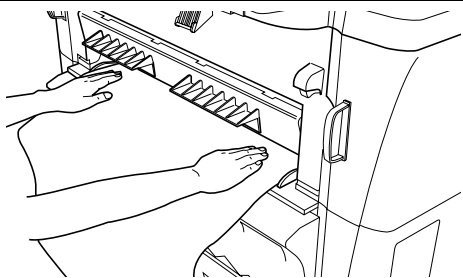
- ・入力できるコピー枚数は 1 ～ 99 枚です。
- ・コピー枚数の初期値は 1 枚です。

③ 用紙種類の選択

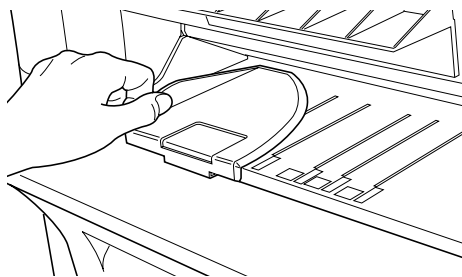


「用紙種類の選択」(P. 4-6 参照)

⑧ 手差し用紙のセット (手差し選択時)

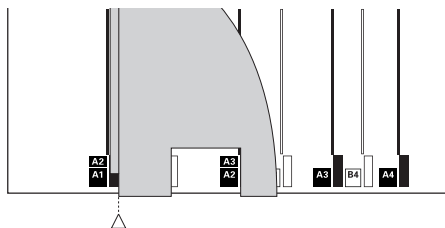


- 1** 手差しガイドを手差しテーブル上の用紙サイズ指示に合わせてセットしてください。

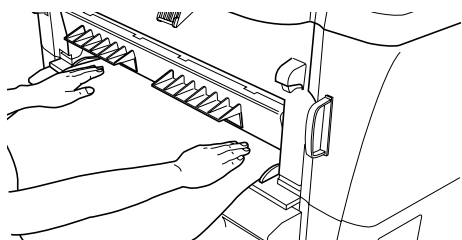


補足

- 手差しガイドは左右両側にあり、用紙サイズ指示に正確に合わせてください。



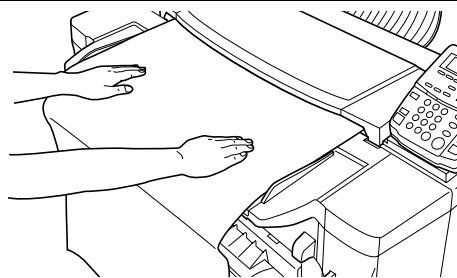
- 2** 印字する面を下向きにし、手差しガイドに沿わせて奥まで差し込んでください。



補足

- 手差しに用紙をセットするときは、速やかに奥まで差し込み、本機が給紙し始めましたら、手を離してください。正しくセットされないと、紙詰まりを検知する場合があります。
- 手差しにセットできる用紙の枚数は1枚です。
- メッセージ表示に“手差しに用紙をセットして下さい”と表示されたときは、次の用紙をセットしてください。コピーが開始されます。
- 手差しを使用してコピーするときは、余白設定、枠消し設定、自動用紙選択モード、自動倍率選択モードを使用できません。

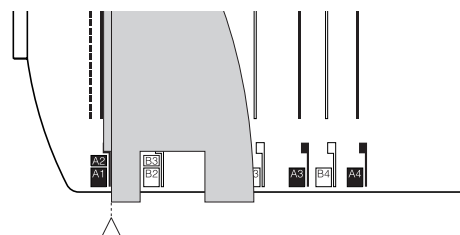
⑨ 原稿のセット



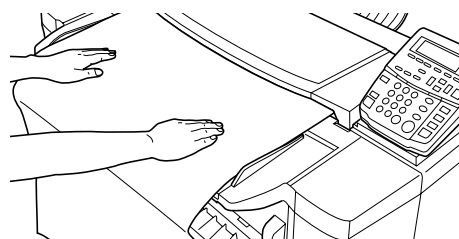
- 1** 原稿ガイドを原稿テーブル上の原稿サイズ指示に合わせてセットしてください。

補足

- 原稿ガイドは左右両側にあります。原稿サイズ指示に正確に合わせてください。



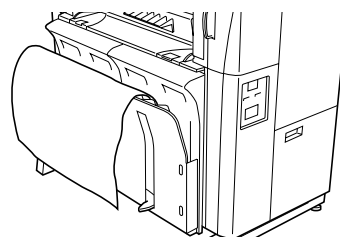
- 2** 原稿を下向きにし、原稿ガイドに沿わせてセットしてください。コピーが開始されます。



補足

- 初期設定の「コピー開始方法」で“スタートキー”に設定しているときは原稿セット後、スタートキーを押してください。(P. 7-6 参照)
- 原稿を正確に読み込みたいときは、原稿押さえを開けて原稿をセットしてください。「正確に原稿をセットするとき」(P. 4-5 参照)

コピーされた用紙は、コピー受けに収納されます。

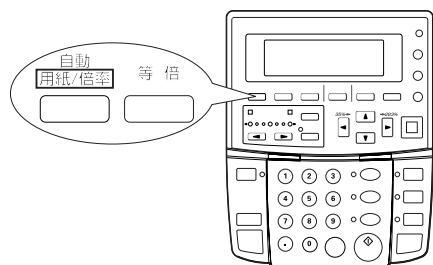


補足

- コピー受け収納枚数 A1、A2 形：20 枚
その他：1 枚

コピーモードについて

本機のコピーモードには、“自動用紙選択”モード、“自動倍率選択”モード、“手動”モードがあります。初期状態時に選択されるコピーモードを、初期設定の「自動選択設定」で変更することができます。(P. 7-6 参照)



自動用紙選択モードについて

原稿をセットしたときに、自動的に同じサイズの給紙段が選択されます。自動用紙選択モードにするときは、自動用紙／倍率キーを押し、メッセージ表示に“自動用紙”を表示させてください。

コピーできます

自動用紙 100%	1枚 □普通紙 ----×シンク□
---------------------	--------------------------------

補足

- ・手差しは自動選択されません。
- ・自動用紙選択モードが設定されているときに、給紙段選択キーを押した場合に、手動モードに移行する（“等倍優先”）か、自動倍率選択モードに移行する（“自動倍率優先”）かを設定できます。初期設定の「自動倍率モード」で設定してください。(P. 7-6 参照)

自動倍率選択モードについて

原稿をセットしたときに、選択されている用紙サイズに合わせてコピー倍率を自動設定します。自動倍率選択モードにするときは、自動用紙／倍率キーを押し、メッセージ表示に“自動倍率”を表示させてください。

コピーできます

自動倍率 ---%	1枚 □普通紙 0594×シンク□
---------------------	--------------------------------

補足

- ・手差しを選択した場合のコピー倍率は、100%になります。

手動モードについて

給紙段を選択して、等倍（コピー倍率 100%）でコピーします。手動モードにするときは等倍キーを押してください。

コピーできます

100%	1枚 □普通紙 0594×シンク□
-------------	--------------------------------

補足

- ・変倍モードについて
変倍キーを押すと、任意のコピー倍率を設定して、拡大／縮小コピーができます。設定方法は「変倍モード」を参照してください。(P. 5-2 ～ P. 5-4 参照)

コピーできます

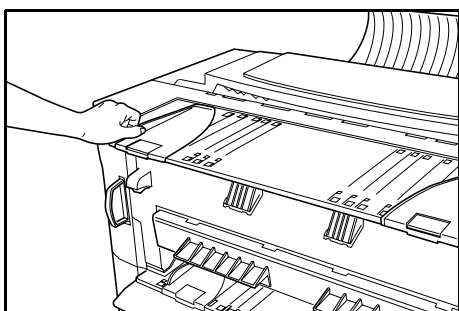
60%	1枚 □普通紙 0594×シンク□
------------	--------------------------------

正確に原稿をセットするとき

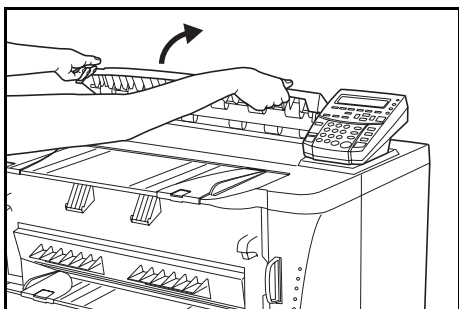
原稿押さえ内にある原稿サイズ指示に合わせることで、原稿を正確にセットすることができます。

セット方法

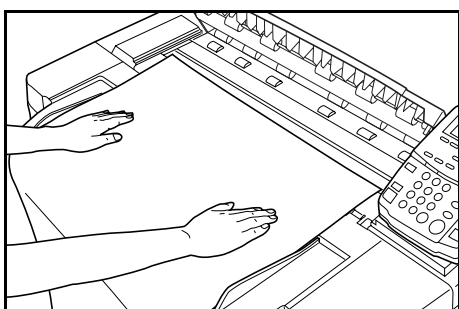
- 1 必要に応じてコピー方法を設定してください。
- 2 原稿ガイドを原稿サイズ指示に合わせてセットしてください。



- 3 原稿押さえを両手で持って開いてください。約 60° 開くと原稿押さえが保持されます。

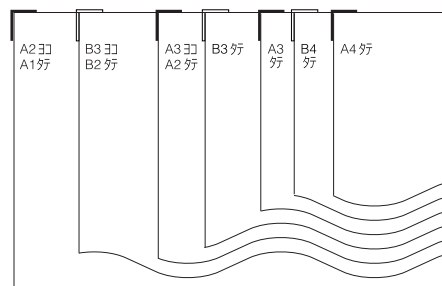


- 4 原稿押さえ内にある原稿サイズ指示に合わせて原稿をセットしてください。

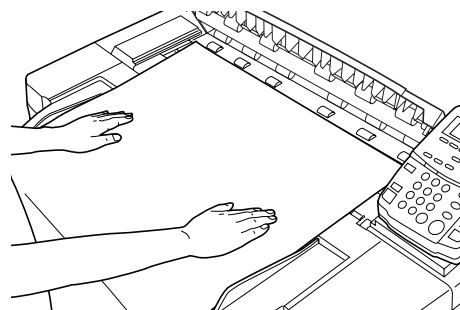


補足

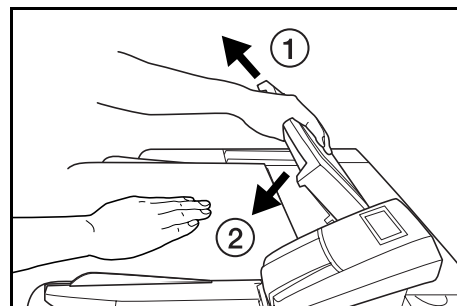
- ・ 原稿の両端を () () に合わせてセットしてください。



- ・ 原稿が上にカールしているときは、原稿サイズ指示の位置よりも奥（奥側のローラの位置）にセットしてください。



- 5 原稿が動かないよう押さえながら、原稿押さえを手前に少し引いて、静かに閉じてください。



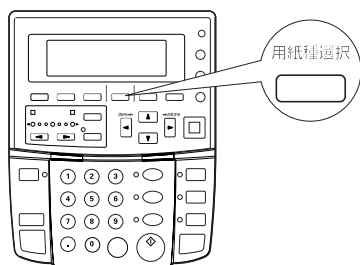
重要

- ・ 原稿押さえを閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

- 6 スタートキーを押してください。コピーが開始されます。

用紙種類の選択

用紙種選択キーを押すと、“普通紙”、“フィルム”、“第2原図”、“カスタム”の中からご使用の用紙種を選択できます。用紙種を選択すると用紙の種類に合わせて自動的に定着温度、等倍度を調整します。



補足

- “カスタム”を選択すると初期設定の「カスタム紙種設定」で設定した用紙種、定着温度、等倍度に調整されます。(P. 7-4 参照)
- 初期設定の「給紙段用紙種連動」を“ON”に設定すると、各給紙段にセットされている用紙種を登録できます。給紙段選択キーを押して給紙段を選択すると、用紙種の設定を自動的に変更します。初期設定の「給紙段用紙種連動」と「用紙種設定」を参照してください。(P. 7-3 参照)

1 用紙種選択キーを押してください。

2 ▲▼ キーを押して、⇒ を使用する用紙の種類にあわせてください。

用紙種選択:

普通紙
⇒ 第2原図
フィルム

補足

- “普通紙”、“第2原図”、“フィルム”、“カスタム”から用紙の種類を選択してください。

3 OK キーを押してください。

4 メッセージ表示に選択した用紙の種類が表示されているか確認してください。

コピーできます

100%

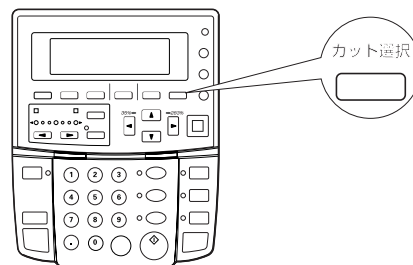
1枚
第2原図
594×シクロ

補足

- 用紙種を変更した場合は、定着温度が安定するまでしばらくお待ちください。

カット寸法の選択

カット選択キーを押すと、ロール紙のカット方法（寸法）を設定できます。



本機には、次のようなカット方法があります。

シンクロカット

原稿の用紙長さとコピー倍率に応じて用紙をカットします。

定寸カット

定形サイズの用紙長さや、あらかじめ登録した用紙長さで用紙をカットします。

テンキー入力

カット寸法をテンキーを使って入力します。

補足

- 手差し用紙はカットを選択できません。

シンクロカット

シンクロカットでカットされる用紙の最短長さは 297mm です。縮小コピーなどで原稿サイズが 297mm 未満になる場合であっても用紙の後端に余白が付き、297mm の長さでカットされます。

1 カット選択キーを押してください。

2 ▲▼ キーを押して、⇒ を“シンクロカット”にあわせてください。

カット選択: 297mm~2500mm

⇒ シンクロカット
定寸カット
テンキー入力

3 OK キーを押してください。
基本の画面にもどります。

コピーできます

100%

1枚
普通紙
594×シクロ

定寸カット

以下の長さが選択できます。

A 列	B 列
841mm, 594mm, 420mm, 297mm, ユーザー 1, ユーザー 2	728mm, 515mm, 364mm, ユーザー 1, ユーザー 2

補足

- ・A 列、B 列は初期設定の「定形サイズ切替」により選択できます。(P. 7-5 参照)
- ・ユーザー 1, ユーザー 2 には任意のカット寸法を登録できます。初期設定の「定寸カット登録」を参照してください。(P. 7-6 参照)

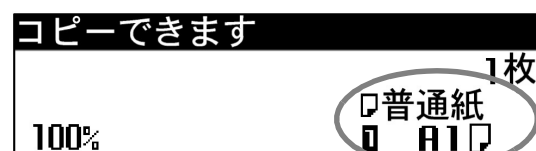
- 1 カット選択キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して、⇒ を“定寸カット”にあわせてください。



- 3 OK キーを押してください。
- 4 ▲▼ キーを押して、⇒ をカットしたい長さにあわせてください。



- 5 OK キーを押してください。
基本の画面にもどります。



テンキー入力

- 1 カット選択キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して、⇒ を“テンキー入力”にあわせてください。



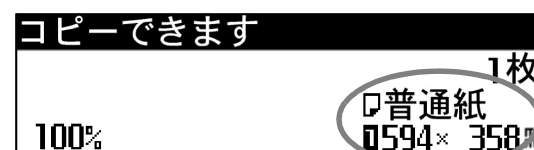
- 3 テンキーを使って、カット寸法を入力してください。



補足

- ・入力できるカット寸法は 297 ～ 2,500mm です。

- 4 OK キーを押してください。
基本の画面にもどります。選択した寸法が表示されているか確認してください。



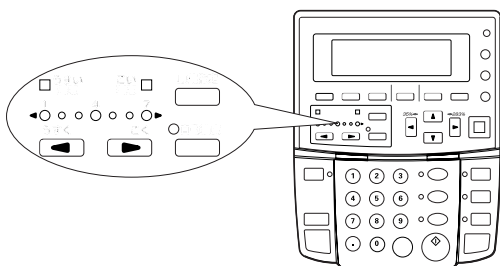
ショートカット

- ・“テンキー入力”を行うときには、
①カット選択キーを押して、
②テンキーを使って入力してください。
テンキー入力モードになります。

原稿種類とコピー濃度の選択

原稿指定キーを押すと原稿の種類を設定できます。
原稿の種類には“標準原稿”、“写真”、“地図”、“切り貼り”の4種類があります。

コピー濃度調整キー（◀）を押すとコピー濃度をうすく、
コピー濃度調整キー（▶）を押すとコピー濃度をこく設定できます。コピー濃度は7段階または13段階で設定できます。
標準原稿には自動濃度、うすい濃度モード、こい濃度モードを設定できます。



標準原稿

図面や新聞などの標準的な原稿です。キャリアシートをご使用の際にも標準原稿に設定してください。

うすい濃度モード コピー濃度調整キー（◀）を繰り返し押し続けると“うすい濃度”表示が点灯し、うすい濃度モードでコピー濃度を設定できます。

こい濃度モード コピー濃度調整キー（▶）を繰り返し押し続けると“こい濃度”表示が点灯し、こい濃度モードでコピー濃度を設定できます。

自動濃度 標準原稿のコピー濃度を自動的に調節します。

写真

写真やポスターなどの原稿のときに設定してください。

地図

地図や、写真と文字が混在している原稿のときに設定してください。

切り貼り

切り貼りをしている原稿のときに設定してください。貼り付けた部分の周囲にできる影をおさえます。

補足

- ・コピー濃度のステップ数（7段階か13段階か）は初期設定の「濃度ステップ」で設定してください。（P. 7-6 参照）
- ・初期設定の「濃度調整」で全体的なコピー濃度を調整できます。（P. 7-6 参照）
- ・初期状態時に選択される原稿種類、コピー濃度を、初期設定の「自動 / 手動濃度切替」「濃度初期値」で設定できます。（P. 7-6 参照）
- ・自動濃度でコピーした後、再コピーで出力する際に、コピー濃度調整キー（◀）（▶）を押すと、自動濃度で検知されたコピー濃度表示が点灯します。

原稿種類とコピー濃度の設定のしかた

1 原稿の指定

原稿指定キーを押してください。

2

▲▼ キーを押して、⇒ を選択したい原稿種類にあわせてください。

原稿指定:

⇒ 標準原稿
写真
地図
▼

3

OK キーを押してください。

基本の画面にもどります。選択した原稿の種類が表示されます。

コピーできます

1枚
□標準原稿 □普通紙
100% 594×396mm

4

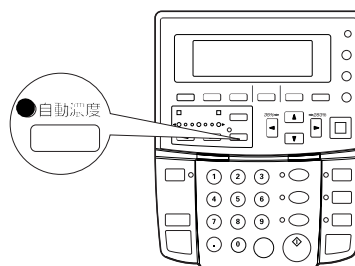
コピー濃度の指定

コピー濃度調整キー（◀）（▶）を押してコピー濃度を設定してください。コピー濃度表示が移動します。

標準原稿を選択している場合は、“自動濃度”を設定できます。**自動濃度キー**を押して、自動濃度表示を点灯させてください。コピー濃度が自動的に調整されます。

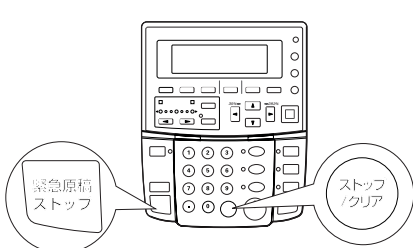
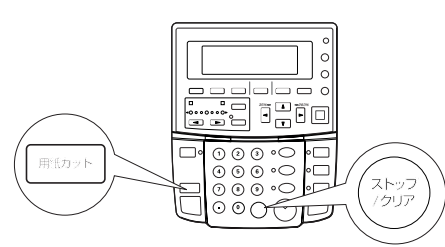
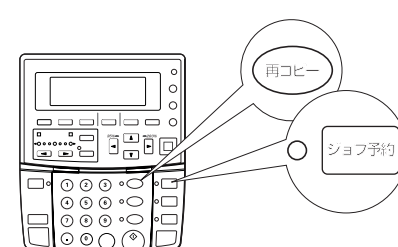
ショートカット

- ・標準の原稿を自動濃度でコピーするときには、
①自動濃度キーを押して、自動濃度表示を点灯させてください。
標準原稿を自動濃度でコピーできます。



コピーをキャンセルする

コピーのキャンセル方法は本機の状態により異なります。
状況に合わせて操作を行ってください。

キャンセル項目	状況	処置
原稿読み込みのキャンセル 	読み込み中の原稿を即時ストップしたい。	緊急原稿ストップキー を押してください。原稿の読み込みを中止します。原稿押さえを開いて、原稿を取り除いてください。
	ソートコピー時に読み込み中の原稿をキャンセルし、再度読み込み直したい。	ストップ/クリアキー を押してください。
出力のキャンセル 	出力中の用紙を即時ストップしたい。 (出力中の用紙を途中でカットします。)	用紙カットキー を押してください。
	出力中の用紙をストップしたい。 (出力中の用紙が排出されてからストップします。)	ストップ/クリアキー を押してください。
予約のキャンセル 	予約したジョブをキャンセルしたい。	ジョブ予約キー を4秒以上押し続けると、ジョブ予約を削除する画面が表示されます。「ジョブ予約の削除」を参照し、キャンセルするジョブを削除してください。(P.6-5 参照)
	再コピーの予約をキャンセルしたい。	再コピーキー を押してください。

ブックキャリア（オプション）

ブックキャリア（オプション）を使用すると、厚みのある冊子をコピーすることができます。

ブックキャリアについて

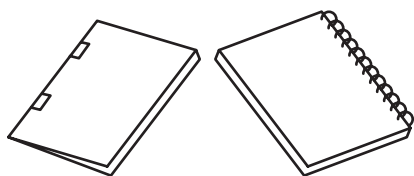
●使用できる原稿

- ・原稿の厚さは1～8mm（見開き） 本厚さ2～16mm
- ・原稿サイズはA4 ㍻～ A1（見開き） 本サイズA5 ㍻～ A2
- ・原稿幅は210～594mm
- ・原稿長さは297～841mm
- ・背張り製本した冊子



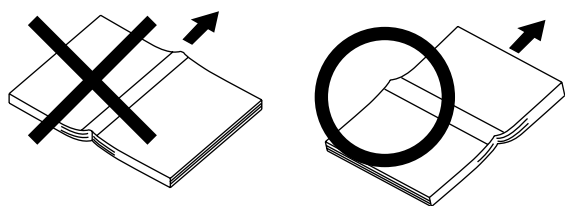
●使用できない原稿

- ・「使用できる原稿」で記載されているサイズ以外の原稿
- ・金具やコイルで綴じられている冊子

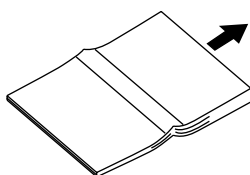


●原稿をセットするときの注意事項

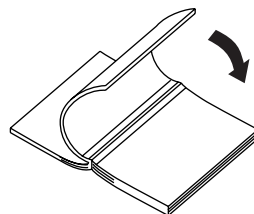
- ・原稿は下図の方向にセットしてください。



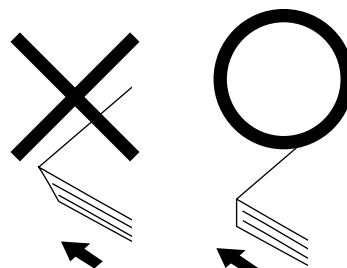
- ・開いた原稿の左右の厚みが同じになるようにしてください。厚みに差がある場合には、厚い方からセットしてください。



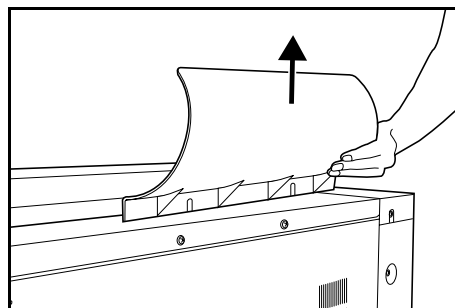
- ・ページの前側や後側など、左右の厚みに大きく差がでるときは、下図のように厚みのある方のページを折り返して、ほぼ同じ厚さになるようにしてください。



- ・原稿をセットするときは、挿入した原稿の先端が垂直にそろるようにしてください。うまく挿入できない場合は、ブックキャリアを開けてセットしてください。



- ・ブックキャリアを使用するときは、必ず原稿反転ガイドを外してください。

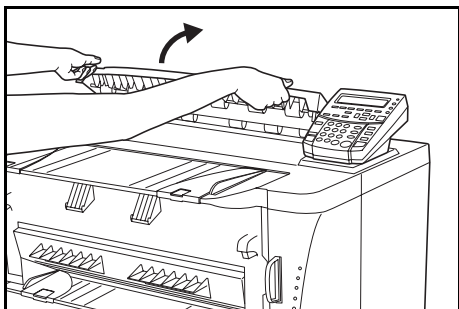


重要

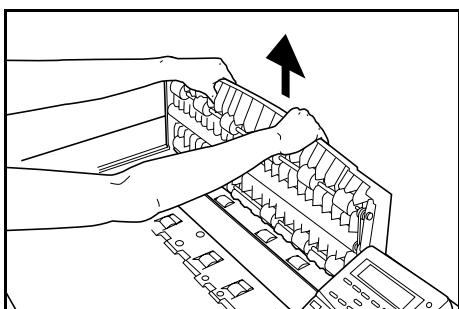
- ・使用される原稿によっては、原稿とコンタクトガラス（原稿読み取り部）の間に隙間ができ、画像がコピーされないところがある、またはコピーされた画像の周囲に黒スジが出る場合があります。詳しくは最寄りのサービス担当者にご相談ください。

ブックキャリアのセット

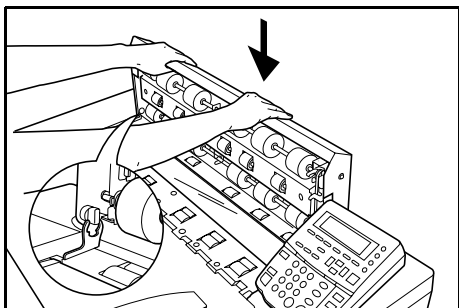
- 1 原稿押さえを両手で開いてください。約 60° 開くと原稿押さえが止まります。そのまま、さらに開いてください。



- 2 原稿押さえを両手で持ち、上に抜き取ってください。



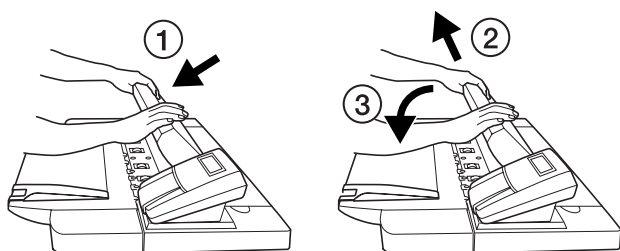
- 3 ブックキャリアを取り付けてください。



重要

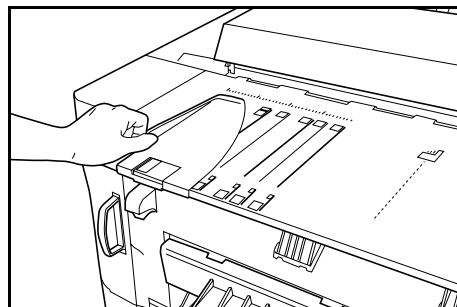
- ・原稿押さえや、ブックキャリアを着脱するときには、落とさないよう両手でしっかりとお持ちください。また、ブックキャリアと原稿テーブルの間に、手をはさまないように注意してください。

- 4 ブックキャリアを閉じてください。約 60° 閉じるとブックキャリアが止まります。ブックキャリアを手前に少し引いて、静かに閉じてください。



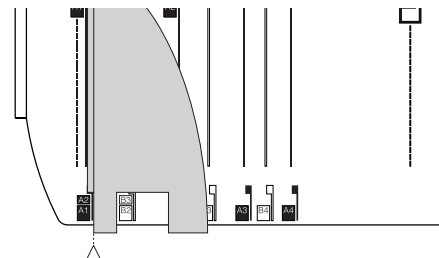
原稿のセット

- 1 原稿ガイドを原稿テーブル上の原稿サイズ指示に合わせてセットしてください。

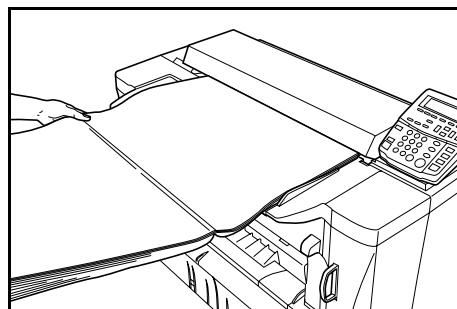


補足

- ・原稿ガイドは左右両側にあります。原稿サイズ指示に正確に合わせてください。

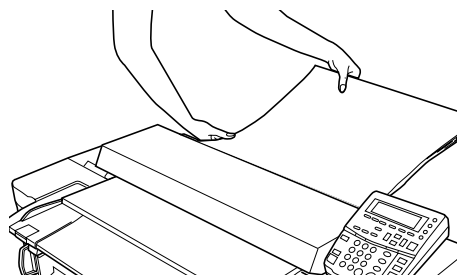


- 2 原稿を下向きにして、原稿ガイドに沿わせてセットしてください。コピーが開始されます。



補足

- ・コピー中は、原稿が水平になるように手で支えてください。また、原稿が排出される時も手で支えてください。



- ・原稿を止めたり、引っ張らないよう機械に合わせて動かしてください。
- ・原稿トレイ（オプション）を併用してご使用いただくと便利です。

4章 コピーをとる

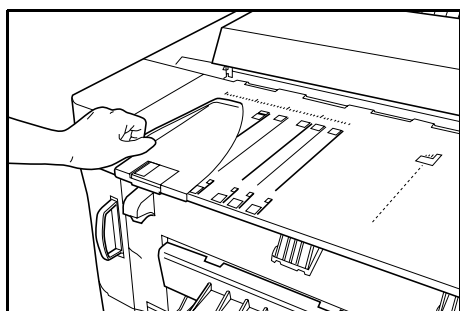
●ブックキャリアを開けて原稿をセット

厚めの原稿をコピーするときは、ブックキャリアを開けるとセットしやすくなります。

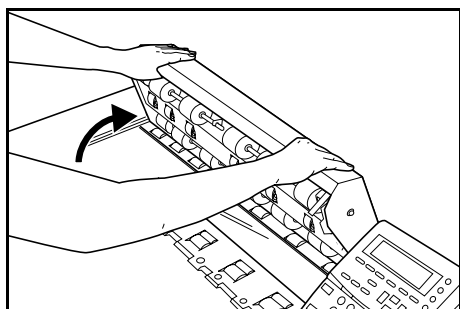
また、ブックキャリア内にある原稿サイズ指示に、原稿を合わせることで、原稿のセット位置を正確にセットすることができます。

セット方法

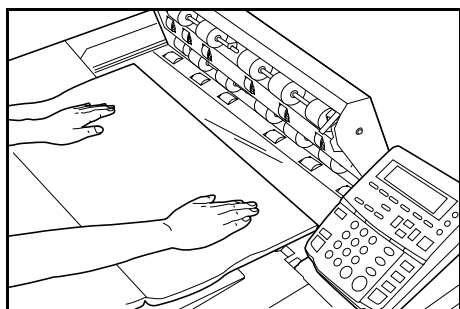
- 1 必要に応じてコピー方法を設定してください。
- 2 原稿ガイドを原稿サイズ指示に合わせてセットしてください。



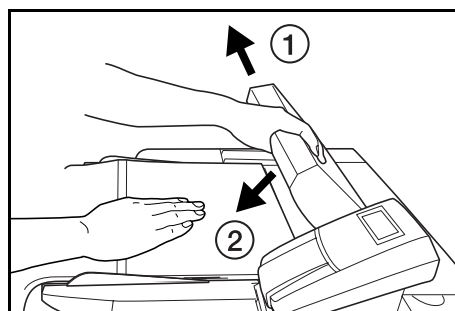
- 3 ブックキャリアを両手で持って開けてください。約 60° 開くとブックキャリアが保持されます。



- 4 ブックキャリア内にある原稿サイズ指示に合わせて原稿をセットしてください。



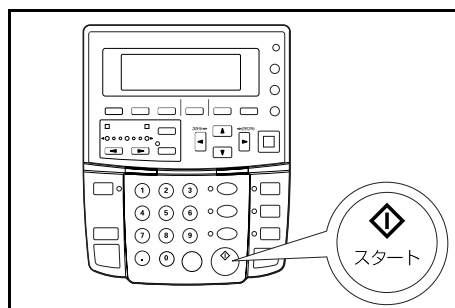
- 5 原稿が動かないよう押さえながら、ブックキャリアを手前に少し引いて、静かに閉じてください。



重要

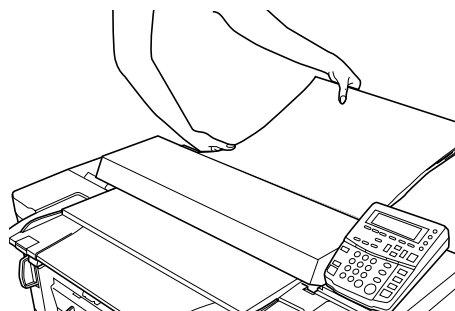
- ・ブックキャリアを閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

- 6 スタートキーを押してください。コピーを開始します。



補足

- ・コピー中は、原稿が水平になるように手で支えてください。また、原稿が排出される時も手で支えてください。

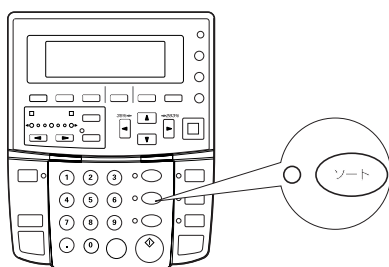


- ・原稿を止めたり、引っ張らないように機械に合わせて動かしてください。
- ・原稿トレイ（オプション）を併用してご使用いただくと便利です。

5章 機能的なコピーをとる

ソートコピー

ソートコピーは、複数の原稿をコピーする際、1部ごとに順番に並べて出力するコピー機能です。原稿の最大読み込み枚数は20枚です。

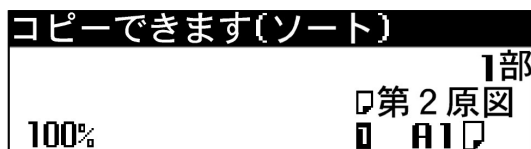


補足

- ジョブ予約時にソートコピーできる原稿枚数には制限があります。初期設定の「最大ジョブ予約数」で設定されているジョブ数で変わります。(P. 7-7 参照)

ジョブ予約数	最大原稿読み込み枚数
5 ジョブ	20 枚
10 ジョブ	10 枚
20 ジョブ	5 枚

- 1 ソートキーを押してください。
ソートコピー表示が点灯し、“コピーできます (ソート)”とメッセージに表示されます。



- 2 コピーする部数をテンキーで入力してください。
- 3 必要に応じてコピー方法を設定してください。
- 4 原稿をセットしてください。原稿の読み込みを開始します。

- 5 原稿の読み込みを終了するとメッセージ表示に“次の原稿を挿入して下さい”と表示されます。次の原稿をセットしてください。



補足

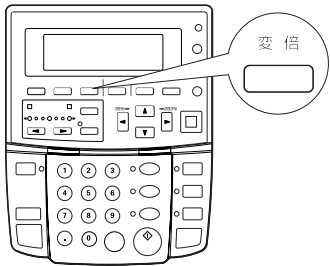
- 原稿枚数が最大原稿読み込み枚数内であっても、メモリーオーバーフローが発生する場合があります。「メモリーオーバーフロー時の処置」にしたがって処置を行ってください。(P. 8-5 参照)

- 6 すべての原稿の読み込みが完了したときは、OKキーを押してください。
- 7 出力部数を確認または修正する画面が表示されます。出力部数を確認し、スタートキーを押してください。修正する場合にはテンキーで部数を入力し、スタートキーを押してください。



変倍モード

変倍キーを押すと、35%から 283%の間で 1%または 0.1%刻みでコピー倍率を設定できます。



- 補足
- ・コピー倍率のステップを 1%または 0.1%に変更するときには初期設定の「倍率ステップ」を参照してください。(P. 7-5 参照)
 - ・濃度ステップが 1%刻みに設定されている場合は小数点以下の数字は切り捨ててコピーされます。

変倍モードには次のような設定方法があります。

- 固定変倍
- コピー倍率を選択してコピーします。定形サイズ of 原稿を異なる定形サイズに拡大 / 縮小コピーする時に便利です。
- ユーザー設定変倍
- あらかじめ登録してある任意のコピー倍率を選択してコピーします。
- 独立変倍
- タテ、ヨコの縮尺比率を変えてコピーします。
- テンキー / ズームキー入力
- 任意のコピー倍率を入力してコピーします。

- 補足
- ・用紙のカット長は最短で 297mm です。縮小コピーとシンクロカットを設定した時、用紙長さが 297mm 未満になる場合には 297mm の長さでカットされ、用紙の後端に余白がつかます。

固定変倍

使用するコピー倍率を直接選択して拡大 / 縮小するコピーです。以下のコピー倍率が用意されています。

コピー倍率 (%)	原稿サイズ→用紙サイズ
35.2 (面積比 1/8 倍)	A1 → A4
50.0 (面積比 1/4 倍)	A1 → A3, A2 → A4, B2 → B4
70.6 (面積比 1/2 倍)	A1 → A2, A2 → A3, A3 → A4 B2 → B3, B3 → B4
141.4 (面積比 2 倍)	A2 → A1, A3 → A2, A4 → A3 B3 → B2, B4 → B3
200.0 (面積比 4 倍)	A3 → A1, A4 → A2, B4 → B2
282.9 (面積比 8 倍)	A4 → A1

(濃度ステップが 1%刻みに設定されている場合は小数点以下の数字は切り捨ててコピーされます。)

- 補足
- ・A 列、B 列は初期設定の「定形サイズ切替」により選択できます。(P. 7-5 参照)

1 変倍キーを押してください。

変倍: 35%~283%

→ 固定変倍 ▶
→ ユーザー設定変倍 ▶
→ 独立変倍 ▶

- 2 OK キーを押してください。
- 3 ▲▼ キーを押してコピー倍率を選択してください。

固定変倍:

▲ 70%
100%
▼ → 141%

【 A2 → A1
A3 → A2
A4 → A3 】

- 4 OK キーを押してください。
基本の画面にもどります。

コピーできます

141%

1枚
普通紙
594×シンクロ

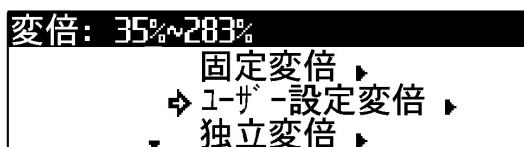
ユーザー設定変倍

あらかじめユーザー1からユーザー5に登録してある任意のコピー倍率を選択してコピーします。

補足

- ・ユーザー1からユーザー5にコピー倍率を登録するときには初期設定の「変倍登録」で、あらかじめ任意のコピー倍率を登録してください。(P. 7-5 参照)

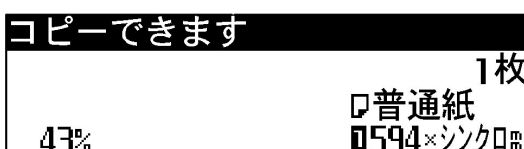
- 1 変倍キーを押してください。
- 2 ▲▼キーを押して、⇒を“ユーザー設定変倍”にあわせてください。



- 3 OKキーを押してください。
- 4 ▲▼キーを押して、⇒を選択したいコピー倍率にあわせてください。

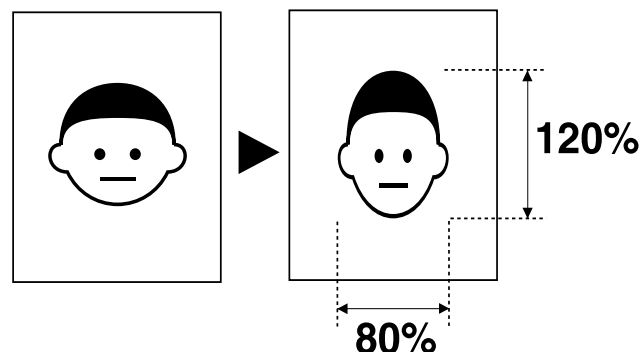


- 5 OKキーを押してください。
基本の画面にもどります。

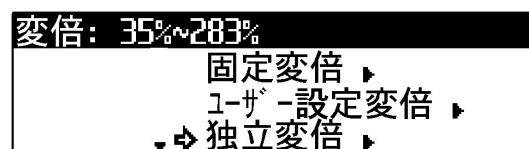


独立変倍

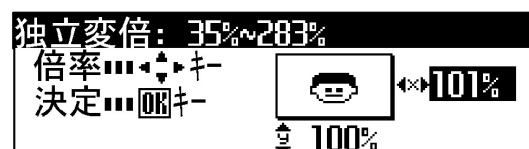
用紙幅方向と長さ方向のコピー倍率を別々に設定することができます。



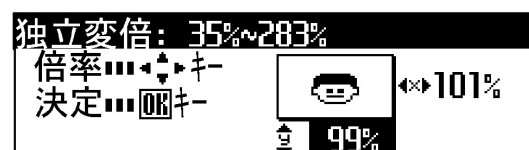
- 1 変倍キーを押してください。
- 2 ▲▼キーを押して、⇒を“独立変倍”にあわせてください。



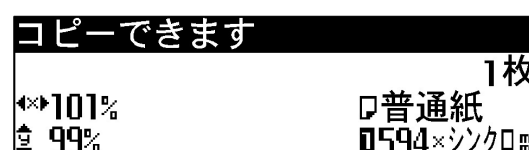
- 3 OKキーを押してください。
- 4 ◀▶キーまたはテンキーを押して、用紙幅方向のコピー倍率を入力してください。



- 5 ▲▼キーまたはテンキーを押して、長さ方向のコピー倍率を入力してください。



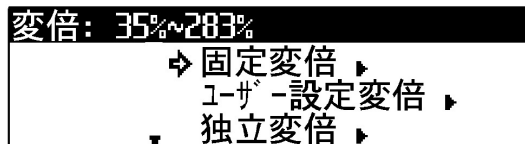
- 6 OKキーを押してください。
基本の画面にもどります。
◀▶▲▼キーを使って、コピー倍率を修正することもできます。



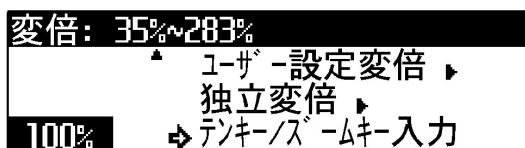
テンキー / ズームキー入力

◀▶ キーまたはテンキーをつかって、コピー倍率を入力できます。

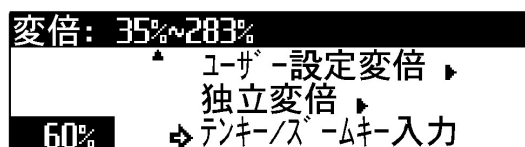
1 変倍キーを押してください。変倍モードになります。



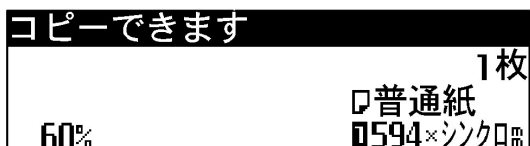
2 ▲▼ キーを押して、⇒ を“テンキー / ズームキー入力”にあわせてください。



3 ◀▶ キーまたはテンキーを使って、表示されているコピー倍率を変更してください。



4 OK キーを押してください。基本の画面にもどります。
◀▶ キーを使って、コピー倍率を修正することもできます。



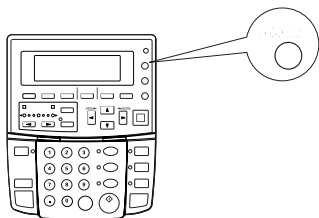
ショートカット

・変倍モード時に、◀▶ キーまたはテンキーを押すとすぐに“テンキー / ズームキー入力”を行えます。

- ① 変倍キーを押して、
- ② ◀▶ キーまたはテンキーを押して、コピー倍率を設定してください。

編集機能

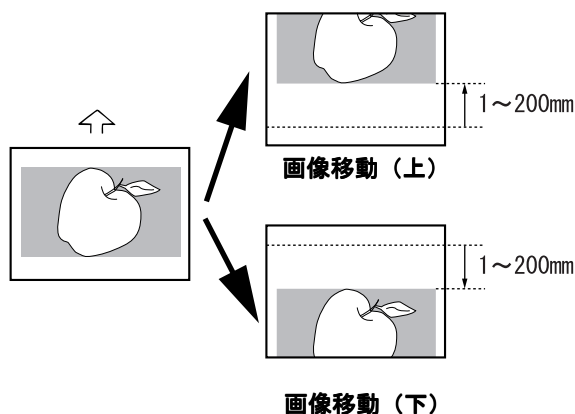
編集機能キーを押すと、次のような編集機能を設定できます。
複数の機能を組み合わせることもできます。



画像移動

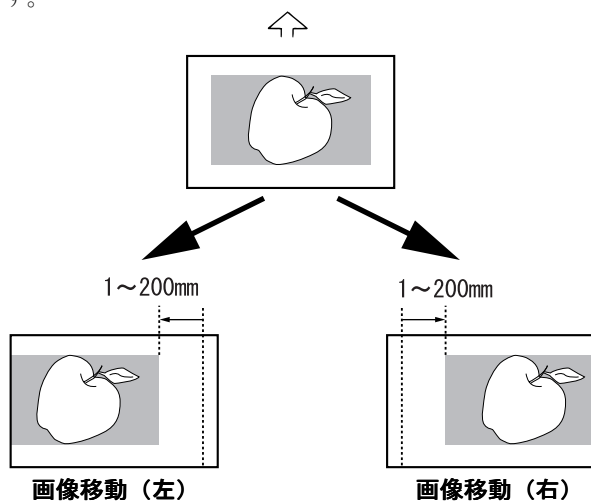
●上下移動 (P. 5-6 ~ P. 5-7 参照)

用紙に対してコピー画像を上下方向に移動させてコピーします。
等倍コピー時にシンクロカットを選択すると、原稿の用紙長さと用紙長さは同じになります。



●左右移動 (P. 5-7 ~ P. 5-8 参照)

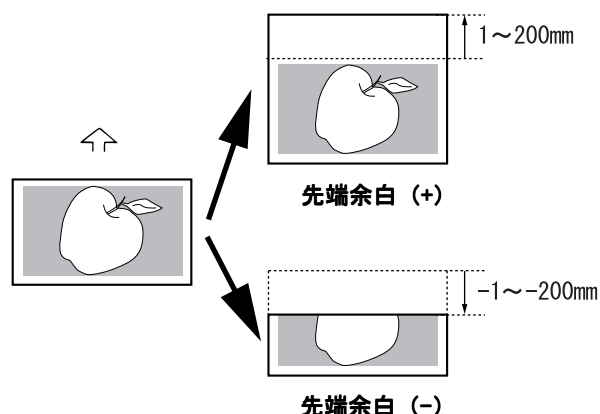
用紙に対してコピー画像を左右方向に移動させてコピーします。



余白

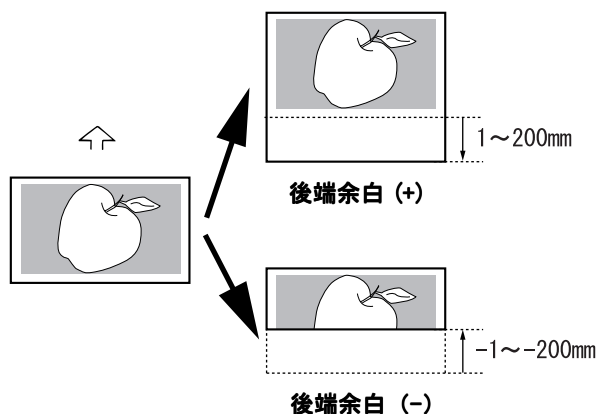
●先端余白 (P. 5-8 ~ P. 5-9 参照)

用紙の先端（原稿挿入方向）に余白をつけて、または余白をカットしてコピーします。
等倍コピー時にシンクロカットを選択し、先端余白をつけると、用紙長さは原稿の長さとの余白を足した長さになります。また先端余白をカットすると、用紙長さは原稿の長さから余白を引いた長さになります。ただし用紙の最短カット長は 297mm です。



●後端余白 (P. 5-8 ~ P. 5-9 参照)

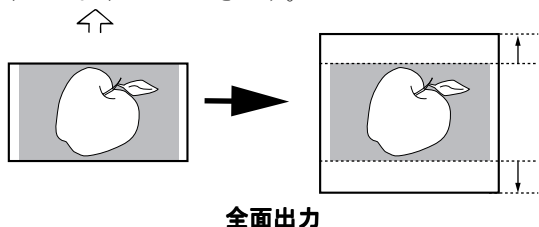
用紙の後端（原稿挿入反対方向）に余白をつけて、または余白をカットしてコピーします。
等倍コピー時にシンクロカットを選択し、後端余白をつけると、用紙長さは原稿の長さとの余白を足した長さになります。また後端余白をカットすると、用紙長さは原稿の長さから余白を引いた長さになります。ただし用紙の最短カット長は 297mm です。



余白（続き）

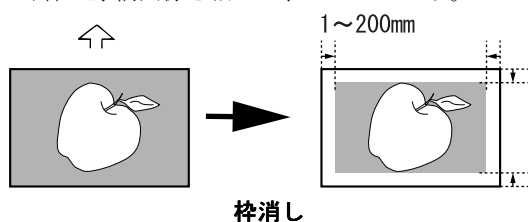
●全面出力（P. 5-9 参照）

原稿の先端から後端まで画像がある場合、コピー画像が欠けてしまうことがあります。全面出力を行うと、コピー原稿の先端と後端に余白をつけてコピーを行い、コピー画像を欠くことなくコピーできます。



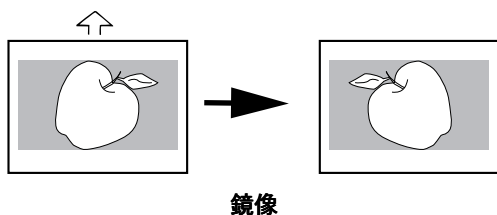
枠消し（P. 5-10 参照）

用紙の外枠の原稿画像を消して、コピーします。



鏡像（P. 5-10 参照）

原稿画像の左右を反転させて、コピーします。



画像移動 上下移動

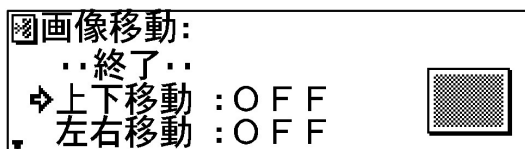
1 編集機能キーを押してください。

2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“画像移動”にあわせてください。



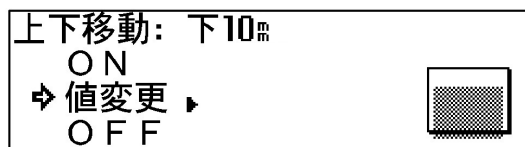
3 OK キーを押してください。

4 ▲▼ キーを押して ⇨ を“上下移動”にあわせてください。



5 OK キーを押してください。

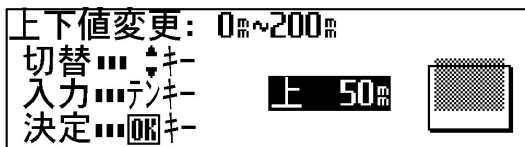
6 初期設定値が表示されます。▲▼ キーを押して ⇨ を、設定値を変更するときには“値変更”に、初期設定値で画像を移動させるときには“ON”に、上下移動を解除するときには“OFF”にあわせてください。



7 OK キーを押してください。

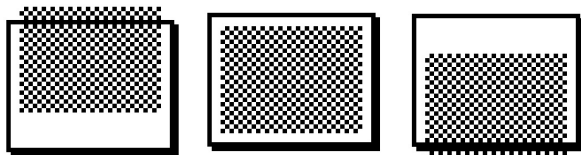
“値変更”を選択した場合には手順 8. に、“ON”または“OFF”を選択した場合は手順 10. に進んでください。

8 ▲▼ キーを押して移動方向（上、下）を切り替え、テンキーを使って移動する値を入力してください。



補足

- ・ 0mm から 200mm の範囲で入力してください。
0mm を入力すると OFF になります。
- ・ メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を
示す絵表示が移動方向にあわせて表示されます。



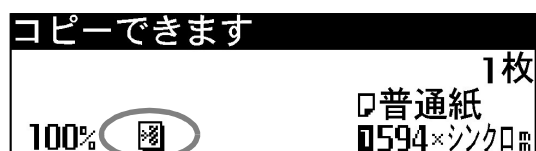
画像移動上

OFF

画像移動下

9 OK キーを押してください。

10 編集機能キーを押してください。
基本の画面にもどります。画面下に画像移動を示す表示記号が表示されます。



補足

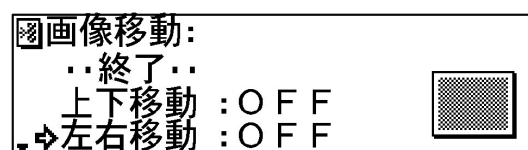
- ・ 画像移動をすべて解除するときには、
 - ① 編集機能キーを押してください。
 - ② ▲▼ キーを押して ⇨ を“画像移動”にあわせて、OK キーを押してください。
 - ③ ▲▼ キーを押して ⇨ を“機能解除”にあわせて、OK キーを押してください。
 画像移動を解除して、基本の画面にもどります。

画像移動 左右移動

- 1 編集機能キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“画像移動”にあわせてください。



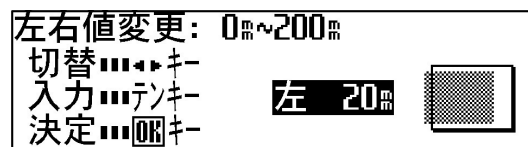
- 3 OK キーを押してください。
- 4 ▲▼ キーを押して ⇨ を“左右移動”にあわせてください。



- 5 OK キーを押してください。
- 6 初期設定値が表示されます。▲▼ キーを押して ⇨ を、設定値を変更するときには“値変更”に、初期設定値で画像を移動させるときには“ON”に、左右移動を解除するときには“OFF”にあわせてください。



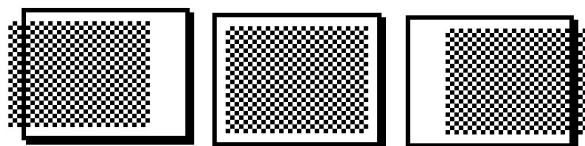
- 7 OK キーを押してください。
“値変更”を選択した場合には手順 8. に、“ON”または“OFF”を選択した場合は手順 10. に進んでください。
- 8 ◀▶ キーを押して移動方向（左、右）を切り替え、テンキーを使って移動する値を入力してください。



5 章 機能的なコピーをとる

補足

- ・ 0mm から 200mm の範囲で入力してください。
0mm を入力すると OFF になります。
- ・ メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を示す絵表示が移動方向にあわせて左右に表示されます。



画像移動左

OFF

画像移動右

9 OK キーを押してください。

10 編集機能キーを押してください。
基本の画面にもどります。画面下に画像移動を示す表示記号が表示されます。



補足

- ・ 画像移動をすべて解除するときには、
① 編集機能キーを押してください。
② ▲▼ キーを押して ⇨ を“画像移動”にあわせて、OK キーを押してください。
③ ▲▼ キーを押して ⇨ を“機能解除”にあわせて、OK キーを押してください。
画像移動を解除して、基本の画面にもどります。

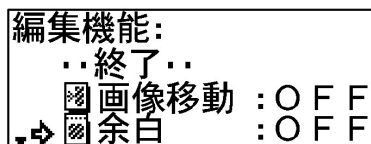
余白 先端・後端

補足

- ・ 手差し用紙には、“余白”を設定してコピーできません。

1 編集機能キーを押してください。

2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“余白”にあわせてください。



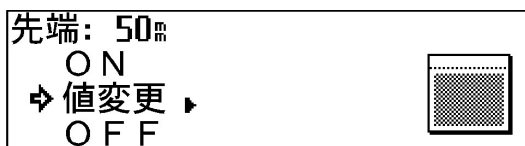
3 OK キーを押してください。

4 ▲▼ キーを押して ⇨ を“先端”または“後端”にあわせてください。



5 OK キーを押してください。

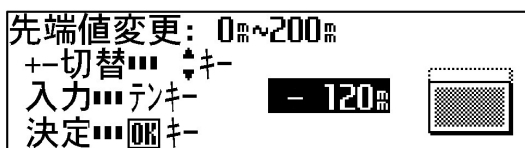
6 初期設定値が表示されます。▲▼ キーを押して ⇨ を、設定を変更するときには“値変更”に、初期設定値で余白を設定するときには“ON”に、余白を解除するときには“OFF”にあわせてください。



7 OK キーを押してください。

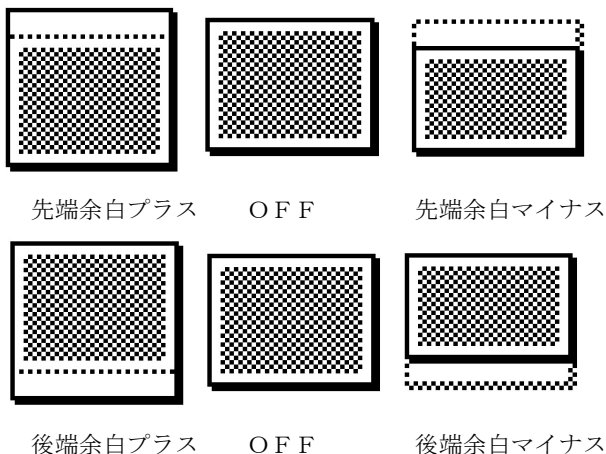
“値変更”を選択した場合には手順 8. に、“ON”または“OFF”を選択した場合は手順 10. に進んでください。

8 余白をカットするときには、▲▼ キーを押して－（マイナス）を表示させてください。
テンキーを使って余白の値を入力してください。



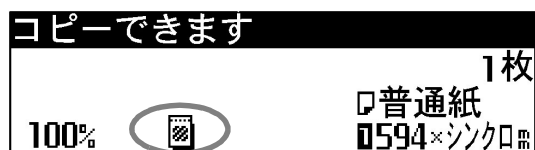
補足

- ・ -200mm から 200mm の範囲で入力してください。
0mm を入力すると OFF になります。
- ・ メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を
示す絵表示が余白方向にあわせて表示されます。



9 OK キーを押してください。

10 編集機能キーを押してください。
基本の画面にもどります。画面下に余白を示す表示記
号が表示されます。



補足

- ・ 余白をすべて解除するときには、
 - ① 編集機能キーを押してください。
 - ② ▲▼ キーを押して ⇨ を“余白”にあわせて、OK キーを押してください。
 - ③ ▲▼ キーを押して ⇨ を“機能解除”にあわせて、OK キーを押してください。
 画像移動を解除して、基本の画面にもどります。

余白 全面出力

補足

- ・ 手差し用紙には、“余白”を設定してコピーできません。

1 編集機能キーを押してください。

2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“余白”にあわせてください。

編集機能:
..終了..
[移動] 画像移動 : OFF
[余白] 余白 : OFF

3 OK キーを押してください。

4 ▲▼ キーを押して ⇨ を“全面出力”にあわせてください。

[余白]:
▲ 先端 : OFF
後端 : OFF
⇨ 全面出力 : OFF

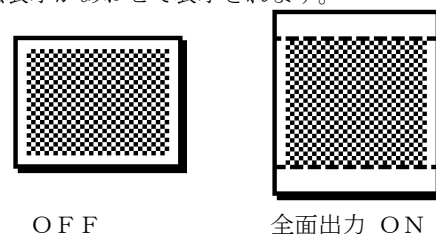
5 OK キーを押してください。

6 ▲▼ キーを押して ⇨ を“ON”にあわせてください。
“OFF”にあわせると、全面出力を解除します。

全面出力:
⇨ ON
OFF

補足

- ・ 先端余白または後端余白を設定していた場合には、キャンセルされます。
- ・ メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を
示す絵表示があわせて表示されます。



7 OK キーを押してください。

8 編集機能キーを押してください。
基本の画面にもどります。

5 章 機能的なコピーをとる

枠消し

補足

- ・手差し用紙には、枠消しを設定してコピーできません。

- 1 編集機能キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“枠消し”にあわせてください。



- 3 OK キーを押してください。
- 4 初期設定値が表示されます。▲▼ キーを押して ⇨ を、枠消し幅を変更するときには“値変更”に、初期設定値で枠消しを設定するときには“ON”に、枠消しを解除するときには“OFF”にあわせてください。

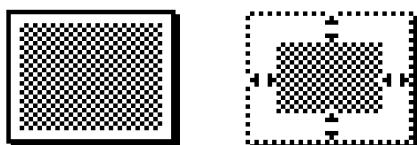


- 5 OK キーを押してください。“値変更”を選択した場合には手順 6. に、“ON”または“OFF”を選択した場合は手順 8. に進んでください。
- 6 テンキーを使って枠消し幅を入力してください。



補足

- ・0mm から 200mm の範囲で入力してください。0mm を入力すると OFF になります。
- ・メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を示す絵表示があわせて表示されます。



OFF 枠消し ON

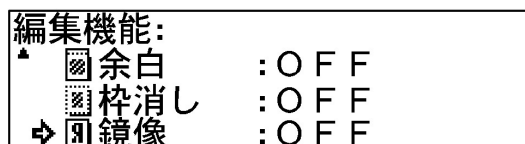
- 7 OK キーを押してください。基本の画面にもどります。

鏡像

補足

- ・再コピー時などにメモリ内の画像データを出力するときには鏡像の設定を変更することはできません。鏡像の設定を変更するときには、原稿の読み込みを再度行ってください。

- 1 編集機能キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“鏡像”にあわせてください。

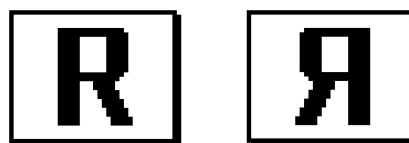


- 3 OK キーを押してください。
- 4 ▲▼ キーを押して ⇨ を“ON”にあわせてください。“OFF”にあわせると、鏡像を解除します。



補足

- ・メッセージ表示右側に表示される用紙とコピー画像の関係を示す絵表示があわせて左右反転されて表示されます。



OFF 鏡像 ON

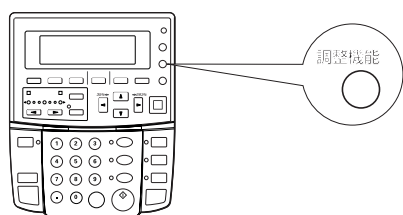
- 5 OK キーを押してください。基本の画面に戻ります。画面下に鏡像を示す表示記号が表示されます。



6章 便利な機能

調整機能

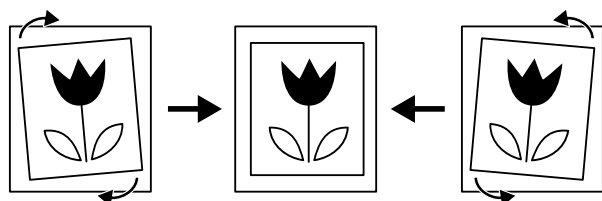
本機には、次のような調整機能があります。
コピーの仕上がりを一時的に調整したい場合に設定を行ってください。リセットキーを押した場合や、オートクリア機能が働いた場合に、初期状態に戻ると、調整機能の設定は解除されます。



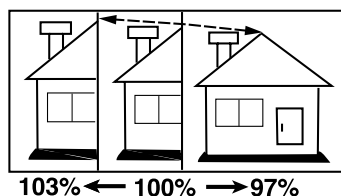
補足

- ・等倍度、定着温度の変更を保持するときには、初期設定の「等倍度調整」、「定着温度調整」を変更してください。(P. 7-4 参照)

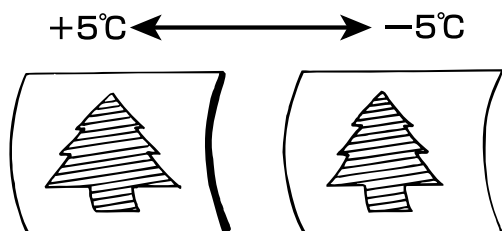
傾き補正 原稿の画像が傾いているときに設定してください。



等倍度微調整 コピーされた画像が原稿画像と大きさが異なる場合に設定してください。



定着温度微調整 定着温度を微妙に調整したい場合に設定してください。用紙が厚いときには定着温度を高め、用紙が薄いときには定着温度を低めに設定してください。



傾き補正

- 1 調整機能キーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して ⇨ を“傾き補正”にあわせてください。

調整機能:
..終了..
⇨ 傾き補正 : OFF
▼ 等倍度微調 : OFF

- 3 OK キーを押してください。
- 4 ◀▶ キーを押して補正角度を設定してください。

傾き補正: 左1.5° ~ 右1.5°
補正...◀▶キー
決定...OKキー
右 0.2°

補足

- ・左右に 0.0° から 1.0° までは 0.1° 刻みで、1.0° 以上は 1.2° と 1.5° に設定できます。

- 5 OK キーを押してください。
- 6 調整機能キーを押してください。
基本の画面にもどります。画面下に傾き補正を示す表示記号が表示されます。

コピーできます
1枚
普通紙
0594×シンクロ
100%

等倍度微調整

- 調整機能キーを押してください。
- ▲▼ キーを押して ⇨ を“等倍度微調”にあわせてください。

調整機能:
 ..終了..
 傾き補正 : OFF
 ⇨ 等倍度微調 : OFF

- OK キーを押してください。
- 用紙幅方向の等倍度を調整するには、◀▶ キーを押して設定してください。

等倍度微調: -3.0%~+3.0%
 調整...◀▶キー
 決定...OKキー
 0.0% → + 0.1%

用紙長さ方向の等倍度を調整するには、▲▼ キーを押して設定してください。

等倍度微調: -3.0%~+3.0%
 調整...▲▼キー
 決定...OKキー
 0.0% → + 0.1%

補足

・ -3.0%から 3.0%の間で 0.1%刻みで設定できます。

- OK キーを押してください。
- 調整機能キーを押してください。
 基本の画面にもどります。画面下に等倍度微調整を示す表示記号が表示されます。

コピーできます 1枚
 100% □普通紙
 1594×シク

定着温度微調整

- 調整機能キーを押してください。
- ▲▼ キーを押して ⇨ を“定着温度微調”にあわせてください。

調整機能:
 ▲ 傾き補正 : OFF
 等倍度微調 : OFF
 ⇨ 定着温度微調 : OFF

- OK キーを押してください。
- ▲▼ キーを押して定着温度を調整してください。

定着温度微調: -5℃~+5℃
 調整...▲▼キー
 決定...OKキー
 + 2℃

補足

・ -5℃から 5℃の間で 1℃刻みで設定できます。

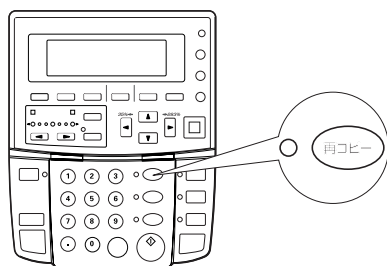
- OK キーを押してください。
- 調整機能キーを押してください。
 基本の画面にもどります。画面下に定着温度微調整を示す表示記号が表示されます。

コピーできます 1枚
 100% □普通紙
 1594×シク

再コピー機能

本機はメモリに画像を読み込み、コピーを行います。
再コピー機能は、メモリ内の画像を使ってコピーを行う機能です。コピー濃度や倍率などの設定を変更してコピーすることもできます。

読み込んだ画像データは次の原稿画像を読み込むまで、またはオートクリアが機能するまで本機のメモリに保存されますが、メモリ内の画像データを消去することもできます。



補足

- 再コピー機能は初期設定の「再コピー設定」を変更することにより、許可しないまたは制限することができます。(P. 7-7 参照)

再コピーのしかた

- 1 コピー終了後、“再コピー…再コピーキー”とメッセージに表示されます。

コピーできます
再コピー…再コピーキー 1枚
□普通紙
100% 0594×シンクロ

- 2 再コピーキーを押してください。再コピー表示が点灯し“再コピーできます”とメッセージに表示されます。

再コピーできます
出力開始…スタートキー 1枚
□普通紙
100% 0594×シンクロ

- 3 再コピーコード入力画面が表示された場合には、テンキーを使って再コピーコードを入力してください。
(初期設定は 4830 です)

再コピーコードを入力して下さい
□ □ □ □

- 4 必要に応じてコピー方法を設定してください。

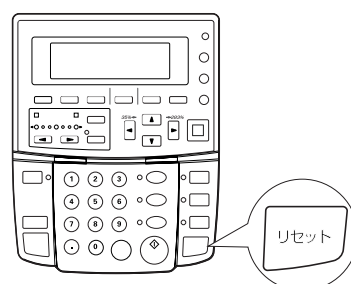
補足

- 鏡像設定は変更できません。
- ソートコピーの再コピーでは部数のみ変更できます。

- 5 スタートキーを押してください。
出力を開始します。

再コピー設定中にリセットキーを押すと

再コピー設定中にリセットキーを押すとメモリ内の画像データが消去されます。



誤って画像データを消去しないように、画像消去の確認画面を表示させることができます。初期設定の「リセットキー画像消去」を“再コピー時確認”に設定してください。

(P. 7-7 参照)

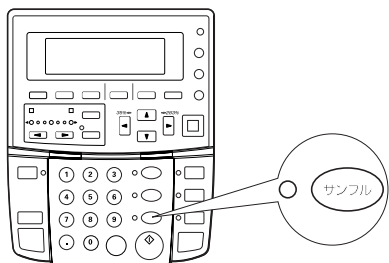
初期設定の「リセットキー画像消去」を“再コピー時確認”にしている場合、再コピー設定中にリセットキーを押すと下のような確認画面が表示されます。

リセット：
➡再コピー中止（画像消去）
再コピー継続

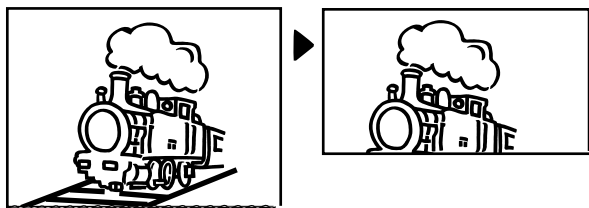
- ① ▲▼ キーを押して、選択してください。
“再コピー中止（画像消去）”を選択すると、画像データを消去して初期状態にもどります。
“再コピー継続”を選択すると、コピーの設定をクリアします。画像データは消去されません。
- ② OK キーを押してください。

サンプルコピー

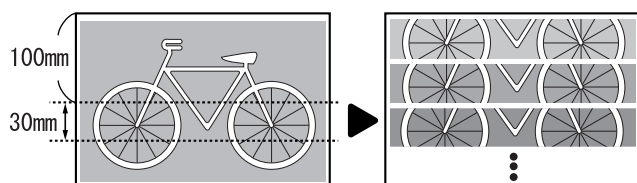
長い原稿をコピーする時にまず最小長さ（297mm）のコピーを行い、コピー機能やコピー濃度を確認することで、用紙のむだを少なくできます。本機には、次のようなサンプルコピー機能があります。



機能サンプル 編集機能や変倍モードを設定したときや、用紙種を変更したときなどに機能サンプルを出力してください。現在の設定のままコピーした場合のサンプルを先端から297mmの長さで用紙がカットされ出力されます。サンプルを見て各種設定を確認、調整してください。



濃度サンプル コピー濃度を7段階に分けてサンプルが出力されます。原稿の先端から約100mmの部分（30mm）をサンプルとして出力します。サンプルを見て、コピー濃度の設定を確認、調整してください。



機能サンプルと濃度サンプルは初期設定の「サンプルコピー設定」で変更できます。（P. 7-8 参照）

サンプルコピーのしかた

- 1 必要に応じて使用するコピー機能、コピー濃度などのコピー方法を設定してください。
- 2 サンプルキーを押してください。サンプル表示が点灯します。

コピーできます(サンプル)

100% 普通紙 0594×297mm

- 3 原稿をセットしてください。サンプルが出力されます。
- 4 コピーの仕上がりを見て、コピー方法を調整してください。

補足

- ・鏡像設定を変更する場合は再度手順1から行ってください。

- 5 再コピーキーを押してください。再度サンプルを出力する時には、スタートキーを押してください。原稿全体のコピーを開始する時には次の手順に進んでください。

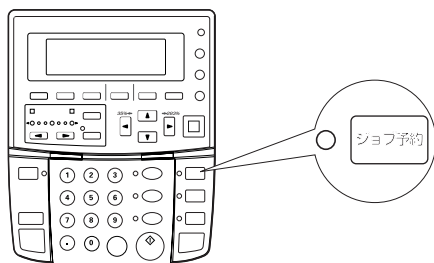
補足

- ・初期設定の「再コピー設定」を“不許可”に設定している場合には、原稿をセットしなおしてコピーを出力してください。（P. 7-7 参照）
- また初期設定の「再コピー設定」を“コード入力”に設定している場合には、テンキーを使って再コピーコードを入力してください。（P. 6-3, P. 7-7 参照）

- 6 サンプルキーを押してください。サンプル表示が消灯します。
- 7 コピー枚数を確認して、スタートキーを押してください。出力を開始します。

ジョブ予約機能

ジョブ予約キーを押すと、次のコピージョブを予約することができます。予約されたコピージョブは現在のコピーの出力が終わると自動的に出力を開始します。

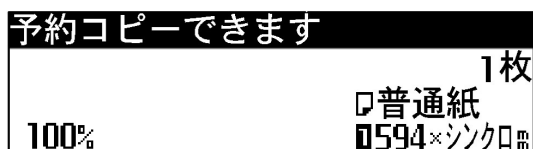


補足

- ・原稿の読み込み中および原稿押さえ内に原稿が残っている場合や、割り込みコピー、サンプルコピーの出力を行っている場合には、ジョブ予約の設定は行えません。
- ・初期設定の「最大ジョブ予約数」により予約できるジョブ数に制限があります。(P. 7-7 参照) ただし、メモリーオーバーフローにより最大ジョブ予約数までジョブ予約できない場合があります。

ジョブの予約

- 1 ジョブ予約キーを押してください。
“予約コピーできます”とメッセージに表示され、ジョブ予約表示が点灯します。



重要

- ・コピー動作中の状態によって、ジョブ予約ができない場合があります。この場合は、約5秒待ってから再度ジョブ予約キーを押してください。

- 2 必要に応じてコピー方法を設定し、ジョブ予約を行う原稿をセットしてください。
原稿の読み込みを開始します。

- 3 ジョブ予約が完了すると、ジョブ番号が表示されます。
ジョブ予約キーを押してください。ジョブ予約表示が消灯し、基本の画面にもどります。
予約されたコピージョブは現在のコピーの出力が終わると自動的に出力を開始します。

予約しました
[ジョブ 25]

ジョブ予約の削除

ジョブ予約をキャンセルするときには、以下の手順に従って行ってください。

- 1 ジョブ予約キーを押し続けてください（4秒以上）。
次のような画面が表示されます。

予約削除:
→ ..終了..
ジョブ 25 : 0 A1 4枚
ジョブ 26 : 原稿 2枚 ソート 2部

補足

- ・ジョブ予約の状態からはジョブの削除画面に入れません。
ジョブ予約キーを押して、ジョブ予約表示を消灯させてから行ってください。

- 2 ▲▼ キーを押して削除したいジョブ番号に → をあわせてください。

予約削除:
..終了..
→ ジョブ 25 : 0 A1 4枚
ジョブ 26 : 原稿 2枚 ソート 2部

- 3 OK キーを押してください。

- 4 ジョブ予約削除の確認画面が表示されます。▲▼ キーを押して、→ を“はい”にあわせてください。

ジョブ 25 を削除する:
→ はい
いいえ

- 5 OK キーを押してください。
ジョブ予約が削除されます。

削除しました
[ジョブ 25]

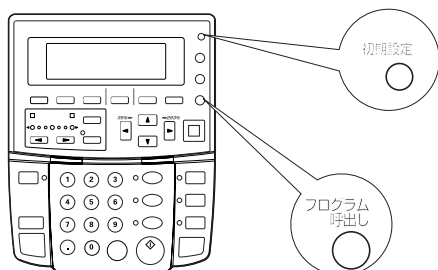
- 6 ジョブ予約キーを2回押してください。ジョブ予約表示が消灯し、基本の画面にもどります。

補足

- ・ジョブ予約を削除しても、ジョブを追加できない場合があります。その場合には現在のジョブの出力が終了してからジョブ予約をやりなおしてください。

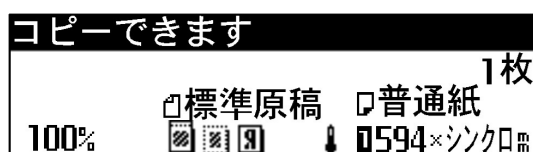
プログラム機能

よく使う設定を登録して、コピー方法の設定を効率的に行えます。10 種類のプログラムを登録できます。



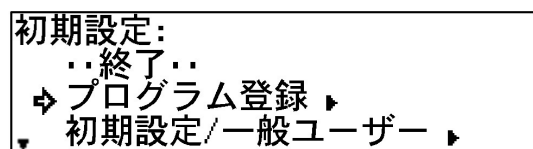
プログラムの登録

- 1 登録したいコピー方法を設定してください。



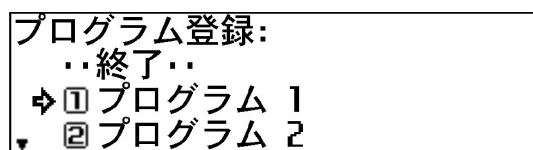
- 2 初期設定キーを押してください。

- 3 ▲▼ キーを押して、⇒ を“プログラム登録”にあわせてください。



- 4 OK キーを押してください。

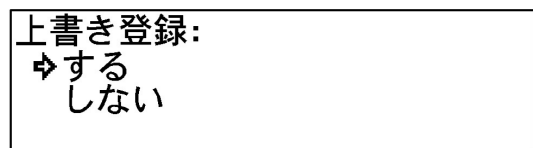
- 5 ▲▼ キーを押して、⇒ を登録したいプログラム番号“プログラム 1”～“プログラム 10”にあわせてください。



- 6 OK キーを押してください。
あらかじめ登録されているコピー方法が表示されます。
◀▶ キーを押すと、コピー方法の設定を確認できます。

- 7 OK キーを押してください。

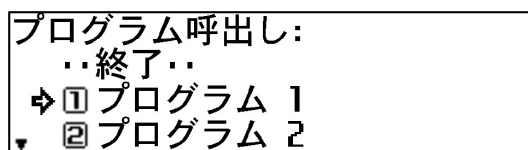
- 8 上書き登録の確認画面が表示されます。▲▼ キーを押して、⇒ を“する”にあわせてください。



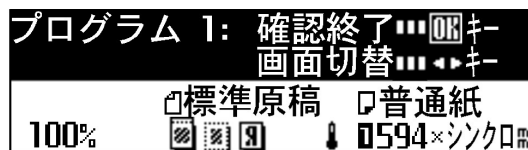
- 9 OK キーを押してください。
基本の画面にもどります。

プログラムを使ったコピー

- 1 プログラム呼び出しキーを押してください。
- 2 ▲▼ キーを押して、⇒ を選択したいプログラム番号“プログラム 1”～“プログラム 10”にあわせてください。

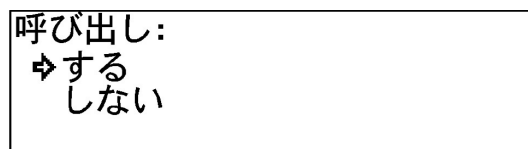


- 3 OK キーを押してください。
登録されているコピー方法が表示されます。
◀▶ キーを押して画面を切り替えて、コピー方法を確認してください。



- 4 OK キーを押してください。

- 5 プログラム呼び出しの確認画面が表示されます。
▲▼ キーを押して、⇒ を“する”にあわせてください。



- 6 OK キーを押してください。
プログラムが呼び出され、基本の画面にもどります。
コピー方法を変更することもできます。



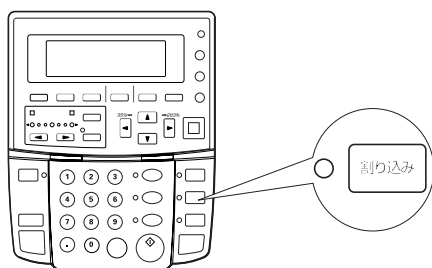
ショートカット

- ・ プログラムに登録されているコピー方法を確認しない場合、
① プログラム呼び出しキーを押して、
② テンキーを使ってプログラム番号を押してください。
(プログラム 10 の場合には 0 を押してください。)
プログラムが呼び出されます。

割り込みコピー

コピー中に**割り込みキー**を押すと、現在のコピーを中断して別のコピー方法で割り込みコピーを行えます。割り込みコピーの終了後に**割り込みキー**を押すと、中断されたコピーをもとのコピー方法で再開できます。

割り込みコピーは原稿の読み込み中以外のタイミングで行うことができます。



補足

- ・ソートコピーで原稿を連続して読み込ませている場合には、割り込みコピーはできません。

- 1 出力中に**割り込みキー**を押してください。
割り込み表示が点灯します。出力中の用紙が排出されてからコピーを中断します。



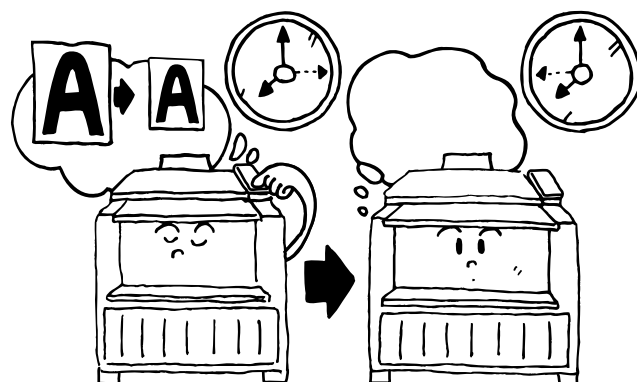
- 2 必要に応じてコピー方法を設定し、割り込みを行う原稿を原稿テーブルにセットしてください。
割り込みコピーを開始します。
- 3 割り込みコピーが終了したら、**割り込みキー**を押してください。割り込み表示が消灯し、割り込み前のコピー方法の設定にもどります。
- 4 原稿をセットしなおしてください。
出力中に割り込みコピーを行った場合には**スタートキー**を押してください。
コピーを再開します。

オートクリア機能

コピー終了後1分経過すると、本機は自動的に初期状態に戻ります。(ただしコピー濃度設定は戻りません。) オートクリア機能がはたらく前なら、同じコピーモードやコピー枚数でコピーを繰り返すことや、あるいは再コピー機能を使ってコピーを行えます。

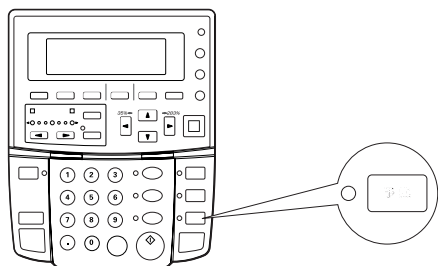
オートクリアがはたらくまでの時間(オートクリアタイム)を30秒、1分、3分、5分の中から初期設定の「タイマー設定」で変更できます。(P. 7-4 参照)

オートクリア機能を解除するときは、初期設定の「オートクリア」を“OFF”に設定してください。(P. 7-3 参照)



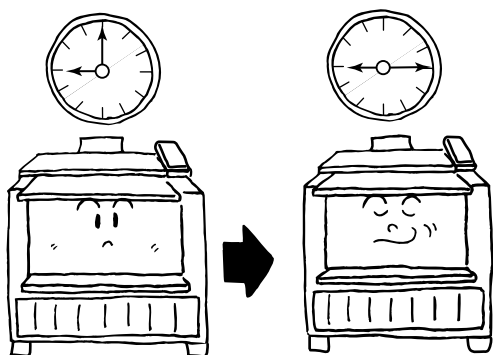
予熱機能

本機をしばらく使用しない場合、**予熱キー**を押してください。予熱表示だけが点灯し、機械は休止状態になります。



予熱機能を使うとメインスイッチを OFF (○) にしたときよりもウォームアップ時間が短縮できます。また本機は一定時間コピー操作を行わないと、オート予熱タイムにより自動的に休止状態になります。オート予熱タイムは工場出荷時には 15 分に設定されています。オート予熱タイムは初期設定の「タイマー設定」で 5 分から 45 分の範囲で 5 分間隔で設定できます。(P. 7-4 参照)

コピーを再開するときは、もう一度**予熱キー**を押してください。



オートシャットオフ機能

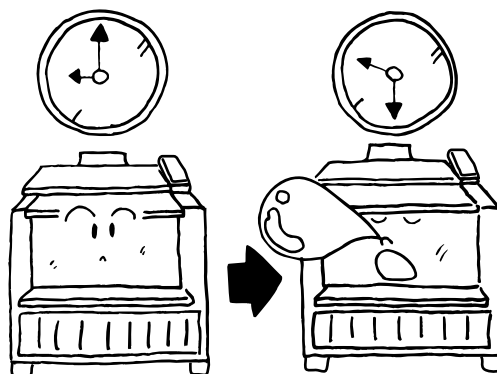
オートシャットオフ機能は、一定時間コピー操作がないと、自動的に電源を OFF (○) にする節電機能です。

複写機は、一般にコピー作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費する電力が全体の大きな割合を占めています。複写機本体が自動的に電源を OFF (○) にすることにより、待機中や夜間の電源の消し忘れなどの不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を行うことができます。

オートシャットオフから復帰するときには、メインスイッチを ON (|) にしてください。

本機にプリンタ/スキャナ コントローラ (オプション) を装着したときには、通常の“シャットオフモード”に加えて、“スリープモード”が追加されます。“スリープモード”に設定すると定着部のヒーターなどほとんどの電力消費をカットします。プリンタ/スキャナ コントローラからの出力や**予熱キー**によって復帰することができます。

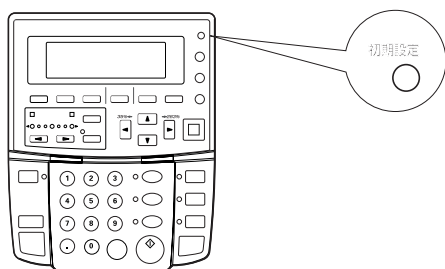
オートシャットオフ機能が働くまでの時間 (オートシャットオフタイム) は工場出荷時には 30 分に設定されています。オートシャットオフタイムは初期設定の「タイマー設定」で 15 ~ 240 分の範囲で 15 分間隔で変更できます。(P. 7-4 参照) オートシャットオフ機能を解除するときは初期設定の「オートシャットオフ」を参照してください。(P. 7-4 参照)



7章 管理と設定（初期設定）

初期設定の変更のしかた

本機のメインスイッチを ON (|) にした時や、リセットキーを押した時に選択される値（初期値）を変更することができます。必要に応じて各設定を変更してください。初期設定の項目は内容により本機の動作を設定する“マシン設定”と優先して選択されるコピー方法などを設定する“コピー設定”に分類されています。また設定者の権限により、設定できる項目に制限がある「一般ユーザー」とすべての項目を設定できる「管理者」に分かれています。「管理者」の権限で初期設定を変更する場合には暗証番号の入力が必要になります。各設定内容と手順については「初期設定一覧」を参照してください。（P. 7-3 ～ P. 7-8 参照）



「一般ユーザー」による初期設定の変更のしかた

ここでは例として「一般ユーザー」の権限で、“マシン設定”にある④「ロールエンド設定」の普通紙の設定を“固定なし”から“固定あり”に変更します。

- 1 初期設定キーを押してください。
- 2 ▼▲ キーを押して、⇒ を“初期設定 / 一般ユーザー”にあわせてください。

初期設定：
..終了..
プログラム登録 ▶
⇒ 初期設定 / 一般ユーザー ▶

- 3 OK キーを押してください。
- 4 ▼▲ キーを押して変更したい項目に ⇒ をあわせてください。ここでは、“マシン設定”を変更します。

初期設定 / 一般ユーザー：
..終了..
⇒ マシン設定 ▶
コピー設定 ▶

- 5 OK キーを押してください。
- 6 ▼▲ キーを押して変更したい項目に ⇒ をあわせてください。ここでは、「ロールエンド設定」を変更します。

マシン設定：
▲ 給紙段用紙種連動 : OFF
用紙種設定 ▶
⇒ ロールエンド設定 ▶

- 7 OK キーを押してください。
- 8 ▼▲ キーを押して変更したい用紙種に ⇒ をあわせてください。ここでは、普通紙の設定を変更します。

ロールエンド設定：
..マシン設定へ戻る..
⇒ 普通紙 : 固定なし
▼ 第2原図 : 固定なし

- 9 OK キーを押してください。
- 10 ▼▲ キーを押して設定したい項目に ⇒ をあわせてください。
➢ は現在の設定を表します。

普通紙：
⇒ 固定あり
➢ 固定なし

- 11 OK キーを押してください。設定が変更されました。

ロールエンド設定：
..マシン設定へ戻る..
⇒ 普通紙 : 固定あり
▼ 第2原図 : 固定なし

- 12 設定を終了する時には初期設定キーを押してください。
設定項目により手順 8. から手順 11. は異なります。
「初期設定一覧」の操作手順を参照してください。
（P. 7-3 ～ P. 7-8 参照）

7章 管理と設定（初期設定）

「管理者」による初期設定の変更のしかた

ここでは例として「管理者」の権限で、“コピー設定”にある⑪「コピー開始方法」を“オートスタート”から“スタートキー”に変更します。

1 初期設定キーを押してください。

2 ▼▲ キーを押して、⇒ を“初期設定 / 管理者”にあわせてください。

初期設定:
▲ プログラム登録 ▶
初期設定 / 一般ユーザー ▶
⇒ 初期設定 / 管理者 ▶

3 OK キーを押してください。

4 テンキーを使って暗証コードを入力してください。
(初期設定は 4830 です)

暗証コードを入力して下さい

□ □ □ □

5 ▼▲ キーを押して変更したい項目に ⇒ をあわせてください。ここでは“コピー設定”を変更します。

初期設定 / 管理者:
..終了..
マシン設定 ▶
⇒ コピー設定 ▶

6 OK キーを押してください。

7 ▼▲ キーを押して変更したい項目に ⇒ をあわせてください。ここでは「コピー開始方法」を変更します。

コピー設定:
▲ 自動選択設定 : 手動
自動倍率モード : 等倍優先
⇒ コピー開始方法 : オートスタート

8 OK キーを押してください。

9 ▼▲ キーを押して設定したい項目に ⇒ をあわせてください。
> は現在の設定を表します。

コピー開始方法:
> オートスタート
⇒ スタートキー

10 OK キーを押してください。設定が変更されました。

コピー設定:
▲ 自動選択設定 : 手動
自動倍率モード : 等倍優先
⇒ コピー開始方法 : スタートキー

11 設定を終了する時には初期設定キーを押してください。
設定項目により手順 9. から手順 10. は異なります。
「初期設定一覧」の操作手順を参照してください。
(P. 7-3 ~ P. 7-8 参照)

初期設定一覧

●マシン設定

一般ユーザー / 管理者共通

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
① 用紙幅設定 この設定を“幅入力”にすると、定形幅以外の用紙幅を設定できます。各給紙段ごとに用紙幅をテンキーを使って入力してください。 定形幅サイズ値以外を入力した場合、自動用紙選択機能は使用できません。（P. 3-4 参照）	給紙段ごとに 自動検知 / 幅入力 (210mm ～ 610mm)	自動検知	① ▲▼ キーを押して給紙段を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、“幅入力”を選択したときはテンキーを使って用紙幅を入力し、OK キーを押してください。
② 給紙段用紙種連動 この設定を“ON”にすると、各給紙段に用紙種の登録が可能になります。登録した用紙種にあわせて、定着温度、等倍度、ロールエンドの固定あり / なしが設定されます。	ON/OFF	OFF	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
③ 用紙種設定 ②「給紙段用紙種連動」を“ON”にした時、手差しを含む各給紙段の用紙種を登録できます。 “カスタム”を選択した場合には、⑫「カスタム紙種設定」にあわせて、定着温度、等倍度などが設定されます。	給紙段ごとに 普通紙 / 第2原図 / フィルム / カスタム	普通紙	① ▲▼ キーを押して給紙段を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。 あらかじめ②「給紙段用紙種連動」を“ON”にしてください。
④ ロールエンド設定 用紙種ごとに用紙の末端がロールの芯に固定されているかどうか設定できます。“固定あり”を選択すると、用紙切れ時に自動的に用紙カットを行います。	用紙種ごとに 固定あり / 固定なし	固定なし (フィルム： 固定あり)	① ▲▼ キーを押して用紙種を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑤ 液晶コントラスト 操作部の液晶表示を調整します。	1 ～ 7	4	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑥ 原稿排出方向 “手前”に設定すると、手前に原稿が戻ります。 “奥”に設定すると、原稿はそのまま機械奥側に排出されます。	手前 / 奥	奥	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。

管理者

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
⑦ オートクリア この設定を“ON”にすると、一定時間操作が行われない場合にコピー方法などの設定が初期状態にもどります。（ただしコピー濃度設定は元に戻りません。）	ON/OFF	ON	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。

7章 管理と設定（初期設定）

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
⑧ オートシャットオフ この設定を“シャットオフ”にすると、一定時間コピー操作が行われない場合にメインスイッチが自動的にOFFになります。プリンタ / スキャナ コントローラ（オプション）装着時に、この設定を“スリープ”にすると、ほとんどの電力消費をカットします。	シャットオフ / スリープ （プリンタ / スキャナ コントローラ装着時のみ） /OFF	シャットオフ	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
補足 ・コピー操作においてオートシャットオフ機能が使用上の不便さを与える場合に、オートシャットオフをOFF（機能しない設定）にするようにしてください。オートシャットオフをOFF（機能しない設定）にする前に、まずオートシャットオフ時間が働くまでの時間を長めに設定することをお勧めいたします。			
⑨ タイマー設定 オートクリア、オート予熱、オートシャットオフの各機能が有効になるまでの時間を設定できます。 複写機を頻繁に使用される場合は、オートシャットオフが働くまでの時間を長めに、使用しない時間が多い場合は短めに設定することをお勧めいたします。	・オートクリアタイム 30 秒, 1 分, 3 分, 5 分 ・オート予熱タイム 5 分～ 45 分の範囲で 5 分間隔 ・オートシャットオフタイム 15 分～ 240 分の範囲で 15 分間隔	1 分 15 分 30 分	① ▲▼ キーを押して設定項目を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。 あらかじめ⑦「オートクリア」を“ON”に、⑧「オートシャットオフ」を“シャットオフ”または“スリープ”に設定してください。またオート予熱タイムはオートシャットオフタイムより短く設定してください。
⑩ 等倍度調整 各用紙種ごとに等倍度を調整できます。	用紙種ごとに X（用紙幅方向）： - 3.0%～+ 3.0% Y（用紙長さ方向）： - 3.0%～+ 3.0%	X: ± 0.0% Y: ± 0.0%	① ▲▼ キーを押して用紙種を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼◀▶ キーを押して設定値を変更し、OK キーを押してください。
⑪ 定着温度調整 各用紙種ごとに定着温度を変更できます。厚い用紙を使用する際には定着温度を高め、薄い用紙を使用する際には低めに設定してください。カスタムは⑫「カスタム紙種設定」の用紙種に応じた定着温度が選択できます。	・普通紙 150℃, 160℃, 170℃ ・第2原図 165℃, 175℃, 185℃ ・フィルム 150℃, 160℃, 170℃ ・カスタム：——	160℃ 185℃ 150℃	① ▲▼ キーを押して用紙種を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑫ カスタム紙種設定 カスタム紙の用紙種と定着温度、等倍度を設定できます。等倍度調整、定着温度調整のカスタムの設定と連動します。	普通紙： 150℃, 160℃, 170℃ 第2原図： 165℃, 175℃, 185℃ フィルム： 150℃, 160℃, 170℃ 等倍度：X（用紙幅方向） - 3.0%～+ 3.0% Y（用紙長さ方向） - 3.0%～+ 3.0%	普通紙 160℃ X: ± 0.0% Y: ± 0.0%	① ▲▼ キーを押してカスタム紙の用紙種を選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して定着温度を選択し、OK キーを押してください。 ③ ▲▼◀▶ キーを押して等倍度を調整し、OK キーを押してください。

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
⑬ 定形サイズ切替 使用する原稿や用紙のサイズが“A列”か“B列”かを選択してください。これにより定寸カットの長さ、本機が自動検知する用紙幅と原稿幅が変わります。	A列/B列	A列	① ▲▼キーを押して設定値を選択し、OKキーを押してください。
⑭ オートロールチェンジ 給紙段1、給紙段2（オプション）に同じサイズの下紙をセットしている場合、使用中の下紙がなくなった時に給紙段を切り替えてコピーを続けます。ただし、②「給紙段用紙種連動」を“ON”にした場合、同じサイズの下紙であっても用紙種が異なればオートロールチェンジは機能しません。	ON/OFF	OFF	① ▲▼キーを押して設定値を選択し、OKキーを押してください。 オプションのロールユニット装着時のみ選択できます。
⑮ 暗証コード変更 「管理者」のための暗証コードを変更します。	0000～9999	4830	① テンキーを使って新しい暗証コード（4桁）を入力し、OKキーを押してください。

●コピー設定 一般ユーザー / 管理者

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
① 倍率ステップ コピー倍率の表示を“1%”刻みにするか“0.1%”刻みにするか設定できます。“1%”刻みに設定すると、少数点以下のコピー倍率を切り捨てて表示、コピーします。	1%/0.1%	1%	① ▲▼キーを押して設定値を選択し、OKキーを押してください。
② 変倍登録 ユーザー番号1～5に倍率をユーザー設定変倍の選択項目として登録できます。	同率変倍 35.0%～283.0% 独立変倍 X（用紙幅方向）： 35.0%～283.0% Y（用紙長さ方向）： 35.0%～283.0%	同率変倍 100.0%	① ▲▼キーを押してユーザー番号を選択し、OKキーを押してください。 ② ▲▼キーを押して変倍モードを選択し、OKキーを押してください。 ③ 同率変倍を選択したときには、 ◀▶キーまたはテンキーを使って設定値を入力し、OKキーを押してください。 独立変倍を選択したときには、 ◀▶▲▼キーを使って方向を選択し、◀▶▲▼キーまたはテンキーを使って設定値を入力し、OKキーを押してください。

7章 管理と設定（初期設定）

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
③ 定寸カット登録 定寸カットの選択項目としてユーザー 1 またはユーザー 2 に任意の長さを登録できます。	297mm ～ 2500mm	ユーザー1 1000mm ユーザー2 2000mm	① ▲▼ キーを押してユーザー番号を選択し、OK キーを押してください。 ② テンキーを使って設定値を入力し、OK キーを押してください。
④ 濃度ステップ コピー濃度調整キー（◀）（▶）を押したときの全濃度ステップ（“7 段階” か “13 段階” か）を選択できます。	7 段階 / 13 段階	7 段階	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑤ 自動 / 手動濃度切替 優先して選択される原稿モードを設定できます。	自動 / 標準 / 標準こい / 標準うすい / 写真 / 地図 / 切り貼り	標準	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑥ 濃度初期値 濃度表示の点灯位置を選択できます。自動濃度は濃度表示が点灯しません。	1 ～ 7	4	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑦ 濃度調整 各原稿モード（“自動濃度”、“標準原稿”、“写真”、“地図”、“切り貼り”）の全体的なコピー濃度の濃淡を調整できます。	原稿モードごとに 1 ～ 7	4	① ▲▼ キーを押して原稿モードを選択し、OK キーを押してください。 ② ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。

管理者

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
⑧ 基本給紙段 優先して使用する給紙段を選択できます。	給紙段 1 / 給紙段 2（オプションロールユニット装着時のみ） / 手差し	給紙段 1	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑨ 自動選択設定 優先して選択されるコピーモード（“自動用紙”、“自動倍率”、“手動”）を選択できます。	自動用紙選択 / 自動倍率選択 / 手動	手動	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑩ 自動倍率モード 自動用紙を選択して給紙段を指定した場合に、等倍に移行する（“等倍優先”）か自動倍率に移行する（“自動倍率優先”）かを設定できます。	等倍優先 / 自動倍率優先	等倍優先	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑪ コピー開始方法 “スタートキー”を選択すると、原稿挿入後スタートキーを押すと原稿の読み込みを開始します。“オートスタート”を選択すると、原稿を挿入すると自動的に原稿の読み込みを開始します。	オートスタート / スタートキー	オートスタート	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
⑫ オートスタート遅延時間 ⑪「コピー開始方法」を“オートスタート”に設定した場合に、原稿を挿入してからコピーを開始するまでの時間を設定できます。	0.5 秒 / 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒	0.5 秒	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。 あらかじめ⑪「コピー開始方法」を“オートスタート”に設定してください。
⑬ 用紙カット方法 優先して選択される用紙カット方法（寸法）を選択できます。 “ユーザー 1”、“ユーザー 2”は、③「定寸カット登録」で登録した長さになります。	・ A 列設定時 シンクロカット / 841mm/ 594mm/420mm/ 297mm/ ユーザー 1/ ユーザー 2 ・ B 列設定時 シンクロカット / 728mm/ 515mm/364mm/ ユーザー 1/ ユーザー 2	シンクロカット	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑭ シンクロカット長さ表示 シンクロカット選択時に用紙のカット長さを表示するかどうかを選択できます。	ON/OFF	ON	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑮ リセットキー画像消去 “再コピー時確認”に設定すると、再コピー時にリセットキーを押すと画像消去の確認画面が表示されます。	消去 / 再コピー時確認	消去	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑯ 再コピー設定 “不許可”に設定すると、再コピー機能は使用できなくなります。“コード入力”に設定すると、再コピー時に再コピーコードの入力が必要になります。	許可 / コード入力 / 不許可	許可	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑰ 再コピーコード変更 ⑯「再コピー設定」で“コード入力”に設定した場合必要になる、再コピーコードを変更できます。	0000 ~ 9999	4830	① テンキーを使って新しい再コピーコード（4桁）を入力し、OK キーを押してください。 あらかじめ⑯「再コピー設定」で“コード入力”を選択してください。
⑱ メモリー画像圧縮 メモリーに読み込んだ画像データの圧縮方法を設定できます。“高圧縮”に設定すると、原稿の読み込み枚数が増えますが、“標準”“非圧縮”に比べて中間調（グレー部分）の画像が劣る場合があります。“非圧縮”を選択した場合にはメモリーの増設が必要になる場合があります。	非圧縮 / 標準 / 高圧縮	標準	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。
⑲ 最大ジョブ予約数 予約できるジョブの最大数を設定します。予約数に応じて予約コピー時のソートコピー原稿の読み込み枚数が制限されます。“5 ジョブ”の場合には最大 20 枚、“10 ジョブ”の場合には最大 10 枚、“20 ジョブ”の場合には最大 5 枚になります。	5 ジョブ / 10 ジョブ / 20 ジョブ	5 ジョブ	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、OK キーを押してください。

7章 管理と設定（初期設定）

■項目	■設定値	■初期値	■操作手順
②0 編集機能初期値 編集機能（上下画像移動、左右画像移動、先端余白、後端余白、枠消し）の設定時に表示される値を変更できます。	・上下画像移動 1 ～ 200mm ・左右画像移動 1 ～ 200mm ・先端余白 － 1 ～－ 200mm, 1 ～ 200mm ・後端余白 － 1 ～－ 200mm, 1 ～ 200mm ・枠消し 1 ～ 200mm	下 10mm 右 10mm 50mm 50mm 10mm	① ▲▼ キーを押して編集機能を選択し、○K キーを押してください。 ② “上下画像移動”を選択したときには、上下方向を ▲▼ キーで切り替えて、テンキーを使って設定値を入力し、○K キーを押してください。 “左右画像移動”を選択したときには、左右方向を ◀▶ キーで切り替えて、テンキーを使って設定値を入力し、○K キーを押してください。 “先端余白”、“後端余白”を選択したときには、＋－を ▲▼ キーで切り替えて、テンキーを使って設定値を入力し、○K キーを押してください。 “枠消し”を選択したときには、テンキーを使って設定値を入力し、○K キーを押してください。
②1 サンプルコピー設定 サンプルコピーを出力した場合のサンプルを選択します。	機能サンプル / 濃度サンプル	濃度サンプル	① ▲▼ キーを押して設定値を選択し、○K キーを押してください。

8章 こんなときには

こんなメッセージがでたとき

エラーメッセージ一覧

■表示	■処理方法	■参照ページ
“前カバーを閉じて下さい”	前カバーが開いています。確実に閉めてください。	—
“排出カバーを閉じて下さい”	排出カバーが開いています。確実に閉めてください。	—
“原稿テーブルを押して 本体を閉じて下さい”	機械本体が開いています。両手で本体解除レバーを持ち、原稿テーブルを押して機械を閉じてください。	—
“トナー補給口を閉じて下さい”	トナー補給口が開いています。確実に閉めてください。	—
“右カバーを閉じて下さい”	右カバーが開いています。確実に閉めてください。	—
“原稿押さえを閉じて下さい”	原稿押さえが開いています。確実に閉めてください。	—
“紙詰まりです”	用紙が詰まっています。メッセージ表示に応じて適切に取り除いてください。	P. 8-7 ~ P. 8-12
“原稿を再度挿入して下さい”	原稿が詰まっています。原稿を取り除き、再度原稿テーブルにセットしなおしてください。	P. 8-12
“原稿を取り除いて下さい”	原稿読み込み終了後に、原稿が詰まっています。原稿を取り除いてください。	P. 8-12
“用紙を補給して下さい”	ロールユニットの用紙がなくなりました。新しいロール紙と交換してください。	P. 3-5 ~ P. 3-7
“用紙を巻き取って下さい”	ロールユニットの用紙がなくなりました。前カバーを開けロール紙を巻き取ってから新しいロール紙と交換してください。	P. 3-5 ~ P. 3-7
“ロールユニットが入っていません”	ロールユニットが確実に挿入されていません。前カバーを開いて、ロールユニットを確実に押し込んでください。	—
“X X X mm 幅の用紙がありません”	自動用紙を選択しているときに、セットされた原稿に対して等倍でコピーできる用紙がありません。ロール紙を交換してください。または給紙段を選択してコピーしてください。	P. 3-5 ~ P. 3-7 P. 4-2
“給紙段 X に X X X mm の用紙をセットして下さい”	割り込みコピー、ジョブ予約時などにセットされた時と異なる幅の用紙がセットされています。ロール紙を交換してください。	P. 3-5 ~ P. 3-7

■表示	■処理方法	■参照ページ
“回収タンクを確認して下さい”	トナー回収タンクが一杯になっています。またはトナー回収タンクが正しくセットされていません。新しいトナー回収タンクと交換してください。またはトナー回収タンクをセットし直してください。	P. 8-4
“コピーできません トナーを補給して下さい”	左記のメッセージが表示される前に、連続してコピーができなくなります。早めにトナーを補給してください。しばらくはコピーできますが、左記のメッセージが表示されたときにはコピーができなくなります。	P. 8-3
“メンテナンスの時期です”	機械の保守時期になっています。弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。	裏表紙
“サービス担当者に電話して下さい”	本体内部に異常があります。 「サービスコールが表示されたら」を参照してください。	P. 8-6
“メモリーがいっぱいです”	メモリーオーバーフローが起きました。 「メモリーオーバーフロー時の処置」を参照してください。	P. 8-5
“メモリーできませんでした”	メモリに原稿画像を保存できませんでした。 2枚目以降のコピーまたは再コピーを行えません。 「メモリーオーバーフロー時の処置」を参照してください。	P. 8-5
“設定範囲外です 再入力して下さい”	コピー倍率や編集機能の設定値などが設定範囲を超えています。OK キーを押して、設定値を入力し直してください。	—
“現在この項目は設定できません”	現在設定できない初期設定値を変更しようとしています。「初期設定一覧」を参照してください。	P. 7-3 ～ P. 7-8
“暗証コードが違います”	暗証コードが違います。もう一度テンキーを使って入力しなおしてください。	P. 7-2
“再コピーコードが違います”	再コピーコードが違います。もう一度テンキーを使って入力しなおしてください。	P. 6-3
“キーカウンタをセットして下さい”	キーカウンター＜オプション＞がセットされていないか、もしくは正しくセットされていません。正しくセットしてください。	P. 4-1
“キーカードをセットして下さい”	キーカード＜オプション＞がセットされていないか、もしくは正しくセットされていません。正しくセットしてください。	P. 4-1

トナーの補給のしかた

トナーが不足すると“トナーを補給して下さい”とメッセージが表示され、1枚ずつしかコピーできなくなります。しばらくコピーはできますが、“コピーできません トナーを補給して下さい”と表示されるとコピーできなくなります。早めにトナーを補給してください。

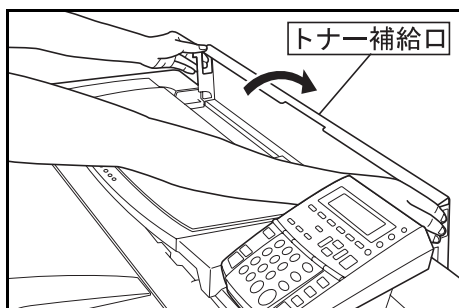
スタートキーを押して下さい
トナーを補給して下さい 2枚
□普通紙 □594×シンク□
100%

コピーできません
トナーを補給して下さい

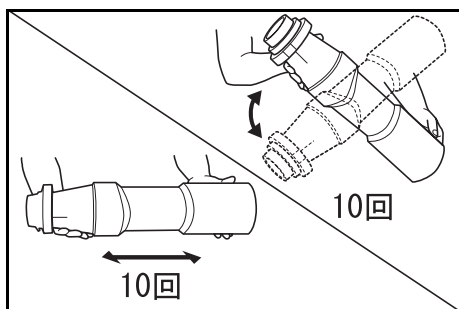
重要

- ・ 黒比率の高い原稿を連続コピーすると、一度に大量のトナーを消費するため、機内にまだトナーが残っていても“トナーを補給してください”が表示される場合があります。この場合は一度トナー補給口のカバーを開閉してください。本機はトナー補給動作を行ないません。

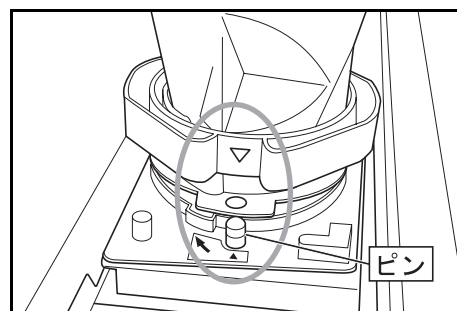
- 1** 原稿反転ガイドを外して、トナー補給口を開けてください。



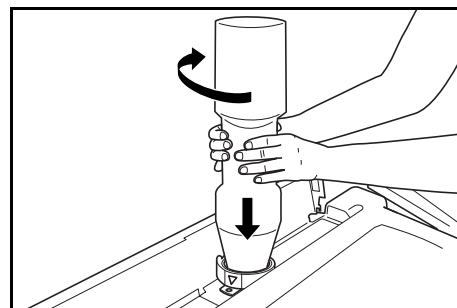
- 2** 補給用トナーボトルを水平に持ち、上下に10回、左右に10回振ってトナーを混ぜてください。



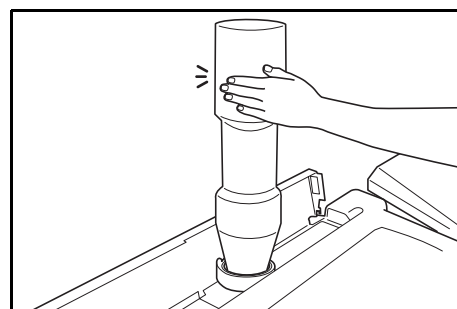
- 3** 図のようにトナーボトルの▼を開口部のピン（金属の突起）にあわせて差し込んでください。



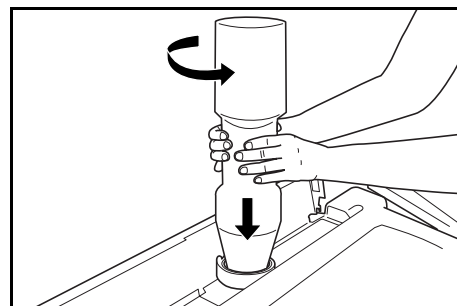
- 4** トナーボトルを下の方へ押しながら、時計方向に90度回してください。トナーが補給されます。



- 5** トナーボトルの側面を7～8回軽くたたき、残っているトナーを落として下さい。



- 6** トナーボトルを下の方へ押しながら元の位置まで回し、ゆっくりと外してください。



- 7** トナー補給口を閉めて、原稿反転ガイドを取り付けてください。

⚠ 注意

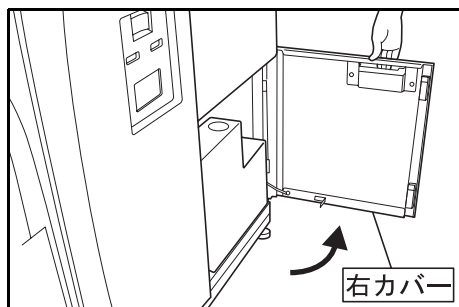
トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

トナー回収タンクの交換のしかた

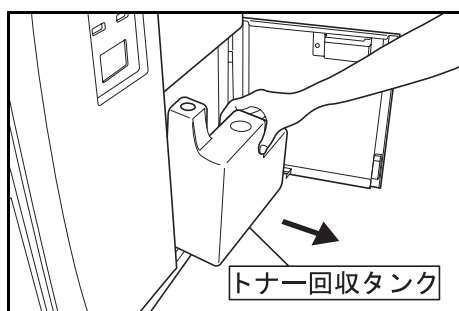
トナー回収タンクがいっぱいになると“回収タンクを確認して下さい”とメッセージが表示され、コピーできなくなります。新しい回収タンクと交換してください。

回収タンクを確認して下さい

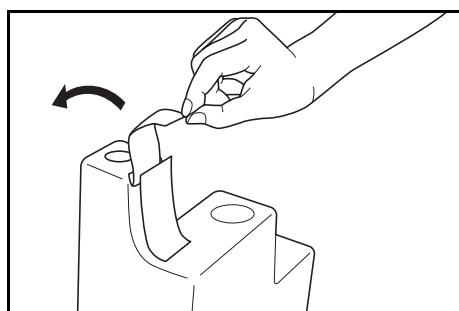
- 1 右カバーを開けてください。



- 2 トナー回収タンクを手前に引いて取り出してください。



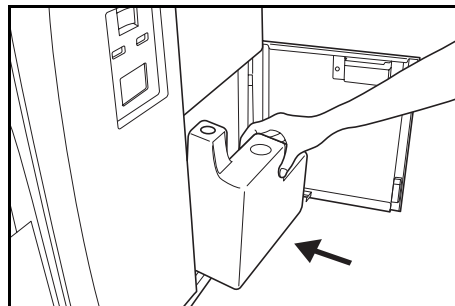
- 3 トナー回収タンクの開口部に付いているシールでタンクの口を閉めてください。



⚠ 注意

トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

- 4 新しいトナー回収タンクをセットしてください。



- 5 右カバーを閉めてください。

補足

- トナー回収タンク内のトナーは、再使用できません。

メモリーオーバーフロー時の処置

本機はメモリに画像データを読み込み、コピーを行います。メモリには限りがあり、コピー操作中にメモリーオーバーフローをおこし、下記のようなメッセージが表示されることがあります。

初期設定の「メモリー画像圧縮」設定を“非圧縮”の場合には“標準”に、“標準”の場合には“高圧縮”にしてください。メモリに保存できる画像データを増やすことができます。ただし“高圧縮”を選択すると、中間調（グレー部分）の画像が劣る場合があります。（P. 7-7 参照）

メモリーがいっぱいです

OKキーを押して下さい

メモリーできませんでした

補足

- ・メモリーオーバーフローが頻繁に発生するときにはメモリの増設をおすすめします。弊社製品取り扱い店等にお問い合わせください。

“メモリーできませんでした”が表示されたとき

通常のコピー時など、原稿を読み込みながらコピーする場合に表示されることがあります。画像データ全体をメモリに保存できませんでした。

コピー部数を複数枚設定している場合には、1部は出力できますが、2部以降は出力されません。また再コピーは行えません。

メモリーできませんでした

“メモリーがいっぱいです”が表示されたとき

ソートコピー、編集機能、ジョブ予約、割り込みコピー時など原稿を先に読み込んでからコピーする場合に起こることがあります。

ジョブ予約、割り込みコピー時にメモリーオーバーフローが起こった場合には現在の出力が終わってから、再度コピーを行ってください。ソートコピー時にメモリーオーバーフローが起こった場合には原稿枚数を減らしてください。

メモリーがいっぱいです

OKキーを押して下さい

- 1 OK キーを押してください。
- 2 原稿排出方向の選択画面が表示されます。
▲▼ キーを押して、⇒ をあわせて排出方向を選択してください。

原稿排出方向の選択:

⇒ 手前に排出
奥に排出

- 3 OK キーを押してください。原稿が排出されます。
1 枚目の原稿でオーバーフローした場合には、読み込み中の画像を消去します。
ソートコピー時などに、すでに読み込みを終了している原稿がある場合には次の手順に進んでください。
- 4 読み込んだところまで出力するか確認する画面が表示されます。
▲▼ キーを押して、“はい”または“いいえ”に⇒ をあわせてください。
“いいえ”を選択した場合には画像を消去し、出力を中止します。

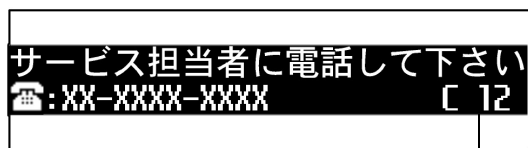
メモリーされた画像を出力する:

⇒ はい
いいえ

- 5 OK キーを押してください。
“はい”を選択した場合には次の手順に進んでください。
- 6 出力部数を確認または修正する画面が表示されます。
出力部数を確認し、スタートキーを押して下さい。
修正する場合にはテンキーで部数を入力し、スタートキーを押してください。読み込み中にオーバーフローした原稿は、読み込まれたところまでの画像を出力します。

部数を確認／修正して下さい 04
出力開始 ■■■ スタートキー 4部

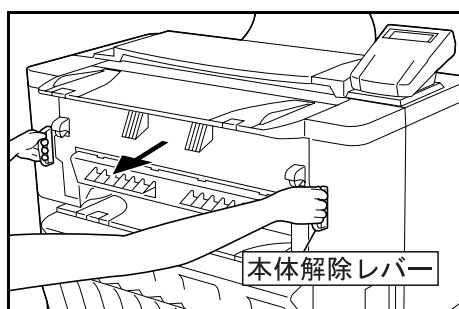
サービスコールが表示されたら



エラーコード

上記のようなサービスコールのメッセージが表示されたときは、本機が異常を検知しました。
ご使用を中止し、次の処置を行ってください。

- 1 本体解除レバーを引き機械本体を開いて、閉めなおしてください。



- 2 再度サービスコールのメッセージが表示された場合は、メッセージに表示されているエラーコード（上記のメッセージの場合は C 12）を書きとめてください。

重要

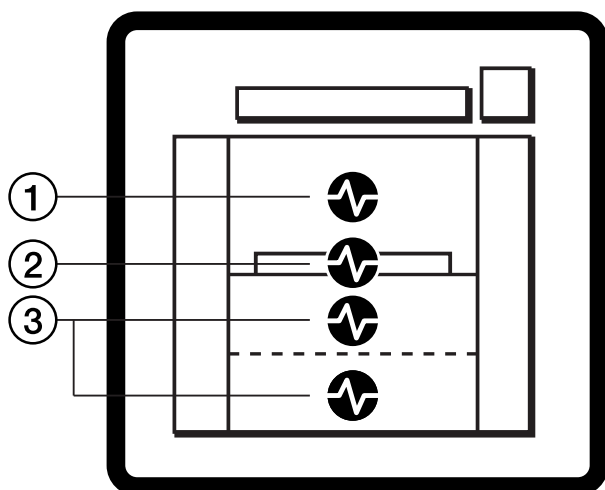
- ・2度目にサービスコールのメッセージが表示された場合には、機械本体の開け閉めを繰り返さないでください。

- 3 メインスイッチを OFF (O) にし、電源プラグを抜いてください。
- 4 メッセージに表示された電話番号または弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのとき、書きとめたエラーコードをお知らせください。

紙詰まりが発生したとき

紙詰まりが発生した場合は、本機の駆動が停止し、紙詰まりのメッセージが表示されます。メインスイッチは **ON** (|) のまま、メッセージ表示の種類に応じて詰まっている用紙を取り除いてください。

メッセージの表示と紙詰まりの位置



- ①機械本体内部で用紙が詰まっています。
(P. 8-7 ～ P. 8-9 参照)
- ②手差し給紙口で用紙が詰まっています。
(P. 8-9 ～ P. 8-10 参照)
- ③給紙部でロール紙が詰まっています。
(P. 8-11 ～ P. 8-12 参照)

処理上の注意事項

⚠ 警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

⚠ 注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- ・詰まった用紙は再使用しないでください。
- ・用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙詰まりが再発する原因になります。
- ・紙詰まりの処理が終了すると、ウォームアップが開始され、紙詰まりのメッセージが消え紙詰まり前の状態にセットしなおされます。

処理方法

- ① “紙詰まりです 用紙カットキーを押して下さい”、
“紙詰まりです 原稿テーブルを引き出して下さい” が
表示されたとき

機械内部で用紙が詰まっています。以下の手順で用紙を取り除いてください。

紙詰まりです
用紙カットキーを
押して下さい



紙詰まりです
原稿テーブルを
引き出して下さい

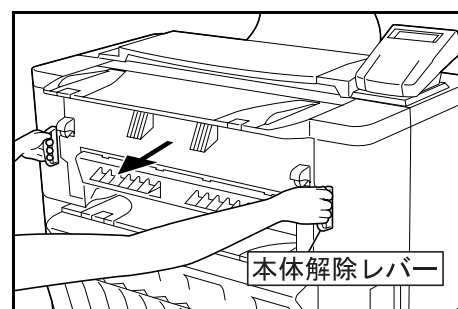


- 1** “用紙カットキーを押して下さい” と表示されているときには、用紙カットキーを押してください。

重要

- ・用紙カットキーを押す前にカバー類は開けないでください。

- 2** 本体解除レバーを持って手前に引いてください。
機械本体が開きます。

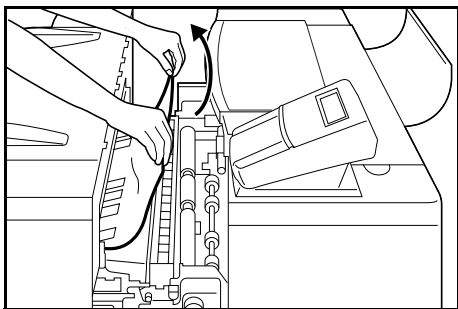


⚠ 警告

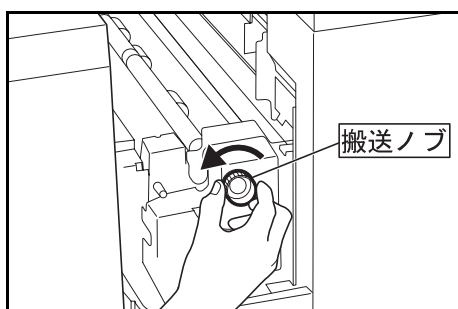
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

8章 こんなときには

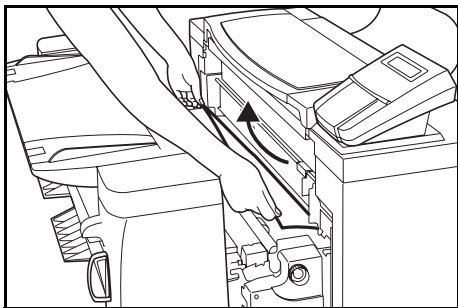
- 3** 用紙が見えているときは用紙を取り出してください。
※引き出しにくいときは、無理に引き出さず、次の手順に進んでください。



- 4** 搬送ノブを反時計回りに回してください。用紙が搬送されます。



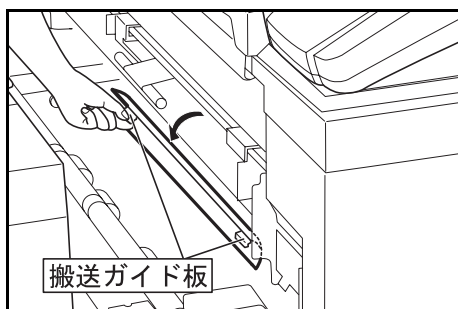
- 5** 用紙が見えたら、機械内部の用紙を取り出してください。



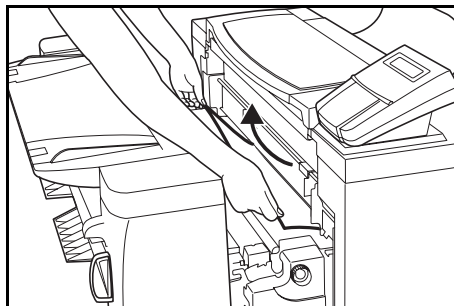
重要

- ・ドラム部分（緑色の筒状の部品）は少しの汚れやほこりにも敏感です。手で触れないよう注意してください。

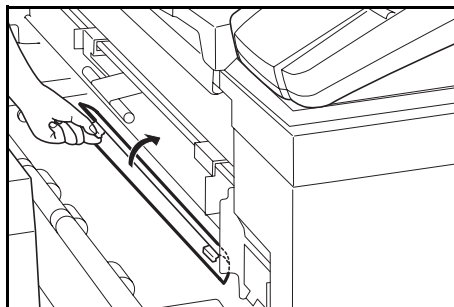
- 6** 手差しからコピーしている場合には、搬送ガイド板の緑色の取手を持って開いてください。



- 7** 機械内部の用紙を取り出してください。



- 8** 搬送ガイド板を閉じてください。



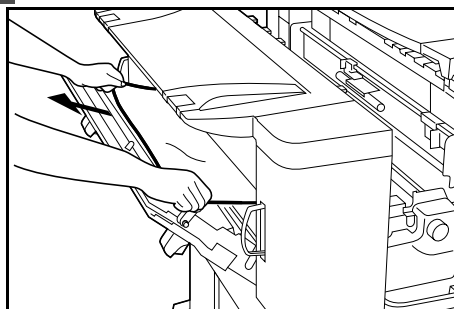
- 9** 排出解除レバーを押し、手前に引いてください。排出カバーが開きます。



⚠ 注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

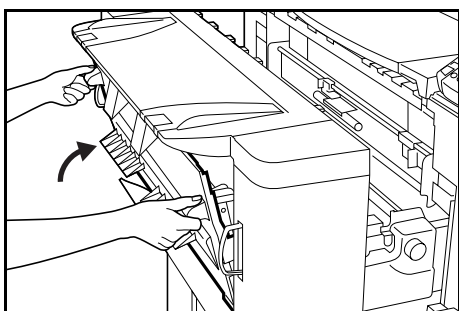
- 10** 詰まっている用紙を取り除いてください。



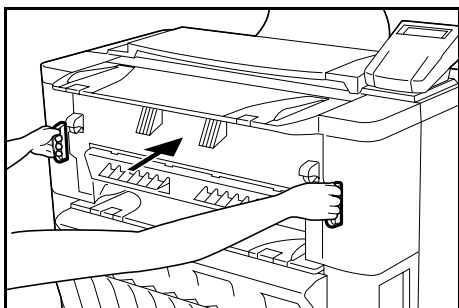
重要

- ・排出カバーを開く場合は必ず原稿テーブルを引き出してから行ってください。

- 11** 排出解除レバーを持って、排紙カバーを閉じてください。



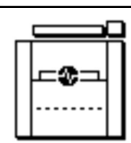
- 12** 本体解除レバーを持って、原稿テーブルを機械奥側に押し、機械本体を確実に閉じてください。



② “紙詰まりです 用紙を取り除いて下さい”が表示されたとき

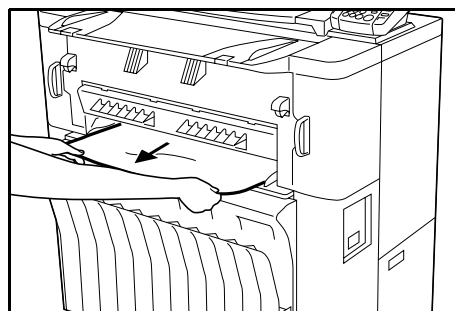
手差し給紙口で用紙が詰まっています。以下の手順で用紙を取り除いてください。

**紙詰まりです
用紙を取り除いて下さい**

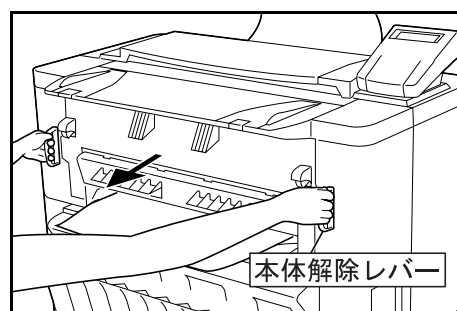


- 1** 手差し給紙口で詰まっている用紙を手前に引き出してください。

※引き出しにくいときは、無理に引き出さず次の手順に進んでください。



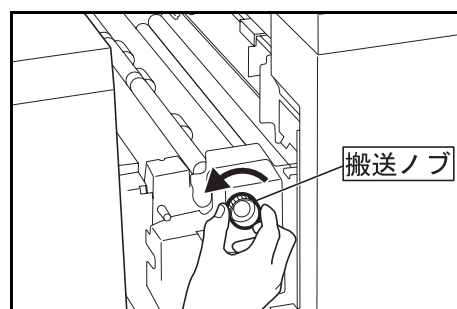
- 2** 本体解除レバーを持って手前に引いてください。機械本体が開きます。



⚠ 警告

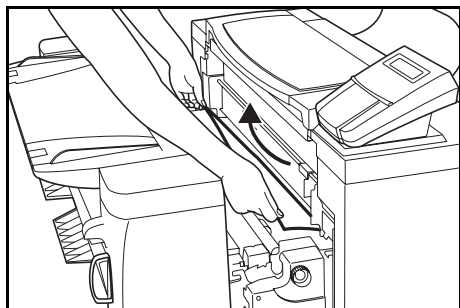
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- 3** 搬送ノブを反時計回りに回してください。用紙が機械内部から搬送されます。



8章 こんなときには

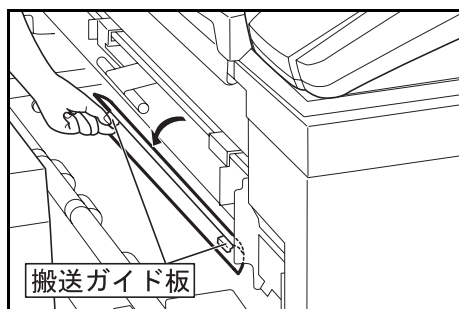
- 4** 用紙が見えたら、機械内部から用紙を取り出してください。
※引き出しにくいときは、無理に引き出さず次の手順に進んでください。



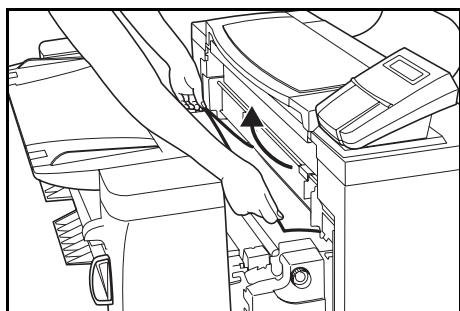
重要

- ・ドラム部分（緑色の筒状の部品）は少しの汚れやほこりにも敏感です。手で触れないよう注意してください。

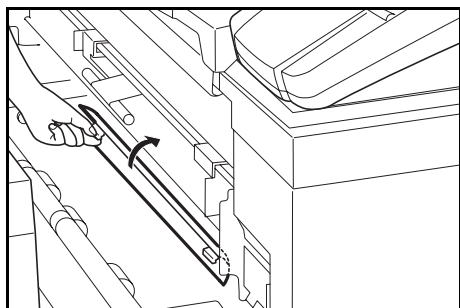
- 5** 緑色の取手を持って搬送ガイド板を開いてください。



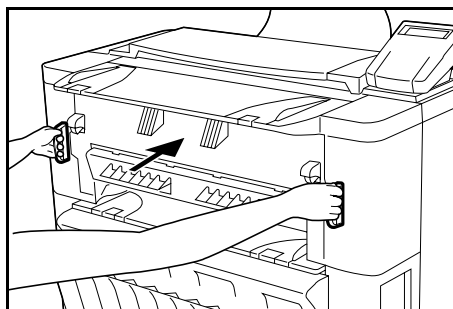
- 6** 機械内部の用紙を取り出してください。



- 7** 搬送ガイド板を閉じてください。



- 8** 本体解除レバーを持って原稿テーブルを機械奥側に押して、機械本体を確実に閉じてください。



③ “紙詰まりです 前カバーを開けて下さい”が表示されたとき

表示されている給紙段でロール紙が詰まっています。
以下の手順で用紙を取り除いてください。

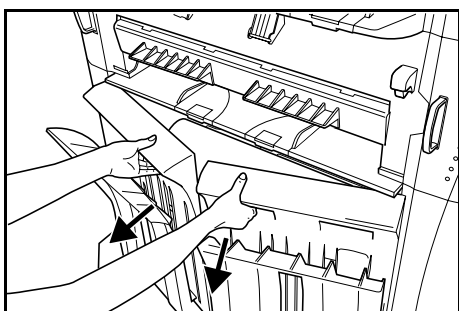
紙詰まりです
前カバーを
開けて下さい



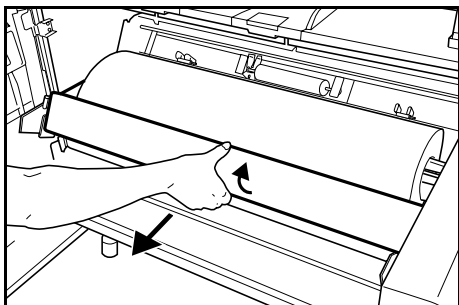
紙詰まりです
前カバーを
開けて下さい



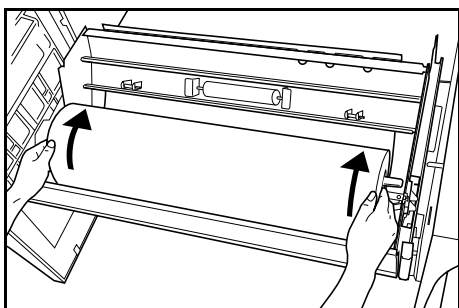
- 1 前カバーを開けてください。



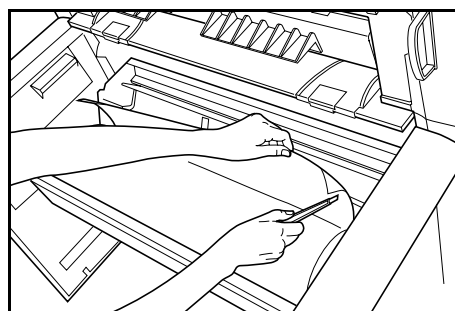
- 2 ロールユニットの取手を持ってロックを解除し、ロールユニットを手前いっぱいまで引き出してください。



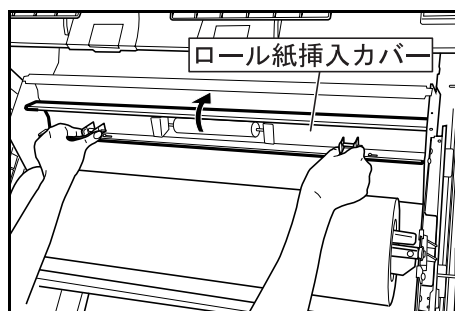
- 3 ロール紙を巻き戻してください。



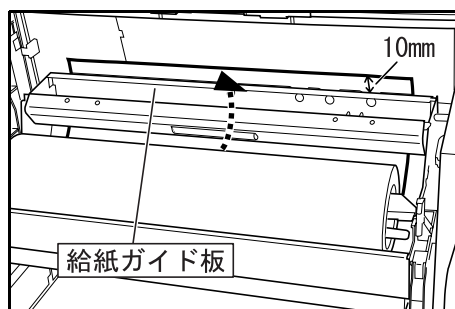
- 4 シワになっている部分や折れているところがあれば、カッターやはさみで切りとってください。



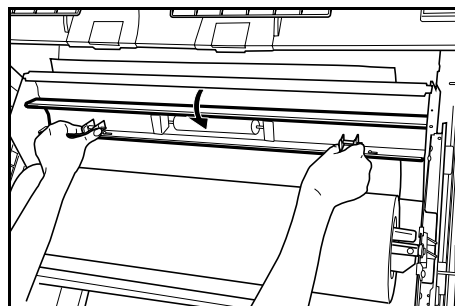
- 5 両側のロール紙挿入つまみをつまんで、ロール紙挿入カバーを開いてください。



- 6 図のように給紙ガイド板の下に、ロール紙先端を挿入して、給紙ガイド板から10mm程度引き出してください。

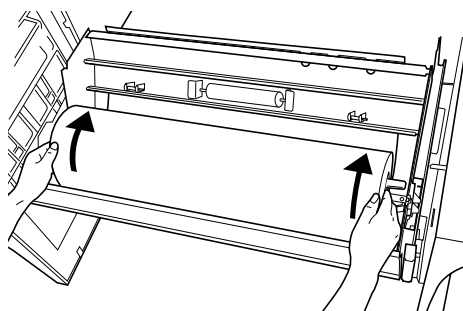


- 7 両側のロール紙挿入つまみをつまんでロール紙挿入カバーを閉じてください。

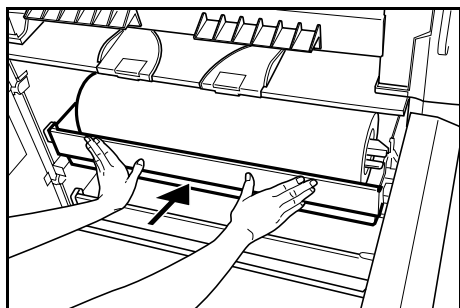


重要

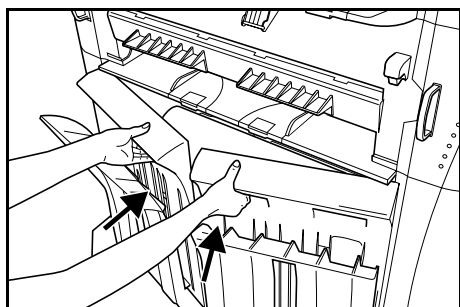
- ・セットしたロール紙にたるみがある場合は、ロール紙を戻してたるまないようにしてください。用紙が斜めに給紙されるおそれがあります。



- 8** ロールユニットを機械の本体にしっかりと押し込んでください。



- 9** 前カバーを閉めてください。



- 10** 用紙の先端がそろっていない場合には、用紙カットキーを押してください。
用紙の先端がカットされます。

原稿詰まりが発生したとき

原稿押さえで原稿が詰まると以下のようなメッセージが表示されます。以下の手順で原稿を取り出してください。“原稿を再度挿入して下さい”と表示された場合には再度原稿をセットしなおしてください。

原稿を再度挿入して下さい

100% 1枚
□普通紙 □594×シンク□

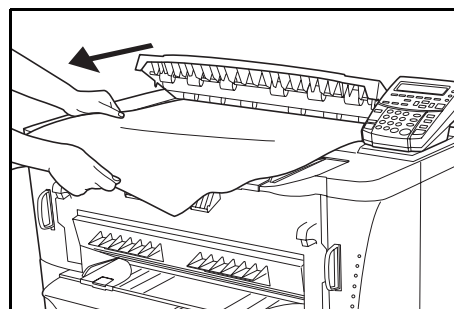
原稿を取り除いて下さい

100% 1枚
□普通紙 □594×シンク□

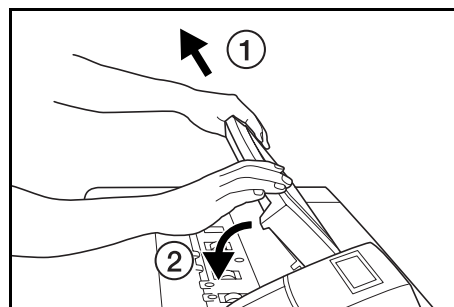
- 1** 原稿押さえを両手で持って開いてください。約 60° 開くと原稿押さえが止まります。



- 2** 詰まっている原稿を破らないように取り除いてください。



- 3** 原稿押さえを手前に引いて静かに閉めてください。



トラブルが発生したとき

トラブルが発生した場合は次のことをお調べいただき、それでも直らない場合は弊社製品取り扱い店等までご連絡ください。

機械本体が動かない

■トラブルの内容	■確認事項	■処理方法	■参照ページ
メインスイッチを ON () にしても操作パネルに何も表示されない。	・電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
原稿を挿入してもコピーが出てこない。	・操作パネルにメッセージが表示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	P. 8-1 ~ P. 8-2
コピーが写らない。	・コピーする面を下にして原稿を挿入していますか。	コピーする面を下にして原稿を挿入してください。	P. 4-3
紙詰まりがたびたび起こる。	・用紙に折れやしわがありませんか。	ロール紙の折れやしわを切り取ってください。	—
	・詰まった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	P. 8-7 ~ P. 8-11
	・用紙のセット方法は正しいですか。	用紙セット方法を確認してください。	P. 3-5 ~ P. 3-7
	・第 2 原図を使用していませんか。	用紙カットキーを 2 回押してください。	P. 3-4

意図したコピーがとれない

■トラブルの内容	■確認事項	■処理方法	■参照ページ
コピーが斜めに写る。	・原稿をまっすぐに挿入していますか。	「正確に原稿をセットするとき」を参照して原稿をセットしてください。	P. 4-5
	・傾き補正を設定していませんか。	傾き補正を解除してください。	P. 6-1
コピーが用紙の幅方向にずれる。	・原稿ガイドは原稿テーブルの原稿サイズ指示に合っていますか。	原稿ガイドを原稿サイズ指示に合わせてから、原稿を挿入してください。	P. 4-3
	・ロールユニットのロール紙は正しくセットされていますか。	ロール紙をロール軸のサイズラベルに正しく合わせてください。	P. 3-5 ~ P. 3-7
	・手差しコピーのとき、用紙を正しく挿入していますか。	手差しガイドを用紙サイズに合わせてから用紙を挿入してください。	P. 4-3
	・画像移動を設定していませんか。	画像移動設定を解除してください。	P. 5-6 ~ P. 5-8
コピーが原稿挿入方向（またはその反対方向）にずれる。	・余白を設定していませんか。	余白設定を解除してください。	P. 5-8 ~ P. 5-9
	・画像移動を設定していませんか。	画像移動設定を解除してください。	P. 5-6 ~ P. 5-8

8章 こんなときには

■トラブルの内容	■確認事項	■処理方法	■参照ページ
指定した用紙長さとなる。	・余白を設定していませんか。	余白設定を解除してください。	P. 5-8 ～ P. 5-9
コピーにしわがよる。 用紙がカールする。	・用紙種の設定は正しいですか。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択してください。	P. 4-6
	・用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。 ご使用の環境によっては保温ヒーターを ON に設定してください。	P. 3-5 ～ P. 3-7
	・ロールユニットのロール紙が正しくセットされていますか。	ロール紙の両端をそろえてください。	P. 3-5 ～ P. 3-7
	・定着温度は適切ですか。	定着温度を低く設定してください。	P. 6-2, P. 7-4
トナーの定着が悪い。	・用紙種の設定は正しいですか。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択してください。	P. 4-6
	・厚手の用紙でコピーしていませんか。	定着温度を高く設定してください。	P. 6-2, P. 7-4
フィルムにコピーしたときネバネバする。	・用紙種の設定はフィルムになっていますか。	用紙種選択キーを押してフィルムを選択してください。	P. 4-6
フィルムにコピーしたときフィルムが波をうつ	・用紙種の設定はフィルムになっていますか。	用紙種選択キーを押してフィルムを選択してください。	P. 4-6
	・定着温度は適切ですか。	定着温度を低く設定してください。	P. 6-2, P. 7-4
原稿とコピーした画像の大きさが異なる	・用紙種の設定は正しいですか。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択してください。	P. 4-6
	・等倍度を調整していますか。	等倍度を調整してください。	P. 6-2, P. 7-4
コピーがうすい	・自動濃度ですか。	初期設定の「濃度調整」を行ってください。	P. 7-6
	・手動濃度ですか。(コピー濃度表示が左側で点灯またはうすい濃度表示が点灯していませんか)	コピー濃度調整キー (▶) を押して、適正な位置にセットしてください。	P. 4-8
	・トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーを補給してください。	P. 8-3
	・用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。 ご使用の環境によっては保温ヒーターを ON に設定してください。	P. 3-5 ～ P. 3-7
コピーがこい	・自動濃度ですか。	初期設定の「濃度調整」を行ってください。	P. 7-6
	・手動濃度ですか。(コピー濃度表示が右側で点灯またはこい濃度表示が点灯していませんか)	コピー濃度調整キー (◀) を押して、適正な位置にセットしてください。	P. 4-8
コピーに黒いすじがでる	・コンタクトガラスまたは搬送ローラーは汚れていませんか。	原稿押さえ部の清掃を行ってください。	P. 9-1
ハーフトーンに模様 (ムラ) ができる	・A1、A2 サイズの写真原稿 (黒ベタとハーフトーンが混在している原稿) を使用している場合、黒ベタ部分を印字してからハーフトーンを印字すると黒ベタ部分が模様となって、ハーフトーン上にでる。	原稿の挿入方向をハーフトーンが先になるように変えてセットしてください。	—

9章 保守・運用のために

機械の清掃のしかた

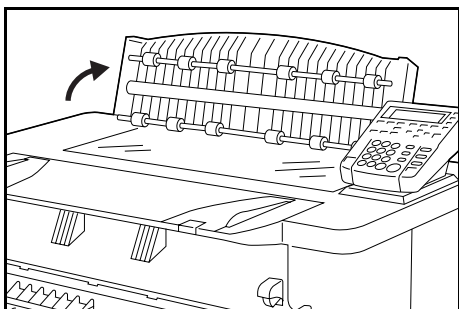
⚠ 注意

本製品の清掃を行うときは安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●原稿押さえ部の清掃

コンタクトガラス（原稿挿入部のガラス）や搬送ローラーがよごれていると、きれいにコピーできません。

- 1 原稿押さえを両手で持ち、開いてください。約 60° 開くと原稿押さえが止まります。そのまま、さらに開いてください。



- 2 柔らかい布を水で湿らせ、よく絞ってから、コンタクトガラスを拭いてください。



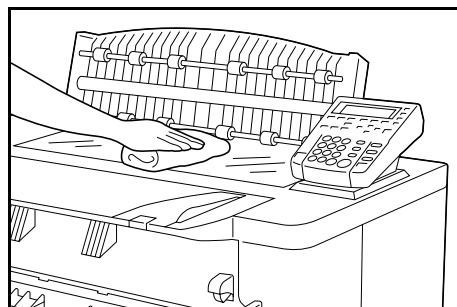
補足

- ・コンタクトガラスについたごみがとれないときには、アルコールまたは薄い中性洗剤を含ませて、コンタクトガラスを拭いてください。
- ・シンナーやその他の溶剤は使用しないでください。

- 3 搬送ローラーを手で回しながらきれいに拭いてください。



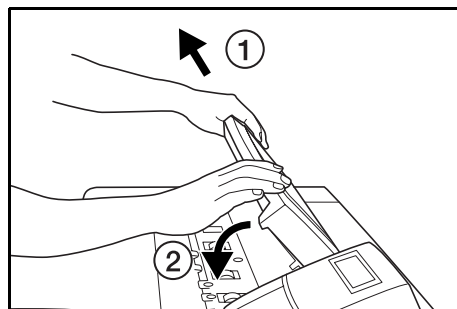
- 4 乾いた柔らかい布でコンタクトガラスと搬送ローラーを乾拭きしてください。



重要

- ・ガラス部分には曇りが残らないように拭いてください。

- 5 原稿押さえを閉じてください。約 60° 閉じると原稿押さえが止まります。原稿押さえを手前に少し引いて、静かに閉じてください。



消耗品

機械の性能を維持しトラブルを未然に防止するために、消耗品は必ず弊社のものをご使用ください。

用紙

・ カット紙

〈普通紙 (DC 共用 64 g/m ²)〉			〈第 2 原図 (DC 用 GNT-75 75 g/m ²)〉			〈PPC フィルム EK-300〉		
A1 判	100 枚× 3 冊	6,300 円	A1 判	100 枚× 1 冊	7,850 円	A1 判	100 枚× 1 冊	48,000 円
A2 判	100 枚× 5 冊	5,300 円	A2 判	100 枚× 1 冊	4,500 円	A2 判	100 枚× 1 冊	24,000 円
A3 判	500 枚× 3 冊	6,900 円	A3 判	250 枚× 1 冊	5,000 円			
A4 判	500 枚× 5 冊	5,750 円	A4 判	500 枚× 1 冊	5,000 円			
B2 判	100 枚× 3 冊	4,700 円	B4 判	500 枚× 1 冊	7,500 円			
B3 判	100 枚× 5 冊	3,980 円						
B4 判	500 枚× 5 冊	8,650 円						

・ ロール紙

〈普通紙 (DC 共用 64 g/m ²)〉			〈第 2 原図 (DC 共用 75 g/m ²)〉			〈DC フィルムロール〉		
594mm × 150m	3,850 円		594mm × 150m	13,800 円		594mm × 100m	55,000 円	
420mm × 150m	2,860 円		420mm × 150m	9,800 円		420mm × 100m	38,500 円	
297mm × 150m	2,700 円							
〈普通紙・厚口 (DC 共用 70 g/m ²)〉								
440mm × 150m	3,300 円							

※上記表示価格は、2000 年 3 月現在のものです。また表示価格及び料金には消費税は含まれておりません。
ご購入の際は、消費税が別途付加されますので、ご了承ください。

製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

●コピーキット方式

弊社指定のコピーキットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

・コピーキット（PK-500 キット） 800 カウント用

●コピーチャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

●スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方式です。



保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーキット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、またコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」、または「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった複写機の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーシステム契約書」、または「コピーチャージ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きをいたします。

※アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店もしくは、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。



補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7 年間です。

10章 付録

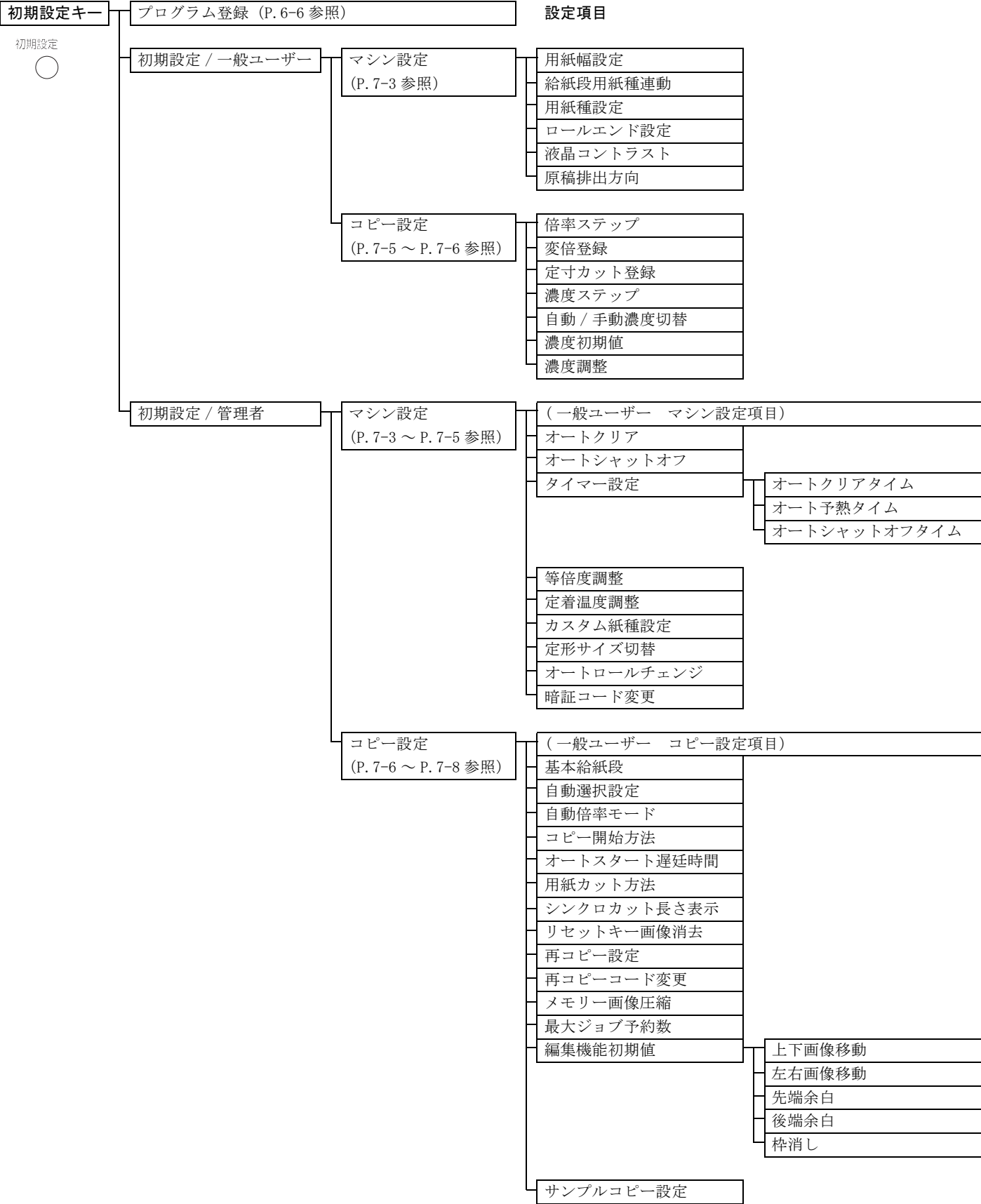
仕様

名称	 KM-4830w
形式	コンソール
原稿台方式	原稿移動方式
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート
原稿サイズ	最大：A1 610mm（幅）× 2,500mm（長さ） 最小：A4（ タテ ） 210mm（幅）× 297mm（長さ） 原稿の厚さ：64～80g/m ²
複写サイズ	最大：A1 610mm（幅）× 2,500mm（長さ） 最小：A4（ タテ ） 210mm（幅）× 297mm（長さ） 用紙の厚さ：64～80g/m ² 不完全領域：用紙先端 / 後端：10mm 以下，用紙右端 / 左端：3mm 以下
複写速度	4.8m / 分（A1 タテ 4枚 / 分）
ウォームアップタイム	300 秒以内（室温 20℃，湿度 65%RH）
ファーストコピータイム	22 秒以内（A1 タテ ）
複写倍率	35～283%（1%または0.1%毎）の任意倍率および 35%，50%，70%，141%，200%，282%の固定倍率
画像蓄積用メモリ	標準 64MB（最大 512MB）
増設メモリ	168 ピン汎用 DIMM（64MB，128MB，256MB）
給紙方式	1 段のロールユニットから給紙および手差し給紙
使用用紙	普通紙（64～80g/m ² ），第2原図，フィルム
連続複写	1～99 枚
読み込み方式	密着イメージセンサによる原稿移動走査露光方式（400dpi），光源：キセノンランプ（24W）
書き込み方式	LED（400dpi）
現像方式	乾式現像
トナー補給	ボトルカートリッジ方式
定着方式	ヒートローラー
クリーニング方式	ブレード+ファークラシククリーニング方式
感光体種類	OPC ドラム（保温ヒーターあり）
付属機能	自動変倍モード，ズームモード，固定変倍モード，独立変倍モード，ソートコピーモード，画像移動コピー，余白コピー，枠消しコピー，鏡像コピー，サンプルコピー，再コピー機能，割り込みコピー，ジョブ予約機能，プログラム機能，予熱機能，オートシャットオフ機能，自己診断機能
電源	AC 100V 12A 50/60Hz（共用）
定格消費電力	1,200W
エネルギー消費効率	199Wh/h（出荷時設定）
機械寸法	幅 999mm × 奥行 677mm × 高さ 1,112mm
占有寸法	幅 999mm × 奥行 747mm（フルオプション時 幅 999mm × 奥行 1,269mm）
質量	約 160Kg
付属品	コピー受け補助板，原稿反転ガイド板
オプション	ロールユニット RU-3，キャリアシート（A1，A2），原稿トレイ A1T，スプール， ブックキャリアタイプ B，プリンタ / スキャナ コントローラ，キーカード MK-1，キーカウンター， 増設メモリ

（仕様は性能改善のため予告無く変更することがあります）

機能設定一覧

初期設定キーで設定できる機能の一覧です。
初期設定値を変更するときは、初期設定キーを押した後、▲▼キー等を使って設定を変更してください。
詳しい設定方法は各ページを参照してください。



索引

あ	
暗証コード変更	7-5
う	
うすい濃度モード	4-8
え	
液晶コントラスト	7-3
エラーメッセージ一覧	8-1
お	
オートクリア	7-3
オートクリア機能	6-7
オートシャットオフ	7-4
オートシャットオフ機能	6-8
オートスタート遅延時間	7-7
オートロールチェンジ	2-2, 7-5
か	
カスタム紙種設定	7-4
画像移動 左右移動	5-7
画像移動 上下移動	5-6
傾き補正	6-1
カット選択	4-6
シンクロカット	4-6
定寸カット	4-7
テンキー入力	4-7
紙詰まりが発生したとき	8-7
き	
キーカード	2-3, 4-1
キーカウンター	2-3, 4-1
機械の清掃のしかた	9-1
機能設定一覧	10-2
基本的なコピーのしかた	4-2
キャリアシート	3-3
給紙段の選択	4-2
給紙段用紙種連動	7-3
鏡像	5-10
切り貼り	4-8
け	
原稿詰まりが発生したとき	8-12
原稿トレイ	3-3
原稿について	3-1
原稿の種類	4-8
切り貼り	4-8
写真	4-8
地図	4-8
標準原稿	4-8
原稿のセット	4-3
原稿排出方向	7-3
原稿反転ガイド	3-2
原稿ホルダー	3-2
こ	
こい濃度モード	4-8
固定変倍	5-2
コピー受け補助板	3-7
コピー開始方法	7-6
コピー濃度の選択	4-8
うすい濃度モード	4-8
こい濃度モード	4-8
自動濃度	4-8
コピー枚数の選択	4-2
コピーモード	4-4
自動倍率選択モード	4-4
自動用紙選択モード	4-4
手動モード	4-4
コピーをキャンセルする	4-9
コピーをとる	4-1
さ	
サービスコールが表示されたら	8-6
再コピー機能	6-3
再コピーコード変更	7-7
再コピー設定	7-7
最大ジョブ予約数	7-7
サンプルコピー	6-4
サンプルコピー設定	7-8
し	
自動 / 手動濃度切替	7-6
自動選択設定	7-6
自動濃度	4-8
自動倍率選択モード	4-4
自動倍率モード	7-6
自動用紙選択モード	4-4
写真	4-8
手動モード	4-4
仕様	10-1, 10-3
消耗品	9-2
初期設定	7-1
暗証コード変更	7-5
液晶コントラスト	7-3
オートクリア	7-3
オートシャットオフ	7-4
オートスタート遅延時間	7-7
オートロールチェンジ	7-5
カスタム紙種設定	7-4
基本給紙段	7-6
給紙段用紙種連動	7-3
原稿排出方向	7-3
コピー開始方法	7-6
再コピーコード変更	7-7
再コピー設定	7-7
最大ジョブ予約数	7-7
サンプルコピー設定	7-8
自動 / 手動濃度切替	7-6
自動選択設定	7-6
自動倍率モード	7-6
初期設定一覧	7-3

シンクロカット長さ表示	7-7
タイマー設定	7-4
定形サイズ切替	7-5
定寸カット登録	7-6
定着温度調整	7-4
等倍度調整	7-4
濃度初期値	7-6
濃度ステップ	7-6
濃度調整	7-6
倍率ステップ	7-5
編集機能初期値	7-8
変倍登録	7-5
メモリー画像圧縮	7-7
用紙カット方法	7-7
用紙種設定	7-3
用紙幅設定	7-3
リセットキー画像消去	7-7
ロールエンド設定	7-3
ジョブ予約機能	6-5
初期状態	4-1
シンクロカット	4-6
シンクロカット長さ表示	7-7
す	
スプール	2-3
せ	
正確に原稿をセットするとき	4-5
製品の保守サービスについて	9-3
そ	
ソートコピー	5-1
た	
タイマー設定	7-4
ち	
地図	4-8
調整機能	6-1
傾き補正	6-1
定着温度微調整	6-2
等倍度微調整	6-2
て	
定形サイズ切替	7-5
定寸カット	4-7
定着温度調整	7-4
手差し用紙のセット	4-3
テンキー / ズームキー入力	5-4
テンキー入力	4-7
と	
等倍度調整	7-4
定着温度微調整	6-2
等倍度微調整	6-2
トータルカウンター	2-4
独立変倍	5-3
トナー回収タンクの交換のしかた	8-4
トラブルが発生したとき	8-13

の	
濃度ステップ	7-6
は	
倍率ステップ	7-5
ひ	
標準原稿	4-8
ふ	
ブックキャリア	2-3, 4-10
プリンタ / スキャナ コントローラ	2-3
プログラム機能	6-6
へ	
編集機能	5-5
画像移動 左右移動	5-7
画像移動 上下移動	5-6
鏡像	5-10
余白 先端・後端	5-8
余白 全面出力	5-9
枠消し	5-10
変倍モード	5-2
固定変倍	5-2
テンキー / ズームキー入力	5-4
独立変倍	5-3
ユーザー設定変倍	5-3
ほ	
保温ヒーターについて	3-7
補修用性能部品について	9-4
保守サービス契約書について	9-3
め	
メモリーオーバーフロー時の処置	8-5
メモリー画像圧縮	7-7
ゆ	
ユーザー設定変倍	5-3
よ	
用紙種設定	7-3
用紙種類の選択	4-6
用紙について	3-4
用紙幅設定	7-3
予熱機能	6-8
余白 先端・後端	5-8
余白 全面出力	5-9
り	
リセットキー画像消去	7-7
ろ	
ロールエンド設定	7-3
ロール紙のセット方法	3-5
ロールユニット	2-3
わ	
枠消し	5-10
割り込みコピー	6-7

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

京セラミタ株式会社

＜お客様ご相談窓口＞

(06) 6764-3678

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:00（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

京セラミタ本社：〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号

M&G統括支店 東京都港区虎ノ門2丁目6番4号 03(3503)1801 105-0001

京セラミタ北海道株式会社

札幌支店 札幌市白石区中央2条6丁目9番22号 011(862)2631 003-0012
(オガワビル)
特販支店 札幌市白石区中央2条6丁目9番22号 011(862)2631 003-0012
(オガワビル)
旭川営業所 旭川市東光9条2丁目4番11号 0166(34)0711 078-8349
函館営業所 函館市五稜郭町28番4号 0138(52)2622 040-0001
釧路営業所 釧路市堀川町1番24号 0154(25)8666 085-0007

京セラミタ東北株式会社

仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2丁目2番41号 022(232)3225 983-0035
特販支店 仙台市青葉区上杉1丁目4番10号 022(215)2451 980-0011
(上杉古久根ビル)
山形営業所 山形市城西町5丁目29番19号 0236(45)3551 990-0832
盛岡営業所 盛岡市本宮字小幡16-14 019(635)2354 020-0866
秋田営業所 秋田市川尻総社町7番1号 0188(63)2422 010-0946
郡山営業所 郡山市開成4丁目28番7号 0249(32)4414 963-8851
青森営業所 青森市大字浜田字玉川355番地 0177(39)8951 030-0843

京セラミタ関東株式会社

大宮支店 大宮市本郷町780-1 048(666)4515 330-0033
特販支店 大宮市本郷町780-1 048(666)4515 330-0033
所沢営業所 埼玉県狭山市狭山台4丁目10-2 042(956)2022 350-1304
水戸支店 水戸市姫子1丁目67-1 029(254)7677 311-4151
新潟支店 新潟市竹尾卸新町811-6 025(272)1133 950-0862
宇都宮営業所 宇都宮市築瀬町769-1 028(636)5077 321-0933
熊谷営業所 埼玉県大里郡大里村大字箕輪字船木820 0493(39)2468 369-0105
前橋営業所 前橋市西片貝町5-18-20 0272(21)1547 371-0013
(鈴木ビル1F)
川口営業所 川口市戸塚2丁目18番4号(厚川ビル1F) 048(297)0946 333-0811

京セラミタ東京株式会社

東京支店 東京都文京区本郷3-2-12 03(3818)1311 113-0033
(お茶の水センタービル)
特販支店 東京都文京区本郷3-2-12 03(3818)1311 113-0033
(お茶の水センタービル)
城北支店 東京都足立区入谷7-8-1 03(3857)7972 121-0836
城東支店 東京都江東区亀戸2-18-1 03(3636)3671 136-0071
城南支店 東京都渋谷区桜丘町11-2(フィオーレ桜丘) 03(3462)1190 153-0031
千葉支店 千葉市中央区都町1-55-1 043(233)3550 260-0001
西東京支店 立川市錦町6-19-12(戸所ビル) 0425(27)0651 190-0022
杉並支店 東京都杉並区善福寺1丁目3番3号 03(3394)4640 167-0041
ラルゴ108
城西営業所 東京都新宿区西早稲田3-17-23 03(3207)5621 169-0051
市川営業所 市川市原木1-9-3 0473(28)3711 272-0004
品川営業所 東京都大田区大森北1-19-20 03(5764)2585 143-0016
(パークレジデンス大森)

京セラミタ神奈川株式会社

横浜支店 横浜市港北区小机町1521-5 045(471)0231 222-0036
特販支店 横浜市港北区小机町1521-5 045(471)0248 222-0036
厚木支店 厚木市妻田南1-16-32 0462(23)1691 243-0814
川崎営業所 川崎市中原区木目1536-5 044(411)3332 211-0025
(誠和電通工業ビル)
山梨営業所 甲府市国母4-15-15 0552(24)2181 400-0043
沼津営業所 沼津市寿町10-15 0559(25)6066 410-0053

京セラミタ中部株式会社

名古屋支店 名古屋市中村区名駅南3-6-18 052(582)7411 450-0003
(第5ワカサビル)
特販支店 名古屋市中村区名駅南3-6-18 052(582)7418 450-0003
(第5ワカサビル)
岐阜支店 岐阜市茜部本郷1-7 058(271)9423 500-8262
名古屋北営業所 岩倉市東町長山102番地 0587(37)5166 482-0041
北陸営業所 石川県石川郡野々市町押野4-38 0762(48)5626 921-8802
(中藪ビル1F)
岡崎営業所 岡崎市戸崎町一丁目31-3 0564(54)8181 444-0840
富山営業所 富山市大泉2-4-16 0764(24)3531 939-8087
静岡営業所 静岡市池田241 054(263)1456 422-8005
浜松営業所 浜松市植松町258-4 053(463)1209 430-0803
三重営業所 津市栗真中山町字下沢4-1 059(231)1159 514-0103
長野営業所 長野市稲葉上千田沖122-1 026(226)8145 380-0915
松本営業所 松本市野溝木工1-6-58 0263(26)4679 399-0005

京セラミタ関西株式会社

大阪支店 大阪市天王寺区玉造元町3番9号 06(6764)3214 543-0014
法人支店 大阪市天王寺区玉造元町3番9号 06(6764)3215 543-0014
官需支店 大阪市天王寺区玉造元町3番9号 06(6764)3200 543-0014
京阪支店 寝屋川市高宮栄町11番6号 072(880)2201 572-0846
阪和支店 堺市百舌鳥梅町3丁目43-3 0722(53)7077 591-0041
京都支店 京都市東山区五条橋東2-32-1 075(525)2131 605-0846
奈良支店 奈良市北之庄西町1-4-13 0742(63)3202 630-8452
大阪南営業所 大阪市東住吉区桑津5-7-25 06(6713)4087 546-0041
北大阪営業所 吹田市江坂町3-44-1 06(6337)2485 564-0063
東大阪営業所 東大阪市瓜生堂3-8-13 06(6722)3900 578-0946
和歌山営業所 和歌山市黒田35-2 0734(73)5136 640-8341
滋賀営業所 近江八幡市白鳥町36-1 0748(32)1530 523-0032

京セラミタ兵庫株式会社

神戸支店 神戸市兵庫区小河通5-2-8 078(651)7500 652-0895
(赤浦合名ビル2F)
特販支店 神戸市兵庫区小河通5-2-8 078(651)7511 652-0895
(赤浦合名ビル3F)
姫路支店 姫路市南条字前田511-532 0792(81)0250 670-0952
北近畿営業所 福知山市篠尾新町3-113 0773(23)0032 620-0055
コーポレートハウス吉見
尼崎営業所 尼崎市南塚口町5-17-7 06(6427)3176 661-0024

京セラミタ四国株式会社

高松支店 高松市今里1-28-18 0878(61)3861 760-0078
松山支店 松山市土居田町67-2 0899(46)3411 790-0056
徳島営業所 徳島市万代町5-7-3 0886(26)1761 770-0941

京セラミタ中国株式会社

広島支店 広島市西区東観音町2-5 082(295)2001 733-0032
特販支店 広島市西区東観音町2-5 082(295)2001 733-0032
岡山支店 岡山市今8丁目14-25 086(241)8481 700-0975
山口支店 吉敷郡小郡町黄金町13-12 0839(73)0332 754-0021
福山営業所 福山市東深津町1丁目10-18 0849(21)5075 721-0974
徳山営業所 徳山市岡田町10-37 0834(21)3006 745-0066
松江営業所 松江市袖師町7-22 0852(22)0630 690-0049
三次営業所 三次市島敷町1506-3 0824(63)3454 728-0006

京セラミタ九州株式会社

福岡支店 福岡市博多区博多駅南6-2-2 092(441)2721 812-0016
特販支店 福岡市博多区博多駅南6-2-2 092(471)1457 812-0016
鹿児島支店 鹿児島市鴨池1-12-14 099(255)9001 890-0063
北九州営業所 北九州市小倉北区神岳2-6-26 093(551)4065 802-0045
(第一共立ビル)
大分営業所 大分市南津留5-28 0975(58)2747 870-0937
久留米営業所 久留米市通町7-245 0942(35)3633 830-0018
熊本営業所 熊本市馬渡2-16-8 096(370)3900 862-0968
長崎営業所 長崎市文教町7番22号 0958(43)8248 852-8131
(東文教ハイツ1F)
宮崎営業所 宮崎市祇園3丁目176-1 0985(29)7511 880-0024
沖縄営業所 那覇市長田1-16-10 098(834)5192 902-0077

© 2000 KYOCERA MITA CORPORATION

 は京セラ株式会社の登録商標です。

 は京セラミタ株式会社の登録商標です。

2000. 4
2AZ80011B